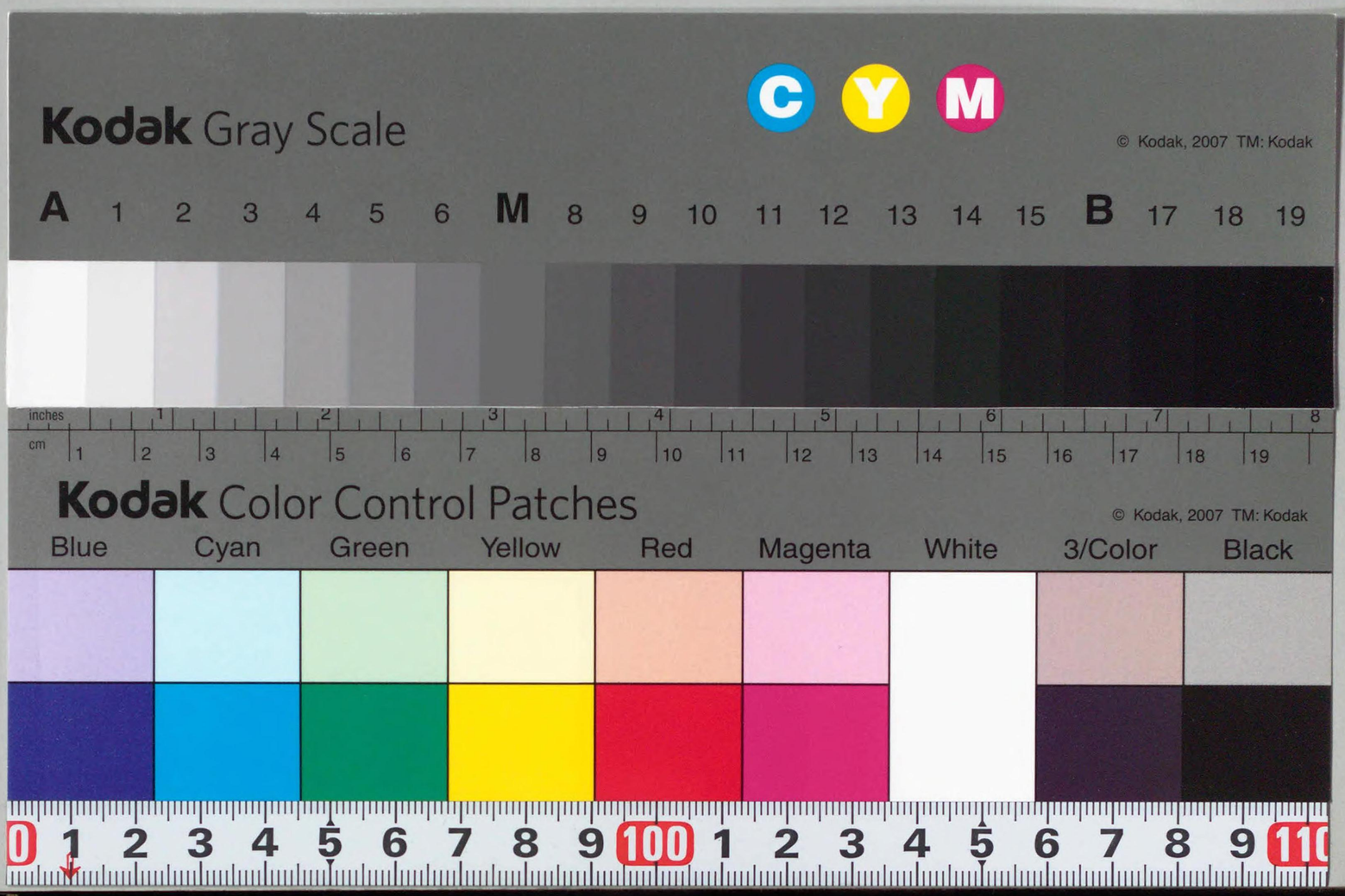

C431-01
1200901600220

14
7
118

CL431
01

農業水利ニ關スル各國法令 上卷

農商務省農務局

農業水利ニ關スル各國法令 上卷

目次

一　農業水利ニ關スル北米加奈太北西地方法抄……一
二　農業水利ニ關スル北米合衆國南ダコタ州法……二五
(一)　千八百九十年法律第百三號抄……二五
(二)　千八百九十五年法律第八十號抄……二七
(三)　千八百九十五年條例第八十號抄……三一
(四)　千八百九十五年法律第百四號抄……三三
(五)　千八百九十七年法律第七十五號抄……三四
(六)　千八百九十七年法律第七十七號抄……三四
三　農業水利ニ關スル北米合衆國カンサス州法……三五
(一)　カンサス州一般法抄……三五

大正
2. 3. 25
内交

農業水利ニ關スル北米加奈太北西地方法抄

(二) 貯水及灌漑法抄……三六

四 農業水利ニ關スル佛蘭西國法……四九

(一) 行政會議ノ職權ニ關スル法律抄……四九

(二) 郡村ノ財產、慣習及警察ニ關スル法律抄……四九

(三) 民法抄……五〇

(四) 灌漑法……五二

(五) 灌漑用ノ水堰ノ支柱權ニ關スル法律……五三

(六) 排水ノ流過ニ關スル法律……五四

(七) 地方自治ニ關スル勅令抄……五六

(八) 總代組合法……五六

(九) 治水法……六七

五 農業水利ニ關スル伊太利國法……七九

(一) 公共水引用ニ關スル法律……七九

(二) 同法施行規則……八六

農業水利ニ關スル北米加奈太北西地方法抄

（千八百九十八年六月十三日裁可）

皇帝陛下ハ上下兩院ノ協賛ヲ經テ左ノ法律ヲ制定ス

第一條　本法ハ之ヲ千八百九十八年ノ北西地方灌漑法ト稱ス

第二條　本法中別ニ表示スルモノヲ除クノ外

一　大臣ト稱スルハ內務大臣ヲ謂フ

二　省ト稱スルハオツタワニ於ケル內務省ヲ謂フ

三　委員ト稱スルハ北西地方土木委員ヲ謂フ

四　技師長ト稱スルハ北西地方土木局技師長及測量師長ヲ謂フ

五　領地測量師ト稱スルハ領地法ノ規定ニ依リ領地測量ノ權限ヲ有スル測量師ヲ謂フ

六　會社ト稱スルハ法人組織ノ會社ニシテ本法ニ依リ灌漑其ノ他ノ工事ヲ施行若ハ經營シ又ハ灌漑用其ノ他ノ用途ニ對シ水ノ供給若ハ賣却ヲ業トスルモノヲ謂フ但シ工事ノ施行若ハ經營ヲ爲シ又ハ前記ノ業ヲ爲スノ權利ヲ取得又ハ請求シタルモノ、本法第十一條ノ許可ヲ受ケタル個人竝北西地方ノ條例ニ從ヒ組織セラレタル灌漑區ヲ包含ス

七　工作物ト稱スルハ堤、塘、堰、水門、破浪堤、排水溝、溝渠、盆地、溜池、堀割、隧道、橋梁、排水窖、小筏、堤防、頭首工、筧、水道、水管、喞筒其ノ他水ヲ輸導スル施設又ハ本法ノ規定ニ依リテ築造ノ權利ヲ得タル工作物ヲ謂フ

八　水ノ功程ト稱スルハ水量ノ單位即一秒間一立方呎ノ流水量ヲ以テ灌漑シ得ヘキ土地ノ面積ヲ謂フ

九　免許人ト稱スルハ本法ニ依リテ許可ヲ受ケタル個人又ハ會社ヲ謂フ

第三條　本法ハ北西地方ニ之ヲ施行ス但シユーコン、マツケンジー、フランクリン及ウンガヴアハ此ノ限ニ在ラス

第四條　河川、水路、湖、入江、峽谷、谷川、潟、澤、沼其ノ他水ノ集合體ノ所有權及使用權ハ主權者ニ屬スルモノト看做ス但シ主權者ノ權限ニ屬セス又ハ公共ノ權利ニ牴觸セサル權利ヲ設定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

何人ト雖モ本法ノ規定ニ依ルニ非サレハ河川、水路、沼、澤、潟、谷水、峽谷其ノ他水ノ集合體ヨリ水ヲ引用スルコトヲ得ス但シ法律ニ認メタル權利ヲ執行スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　本法通過ノ當時現存スル契約ヲ遂行スル場合ノ外主權者ハ將來湖、河川其ノ他ノ集合體又ハ其ノ床若ハ河岸地ニ付所有權又ハ排他的特權ヲ與フル條件ヲ以テ土地其ノ他ノ財產ヲ

讓渡スルコトナシ

第六條　河岸ノ土地所有者ナルト否トヲ問ハス本法通過後ニ於テハ長年月ノ水ノ使用其ノ他本法ノ認メサル理由ニ依リ河川、水路、湖、入江、峽谷、谷川、潟、沼、澤其ノ他ノ集合體ノ水ヲ永久的ニ引用シ又ハ排他的ニ使用スルコトヲ得ス但シ本法通過ノ當時現存スル契約ニ依リ取得スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　個人又ハ會社ニシテ本法ノ水利權ト同種ノ水利權ヲ有スル者又ハ權利ヲ有スルト否トヲ問ハス水ヲ利用スル爲工作物ヲ築造シタル者若ハ經營スル者ハ千八百九十八年六月一日迄ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ

前項ノ期間內ニ許可ヲ得タルトキハ其ノ權利ハ存續シ其ノ工作物ハ本法ノ規定ニ依リ維持スルコトヲ得然ラサルトキハ其ノ權利、工作物及之ニ關スル利得ハ何等ノ手續ヲ經スシテ之ヲ沒收シ參事院ノ意見ニ依リ賣却其ノ他ノ處分ヲ爲ス

本條ノ許可申請ニ關スル手續ハ本法中他ノ許可申請ノ例ニ準ス但シ家事用ニ供スル水ノ使用ニ付テハ以下別ニ之ヲ定ム

第八條　主權者ニ屬スル水ハ家事用、灌漑用其ノ他ノ目的ヲ以テ之ヲ取得スルコトヲ得但シ其ノ手續ニ付テハ以下之ヲ定ム

本法ノ規定ニ依リ委員ニ申請シタル者ハ申請書提出ノ順序ニ從ヒテ優先權ヲ取得ス但シ第七條ノ申請ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

水利權取得ノ目的ニ三種アリ第一ハ家事用ノ目的ヲ有スルモノニシテ家事及衛生上ノ用途、家畜ノ飼水竝鐵道又ハ蒸氣工場ノ作業ニ關スル用途ヲ包含シ、第二ハ灌漑ノ目的、第三ハ其ノ他ノ目的ヲ有スルモノトス

第九條　河川、湖其ノ他ノ水源ニ隣接スル土地ノ所有者ノ家事用ニ必要ナル水ヲ奪フ虞アルトキハ目的ノ如何ニ拘ハラス其ノ水ヲ使用スルコトヲ得ス

第十條　工作物ヲ築造セムトスル者ハ手數料三弗ヲ添ヘテ其ノ說明書ヲ提出シ技師長ヨリ之レカ設置ニ關シ必要ナル準備作業ヲ爲スノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ工作物ノ位置測定ノ爲助手ト共ニ公有地又ハ他人ノ土地ニ在リテ水準ヲ取リ測量ヲ爲シ其他必要ナル行爲ヲ爲スコトヲ得但シ無用ノ損害ヲ及ホスコトヲ得ス

第十一條　許可申請者ハ左ノ書類ヲ委員ニ提出スヘシ但シ特別ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラス

一　覺書　委員ノ規定シタル樣式ニ依リテ二通ヲ作リ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(一)　氏名
(二)　住所
(三)　職業
(四)　財產狀態
(五)　引用水源
(六)　取入口
(七)　使用セムトスル水量
(八)　築造セムトスル工作物ノ大サ及種類
(九)　灌漑セムトスル土地ノ面積及位置
(十)　土地ノ現在價格
(十一)　改良後ノ價格
(十二)　水ノ消費者數
(十三)　料金ヲ徵スルトキハ其ノ標準

申請者カ會社ナルトキハ右ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

(一)　支配人及役員ノ氏名及住所
(二)　會社ノ設立年月日
(三)　會社ノ資本金額

(四) 拂込金額
(五) 新ニ資本金ヲ募集スル場合ニ於ケル募集方法
(六) 會社設立ノ目的

二 申請書 委員ノ規定シタル様式ニ依リ覺書ニ記載シタル溝渠、堀割又ハ溜池ノ築造ニ付必要アルトキハ道路ヲ横斷シ公道ヲ測量スル旨ノ申請書

三 平面圖 描寫用リンネルニ一哩二吋詰以上ノ縮尺ヲ以テ二通ヲ作リ左ノ事項ヲ表示スヘシ

(一) 引用水源
(二) 取入口ノ位置
(三) 主要ナル溝渠又ハ堀割ノ位置
(四) 灌漑區域
(五) 溝渠、堀割、溜池又ハ其ノ附屬工作物ノ横斷スル土地ノ所有者竝灌漑セムトスル地區ノ所有者ノ氏名
(六) 貯水ノ目的ヲ以テ築造セムトスル池、盆地又ハ溜池ノ位置及面積

四 附屬工事圖 描寫用リンネルニ頭首工、堤塘、筧、橋梁、排水竇其ノ他事業ニ附帶スル工事ノ詳細ナル構造ヲ表示シタル圖面二通

第十二條 一秒間二十五立方呎以上ノ水量ヲ輸送スル溝渠又ハ堀割ニ付テハ前條ノ書類外左ノ圖面各二通ヲ提出スヘシ

一 縱斷面圖 溝渠ノ水底及豫定水位線ヲ表示シ横尺ハ四百呎一吋詰以上、竪尺ハ二十呎一吋詰以上ノ縮尺トスヘシ

二 溝渠圖 溝渠ノ大サノ變化ヲ示ス爲數多ノ地點特ニ丘側其ノ他水ノ充滿スヘキ地點ニ於ケル溝渠ノ截斷面ヲ示スヘシ

堀割ニ依リ水ヲ送致スル場合ハ溝渠ノ水底面ノ各端ヨリ水平地面迄ノ最短距離カ水底幅員ノ二倍ニ達セサル箇所ノ截斷面ヲ示スヘシ但シ横尺及竪尺ハ二十呎一吋詰ノ縮尺トスヘシ

三 溜池ノ附屬工事圖 河水、湖、沼其ノ他ノ水源ニ阻塞ヲ設ケ又ハ池、溜池、盆地等ニ水ヲ貯溜スル爲築造スル堤塘、堤防及同種ノ結果ヲ生ス可キ工事ヲ圖示スヘシ但シ竪尺ハ百呎一吋詰以上横斷面圖ハ二十呎一吋詰以上ノ縮尺ヲ用記スヘシ

前項ノ工事ニ使用スル木材、石材、瓦礫、柴等ノ用材ニ付テハ四呎一吋詰以上ノ縮尺ヲ用フヘシ

四 横斷面圖 池、溜池又ハ盆地ノ底面及豫定ノ水位面ヲ示スヘシ但シ横尺ハ百呎一吋詰以

上竪尺二十呎一吋詰以上ノ縮尺ヲ用ヒ溜池又ハ盆地ノ決定容積ヲ精密ニ示ス爲數多ノ水準線ヲ示スヘシ

同高線ニ依リ水準線ヲ表ストキハ同高線間ノ垂直距離ハ一呎以内タルヘシ

本圖面ニハ是等ノ池、溜池又ハ盆地ニ依リ影響ヲ受クヘキ財産及影響ヲ明示シ四呎一吋詰以上ノ縮尺ヲ以テ該池、溜池又ハ盆地内ノ水ノ支持及引用ノ方法ヲ詳細ニ示スヘシ

第十三條　前二條ノ覺書及設計圖又ハ其ノ謄本ハ之ヲ本省及レヂナ市ニ於ケル委員事務所ニ備付ケ公衆ノ閲覽ニ供スヘシ

第十四條　大臣ハ適當ト認メタルトキハ前條以外ノ場所又ハ官吏若ハ私人ヲ指定シテ覺書及設計圖ノ謄本ヲ提出セシムルコトヲ得

前項ノ謄本ハ之ヲ公衆ノ閲覽ニ供ス

第十五條　申請者ハ覺書及設計圖ヲ提出シタル旨ヲ委員ノ指定シタル地方ノ新聞紙ニ三十日間一週一回以上公告スヘシ公告ニハ申請ニ係ル權利ノ性質竝豫定工作物ノ種類及位置ヲ略示スヘシ此ノ期間内ハ申請ニ係ル權利ノ許可ニ對シ抗告書ヲ大臣ニ提出スルコトヲ得

大臣ハ抗告書ノ提出アリタルトキハ之ヲ審査シ必要アルトキハ修正ノ上工作物ノ築造ヲ許可スルコトヲ得但シ其ノ方法ハ以下別ニ之ヲ定ム

第十六條　本法ノ規定ニ依リ委員ニ提出シタル覺書及設計圖ハ技師長之ヲ調査シ其承認ヲ爲シタルトキハ謄本ヲ内務省ニ送付シテ登録スルモノトス

大臣ハ前項ノ覺書及設計圖竝正式ノ公告ヲ爲シタルコト及委員ニ於テ公路横斷ノ許可ヲ與ヘタルコトヲ證スル證明書ノ送付ヲ受ケタルトキハ申請ニ係ル工作物ノ完成時期ヲ指定シテ其ノ築造ヲ許可スヘシ

豫定工事ノ設計圖中大臣ノ命シタル變更ハ申請者ニ於テ之ヲ委員事務所ニ提出シ公衆ノ閲覽ニ供スヘキ記錄ノ一部ニ加フヘシ

許可ナクシテ設計圖ト重大ナル相違アル工事ハ之ヲ爲スコトヲ得ス其ノ相違ノ有無ハ技師長又ハ大臣指定ノ官吏之ヲ決定ス

第十七條　家事用又ハ灌漑用ノ爲水ノ使用ヲ請求スル者ニ對シテハ大臣ハ職權ヲ以テ第十一條ノ圖面ヲ省略シテ單ニ覺書ノミヲ提出セシムルコトヲ得但シ其ノ覺書中ニハ申請ニ係ル權利ヲ了解スルニ足ル說明ヲ記載セシムルコトヲ得

第十八條　本法ニ依リ許可ヲ與ヘタル工作物ノ築造ニ付テハ大臣ハ技師長又ハ大臣指定ノ官吏ヲシテ之ヲ監督セシムルコトヲ得工事ノ監督ニ要スル費用ノ全部又ハ大臣ノ指定シタル費用ノ一部ハ工作物ノ築造者之ヲ負擔スヘシ

工作物ノ完成セルト築造中ナルトヲ問ハス該工作物ニ接近セル居住者又ハ隣接土地所有者ヨリ書面ヲ以テ請求シタルトキハ大臣ハ該工事ノ檢査ヲ命スルコトヲ得

檢査申請者ハ大臣ノ要求アルトキハ檢査ニ必要ナル費用ヲ供託スヘシ檢査ノ結果申請ニ正當ノ理由ナシト認ムルトキハ其ノ供託金ヲ以テ費用ノ全部又ハ一部ヲ支拂ハシムルコトヲ得

之ニ反シ其ノ申請ニ正當ノ理由アリト認ムルトキハ其築造人又ハ會社ニ對シ檢査費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得此ノ負擔ハ陛下ニ對スル債務ト看做シ支拂ヲ強制ス

大臣ハ檢査ノ結果其工事ヲ確實ニスル爲必要アリト認ムルトキハ追加工事又ハ工事ノ變更ヲ命スルコトヲ得若シ命令ニ服セサル者ハ大臣ノ命令ニ關スル本法第四十條ノ規定ニ準シテ之ヲ處分ス

本條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ大臣ニ於テ設計圖ノ提出ヲ免除シタル者ニ之ヲ適用セス

第十九條 許可ヲ受ケタル個人又ハ會社ハ直ニ其ノ工事ニ着手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ築造者ハ本法ノ規定竝個人又ハ會社ニ與ヘラレタル權利ニ牴觸セサル限リ鐵道法ニ依リテ鐵道會社ニ與ヘタル權限ヲ其ノ事業ニ適用スルコトヲ得但シ鐵道ニ關スル規定ハ個人又ハ會社ノ工作物ニ關スル規定ト看做ス

第二十條 本法ニ依リ許可ヲ受ケタル工作物ハ許可ノ日ヨリ二箇月以內ニ工事ニ着手シ且ツ繼續シ若シ供給スヘキ水量充分ナルトキハ許可書記載ノ地域內ニ於ケル全部ノ申込人ニ對シテ供給シ得ル迄ニ之ヲ完成スヘシ但シ十一月十一日ヨリ翌年五月一日ニ至ル間ニ着手期間經過シタルトキハ五月一日ヲ以テ着手スヘシ事業ノ遂行ニ關スル解怠ノ有無ハ大臣又ハ其ノ指定官吏ニ於テ之ヲ決定ス

豫見スルコトヲ得サル災害ノ爲制限期間內ニ事業ニ着手シ若ハ完成スルコト能ハサルトキ又ハ大臣ニ於テ正當ト認ムル事由アルトキハ大臣ハ事業ノ着手及完成ノ時期ヲ延長スルコトヲ得

制限期間內ニ事業完成セサルトキハ既ニ完成シタル事業ノ經營上必要アルモノノ外期間ノ經過ト同時ニ築造者ノ權利ハ消滅ス既ニ着手又ハ取得シタル工作物ハ大臣ニ於テ沒收ノ上自ラ之ヲ經營シ又ハ之ヲ賣却ス其ノ方法及條件ニ付テハ以下別ニ之ヲ定ム

第二十四條 工事期間ノ終了ト同時ニ又ハ終了前ニ事業完了シタルトキハ技師長又ハ大臣指定ノ官吏ハ之ヲ檢査シ左記事項ヲ具備スル承認書ヲ作成シテ之ヲ內務省ニ送付スヘシ

一 申請書ニ準據シテ事業完了シタルコト

二 工作物ノ爲ニ通路權ヲ取得シタルコト

三 申請者ノ所有ニ非サル土地ニ對シ灌漑水供給ノ契約ヲ締結シタルコト

四　築造シタル工作物ハ豫定水量ノ輸送ニ利用セラレ得ルコト

大臣ハ前項ノ承認書ヲ受ケタルトキハ申請者ニ對シ其ノ特權ニ屬スル水量ニ付免許狀ヲ與ヘレヂナ市ニ於ケル委員事務所ノ臺帳ニ登錄スヘシ

第二十五條　免許人相互ノ間ニ於テハ免許狀ノ順序ニ依リ優先權ヲ取得ス先順位ノ免許狀ヲ有スル者ハ次順位ノ免許狀ヲ有スル者ノ主張ニ先チテ許可水量全部ノ供給ヲ受クルコトヲ得先順位ノ免許人カ其ノ優先ナル權利ニ依リテ當然供給ヲ受クヘキモノナルニ拘ハラス後順位ノ免許人ニ依リテ使用セラレタル爲既定水量ノ供給ヲ受クルコト能ハサル場合ニ於テ大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ニ對シ異議ノ申立ヲ爲シタルトキハ大臣又ハ其ノ官吏ハ自己ノ指定シタル官吏ヲシテ事件ノ實情ヲ調査セシメ異議ノ理由アリト認メタルトキハ不當ノ供給ヲ受ケタル免許人ノ溝渠其ノ他ノ工作物ノ水閘ヲ閉鎖シ其ノ水ハ之ヲ當該權利者ノ工作物ニ流入セシムヘシ

第二十六條　溝渠、筧其ノ他ノ設備カ豫定水量ヲ輸送スルコト能ハサルトキハ所有者ノ排他的權利ハ其ノ輸送水量ニ限定ス

輸送水量ニ付爭ヲ生シタルトキハ大臣ハ其ノ工作物ノ檢查ヲ命ス檢查官ノ報告及認定ハ最終ノ決定トス

第二十七條　免許人カ許可ヲ受ケタル水ニテ灌漑セムトスル土地カ主權者ノ地權狀アル土地ニ非ラスシテ單ニ宅地法ノ規定ニ依リ地上權其ノ他ノ條件附ノ所有權若ハ借地權ヲ有スルカ又ハ土地ノ讓渡契約ニ依リテ之ヲ占有スルニ止マル場合ニ於テ大臣ニ對シ此等權利ノ廢止證明書ノ提出アリタルトキハ其ノ水利權ノ免許ハ消滅ス但シ其ノ免許人ハ大臣ノ決定スル期間許可ヲ受ケタル水利權ヲ留保シ之ニ附屬スル總テノ工作物ト共ニ大臣ノ決定シタル期間及條件ニ從ヒ新ナル土地所有者又ハ讓受人ニ對シテ新ニ付與スル免許狀ハ消滅シタル免許ト同一ノ番號及優先權ヲ有ス讓受人ニ之ヲ賣却スルコトヲ得

第二十八條　個人、會社及其ノ支配人又ハ吏員ハ視察官吏ノ質問アルトキハ自己ノ知レル範圍內ニ於テ其ノ權限ニ屬スル事項ニ付回答シ工作物ノ築造、修繕又ハ修繕後ノ狀態ニ關スル設計、說明書、圖面其ノ他ノ書類ハ總テ之ヲ視察官吏ニ提出スヘシ

大臣又ハ其ノ代理人若ハ內務省書記官ノ認印アル訓令狀ハ視察官吏ノ權能ニ關スル完全ナル證據ト看做ス

第二十九條　視察官吏ノ職務執行ニ對シ故意ニ妨害ヲ加ヘタル者ハ即決裁判ニ依リテ二十弗以下ノ罰金又ハ二十日以內ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ又ハ之ヲ併科ス

第三十一條　許可ナクシテ故意ニ河川、湖沼其ノ他ノ水流又ハ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル工作

物ヨリ水ヲ引用シタルトキ又ハ使用權ヲ有スル水量以上ノ水ヲ引用シタルトキハ之ヲ犯罪者トシ即決裁判ニ依リ不當ニ使用シタル水量ノ單位毎ニ一日ニ付五弗以下ノ罰金又ハ三十日以下ノ禁錮ニ處シ又ハ之ヲ併科ス但シ單位以下ハ之ヲ繰上ク

前項ノ場合ニ於テハ更ニ正式裁判ヲ受クルコトヲ得

第三十二條　免許人ハ免許狀ニ依リ許可ヲ受ケタル水量以上ノ水ヲ引用スルコトヲ得ス違反者ハ即決裁判ニ依リ引用シタル水量ノ單位毎ニ一日ニ付五弗以下ノ罰金ニ處ス但シ單位以下ハ之ヲ繰上ク

引用シタル水量ニ付爭ヲ生シタルトキハ大臣ハ特ニ官吏ヲ派遣シ免許人ノ工作物ヲ檢査セシムルコトヲ得官吏ノ報告及判定ハ最終ノ決定トス

第三十三條　免許人カ許可ヲ受ケタル水ヲ浪費シ又ハ其ノ使用ヲ廢止若ハ停止シタル旨大臣ニ告訴シタル者アルトキハ大臣ハ自身又ハ他ノ官吏若ハ私人ヲシテ之ヲ檢査セシムヘシ檢査ノ結果適當ト認ムルトキハ命令ヲ以テ免許ノ失效ヲ宣告スルコトヲ得

前項ノ宣告アリタルトキハ免許狀ハ之ヲ抹消シ其ノ效力ヲ失フ

第三十四條　免許人ノ所有ニ係ル工作物内ニ許可ヲ受ケタル目的ニ利用セサル餘水アル場合ニ於テハ免許人ハ灌漑ノ用途ニ使用スル申込人ニ對シ既定料金一箇月分ヲ前納セシメテ之ヲ賣

却スルコトヲ得

前項ノ申込人ハ餘水ヲ送致スルニ必要ナル工作物ヲ自ラ築造スルカ又ハ其ノ築造ニ要スル費用全部ヲ供給者ニ支辨スヘシ若シ之ヲ支辨セサルトキハ餘水ヲ送致セサルコトヲ得

必要ナル工作物ノ築造ヲ完了シ且ツ前項ノ支拂ヲ爲シタルトキハ申込人ハ其ノ工作物ノ輸送シ得ヘキ水量ノ使用權ヲ取得ス

餘水使用ノ權利ヲ得タル者ト雖モ免許人ニ於テ許可ヲ受ケタル用途ニ之ヲ使用スヘキ必要ヲ生シタルトキハ其ノ水ノ使用ヲ廢止スヘシ

餘水使用者ハ餘水ノ使用ヲ了リタル後之ヲ浪費又ハ讓渡スルコトヲ得ス免許人ハ通常ノ慣習的方法ニヨリ之ヲ回收シ又ハ讓渡スルコトヲ得

第三十五條　水ノ輸送賣却ヲ爲サムトスル免許人ハ使用者間ノ料金ニ差等ヲ附スルコトヲ得ス但シ使用者ニ水ヲ送致スル爲工作物ヲ築造シタルトキヨリ四箇月間ハ此ノ限ニ在ラス

如何ナル理由ニ依ルヲ問ハス水量缺乏ノ爲一般使用者ニ對シ約定ノ供給ヲ爲スコト能ハサルトキハ約定ノ總水量ニ對スル各使用者ノ水量ノ比ヲ求メ按分比例ヲ以テ其ノ水量ヲ分配供給スヘシ

免許人本條ノ規定ニ違反シタルトキハ即決裁判ニ依リ犯罪毎ニ百弗以下ノ罰金又ハ二箇月以

下ノ禁錮ニ處シ又ハ之ヲ併科ス

第三十六條　免許人ハ大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ洪水若ハ滿水期又ハ灌漑季節ニ非サル時期ニ於テハ灌漑ノ目的ヲ以テ不用ノ水ヲ貯藏スルコトヲ得

免許人カ其ノ輸水用工作物中ニ輸水能力ノ極度迄利用セサルモノアル場合ニ於テ他ノ會社カ其餘力ヲ利用スルモ權利者ニ對シ何等ノ損害ヲ與フルコトナキトキハ免許人ハ水ノ輸送ニ付其ノ工作物ヲ使用スル會社ノ要求ニ應スヘシ

第三十七條　本法ノ規定ニ依ル工作物カ公道ヲ橫斷セル場合ニ於テ之ヲ築造スルニハ公衆ノ通當事者間ニ於テ其ノ利用ニ對スル報酬ニ付協議調ハサルトキハ大臣之ヲ決定ス行上安全ト便宜トヲ害スルコトヲ得ス

第三十八條　本法ハ一秒間一立方呎ヲ以テ流水量ノ單位トシ一立方呎又ハ一エーカー呎ヲ以テ公道ヲ橫斷シ又ハ公道ニ影響ヲ及ホスヘキ工作物ヲ築造シテ水ヲ送入、輸送又ハ貯藏セムトスルトキハ當事者ニ於テ豫メ其ノ道路ニ幅員十四呎以上ノ强固ナル橋梁ヲ架設シ適當ナル附屬工事ヲ施シ大臣ノ承認ヲ受クヘシ橋梁及附屬工事ハ築造者ニ於テ永久ニ維持スヘシ

第三十九條　本法ニ依リ免許ヲ受ケタル會社ハ毎年一月ヨリ十二月ニ至ル一箇年間ノ報告書ヲ作リ社長又ハ書記ノ宣誓認證ヲ經テ之ヲ翌年一月三十一日限リ大臣ニ提出スヘシ

報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　工作物ノ築造ニ要シタル經費額
二　修繕ニ要シタル費用額
三　株主ノ拂込金額
四　公債發行額
五　灌漑用水ノ料金
六　其ノ他ノ財源ヨリ得タル收入
七　配當金額
八　許可資本金額
九　申込資本金額
十　拂込資本金額
十一　公債債務額
十二　公債賣出額
十三　公債ノ利率

十四　公債以外ノ債務及之ニ對スル利率
十五　管理費用
十六　工作物及其ノ大サ、種類等ニ關スル說明
十七　溝、堀割等ノ延長哩數
十八　使用者數
十九　事實灌漑スル面積
二十　灌漑ヲ爲シ得ヘキ面積
二十一　役員及雇員ノ氏名
二十二　次年度ニ於ケル擴張豫定工事及其ノ敷設面積
二十三　其ノ他參事院ノ必要ト認ムル材料
報告書ヲ提出スルトキハ社則謄本一通ヲ添附シ且ツ社則中其ノ年度中ニ修正ヲ加ヘタル條項ヲ明示スヘシ
個人カ自家用ノ供給ノミヲ目的トスル場合ニ於テハ大臣ハ報告書ノ提出ヲ免スルコトヲ得
第四十條　免許人カ供給ノ契約又ハ當然ノ義務ニ依リ供給スヘキ水ヲ供給セサルカ又ハ其ノ所有ニ係ル工作物ヲ適當ノ狀態ニ保存スルコトヲ怠ルトキハ定規ノ料金ヲ支拂ヘル使用者ヨリ

自己及一人以上ノ保證人ノ宣誓ヲ以テ大臣又ハ委員ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
前項ニ依リ異議ノ申立アリタルトキハ大臣又ハ其ノ指定ノ私人若ハ官吏ハ直ニ取調ニ着手シ且ツ異議ノ事實ヲ確ムル爲必要ノ措置ヲ爲スコトヲ得取調ノ結果異議ノ理由アリト認ムルトキハ免許人ニ對シ直ニ異議ノ原因ヲ除去スル爲必要ノ處分ヲ命スルコトヲ得
免許人前項ノ命令ニ服セサルトキハ大臣ハ直ニ之ニ關スル證明書ヲ作リ其ノ顚末ヲ明ニシテ工事ノ存スル裁判區ノ高等法院判事ニ送附スヘシ
同判事ハ即決裁判ヲ以テ之ヲ決定シ免許人ニ對シ必要ト認ムル方法ヲ迅速ニ實行スヘキ旨ヲ命スヘシ
前項ノ規定ニ依リ判事ノ發シタル命令ニ服從セサルカ又ハ實行ヲ怠ルトキハ反則者トシテ刑ヲ科スルノ外高等法院及同判事ノ發スル他ノ命令ニ違反シタル場合ノ例ニ準シテ之ヲ處分スヘシ

第四十一條　工作物ノ相接スル會社ハ水ノ供給ヲ增加シ工作物ヲ擴張スル爲參事院ノ許可ヲ得タルトキハ合併シテ一會社ヲ組織スルコト及其ノ合併ニ依リ水ノ使用者ニ損害ヲ與ヘサルコトヲ得
會社ノ合併ハ株主過半數ノ同意アルコトヲ要ス
竝合併スヘキ會社ハ各其ノ豫定工事ヲ完全ニ實施スヘキ經濟能力ヲ有スルモノタルコトヲ要

會社ノ合併ヲ申請セムトスルトキハ工作物築造ノ申請ニ付提出スヘキ書類ト同一ノ事項ヲ具備スル書類ヲ添附スヘシ許可アリタルトキハ第十五條ノ例ニ準シテ其旨ヲ公告スヘシ

第四十二條　大臣又ハ其委任ヲ受ケタル官吏ニ於テ本法又ハ本法ニ基キテ發シタル規則ノ執行上必要ト認メタルトキハ召喚狀ヲ以テ他人ヲ呼出シ宣誓ノ後訊問シ且ツ書類ノ提出ヲ命スルコトヲ得

召喚ニ應セス又ハ證據若ハ書類ノ提出ヲ拒ミタルトキハ大臣又ハ其委任ヲ受ケタル官吏ハ逮捕狀ヲ發シ反則者トシテ十四日以內ノ期間最寄ノ普通監獄ニ監禁スルコトヲ得

第四十三條　本法又ハ本法ニ基キテ發シタル細則ニ依リ要求スル宣誓書、宣誓、正式宣言書又ハ認諾ハ本法ニ依リ委任セラレタル管理人、宅地管理人若ハ管理官又ハ特ニ大臣ノ委任シタル者若ハ北西地方ニ於ケル宣誓書管理ノ委任ヲ受ケタル者立會ノ上之ヲ提供スヘシ

大臣ハ本法又ハ細則ノ要求スル陳述書ヲ宣誓、宣誓書、認諾又ハ宣言ヲ以テ認證セシムルコトヲ得

第四十四條　大臣ハ灌漑スヘキ土地ノ面積及位置竝池、盆地又ハ溜池ヲ設置スヘキ適當ナル場所ヲ豫定シタルトキハ灌漑其ノ他ノ用途ニ水ヲ供給スル水源地ノ全部又ハ一部ヲ測量スル爲何時タリトモ必要ト認ムル處分ヲ爲スコトヲ得選定シタル場所ハ一般ノ賣却、居住、讓渡ヲ禁シ本法ノ目的ニノミ使用スルコトヲ得

大臣ハ水源ノ保護ヲ圖リ及水源ヲ毀損スル虞アル行爲ヲ防ク爲必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　大臣ハ河川、湖沼其ノ他ノ水流ニ於テ水嵩ヲ計ル爲水嵩標ヲ設置シ、水ノ分析ヲ爲シ其ノ他水ノ使用ヲ有益ニシ且ツ其ノ引用及其ノ申込ヲ整理スル爲本法ノ規定ニ適合スル範圍內ニ於テ必要且ツ便宜ト認ムル手段ヲ命スルコトヲ得

第四十六條　參事院ハ公益ノ爲必要アリト認ムルトキハ何時タリトモ免許人ノ工作物ヲ買收シテ之ヲ經營シ又ハ適當ノ處分ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ價格ニ應シテ相當賠償スヘシ

賠償金額ノ決定ハ之ヲ租稅法院ニ付託スルカ又ハ仲裁ニ依ル

仲裁ニ依リ價格ノ決定ヲ爲ス場合ハ三名ノ仲裁人ヲ選定ス一名ハ參事院、一名ハ買收セラルヘキ工作物ノ所有者ニ於テ之ヲ選定シ他ノ一名ハ兩仲裁人ノ選定ニ依ル若シ兩仲裁人其ノ選定ニ關シ意見ヲ異ニスルトキハ租稅法院ニ於テ之ヲ選定ス

租稅法院又ハ仲裁人ハ其ノ價格ヲ見積ルニハ會社ノ經費及之ニ對スル利子竝會社ノ財產工作物及業務ヲ商量スヘシ

本條ノ買收ハ之ニ依リテ從來ノ使用者ノ使用權ヲ害スルコトヲ得ス又買收セムトスル工作物

ヨリ水ノ供給ヲ受クル爲土地ニ準備ヲ施シタル者又ハ準備中ノ者アルトキハ其ノ要求ニ關シ相當考慮スヘシ

第四十七條　本法ニ依リ營業スル會社ノ規則及內規ハ本法ノ趣旨ニ違反セサルヲ要シ參事院ノ校閱及認可ヲ受クヘシ

會社ノ給水定價表ハ參事院ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ有セス

第五十一條　大臣ハ左ノ權限ヲ有ス

一　水ヲ測定スル方法ヲ指定スルコト

二　位置及土壤ニ依ル水ノ功程ヲ指定スルコト

三　灌漑ノ爲水ヲ供給スヘキ季節ヲ指定スルコト

四　本法ノ免許狀下附ニ付支拂フヘキ料金及手數料ヲ決定スルコト但シ料金及手數料ハ資本金又ハ引用水量ノ多少ニ依リテ差等ヲ附スルコトヲ得

五　河川、湖沼其ノ他水流ノ引用水量ヲ限定スルコト

六　河川、湖沼其ノ他ノ水流中ニ築造シタル堰其ノ他ノ工作物ヲ通過シ又ハ超エテ材木丸太其ノ他ノ林產物ノ流過ヲ制限スルコト

七　免許人カ課スヘキ料金ヲ定メ及其ノ料金表ノ公告ニ關スル規定ヲ設クルコト

八　本法ニ基ク手續及書式ヲ定ムルコト

九　本法ニ基キテ發スル細則ノ違反者ニ對シ刑罰ヲ科スルコト但シ罰金ハ二百弗以下禁錮ハ三箇月未滿トス之ヲ併科スル場合亦同シ

十　繼續使用權者若ハ定期使用權者又ハ此ノ兩方法ニ依ル使用權者ニ對シ水ヲ供給スヘキ方法ヲ規定スルコト

十一　本法ニ規定シタル餘水ニ付爭ヲ生シタル場合ニ於テ私人又ハ官吏ニ其ノ決定ヲ委任スルコト但シ其ノ決定ハ最終トシ上訴ヲ許サス

十二　本法ノ規定ノ趣旨ヲ實施スル爲又ハ本法ニ規定ナキ事實發生シタルトキ必要ト認ムル處分ヲ爲シ若ハ本法規定ノ效果ヲ完フスル爲必要ナル細則ヲ定ムルコト

第五十二條　本法ニ基キ大臣ノ制定シタル細則及書式ハ凡テ之ヲ加奈太官報ニ告示スヘシ

前項ノ細則及書式ハ次ノ會期ノ最初ノ十五日以內ニ貴衆兩院ニ提出スヘシ

第五十三條　本法ハ灌漑ノ開發ヲ目的トスル既設會社ニ之ヲ適用ス但シ第四十八條ノ權限ヲ有スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條　本法中第四十一條、第四十八條及第四十九條ノ規定ハ北西地方ノ條例ニ基キ設置シタル灌漑區ニ之ヲ適用セス

農業水利ニ關スル北米合衆國南ダコタ州法

農業水利ニ關スル北米合衆國南ダコタ州法

○千八百九十年法律第百三號抄

第一條　個人、組合又ハ會社ハ所有地又ハ借地ニ於テ土地ノ耕作、灌漑其ノ他ノ目的ヲ以テ鑽井ヲ開鑿シテ湧出水ヲ使用スルコトヲ得

鑽井ノ築造

第二條　個人、組合ハ法律ニ基キ前條ノ目的ヲ以テ組織シタル會社ハ水管ノ敷設又ハ溝渠若ハ水路ノ築造ヲ設計スルニ付最良ノ流域ヲ選定スル爲必要ノ調査及測量ヲ爲スコトヲ得

築造者ノ權限

個人、組合若ハ會社又ハ其ノ代理人若ハ使用人ハ前項ノ目的ヲ以テ他人又ハ他ノ組合若ハ會社ノ所有地ニ立入ルコトヲ得立入又ハ調査ノ爲生シタル損害ハ之ヲ賠償スヘシ但シ所有者カ書面ヲ以テ許諾ヲ與ヘタル場合ニ非サレハ宅地內ノ人家其ノ他ノ建物ヨリ十五「ロツド」以內ノ地ニ又ハ果樹園若ハ庭園ヲ橫切リテ水路ヲ設クルコトヲ得

餘水

第五條　個人、組合又ハ會社ハ鑽井ノ餘水ヲ排出スル爲第二條及第四條ノ規定ニ依リ必要ナル水路ヲ設クルコトヲ得

餘水

第十八條　鑽井ノ所有者カ本法ノ規定ニ依リ他人ノ所有地ヲ橫切リテ水路ヲ設ケタル場合ニ於

テハ其ノ土地ノ所有者ハ鑽井ノ所有者ニ對シ土地灌漑ノ爲メ餘水ノ使用ヲ請求スルコトヲ得

公共ノ使用

前項ノ請求ヲ受ケタル者ハ相當ノ料金ヲ徵シテ其ノ使用及占用ヲ許諾スヘシ使用料竝ニ使用ノ期間及條件ハ當事者ノ申請ニ依リ郡委員會ノ定會又ハ臨時會ニ於テ適正ナル方法ニ依リ之ヲ決定ス

前項ノ決定ニ不服アル者ハ控訴手續ニ依リ其ノ水路ノ存スル郡ノ巡回裁判所ニ控訴スルコトヲ得巡回裁判所ノ決定ハ最終ノ決定トス

本條ノ規定ハ鑽井ノ所有者カ其ノ所有地ニ水ノ全部ヲ使用スルコトヲ妨ケス但シ他人ノ土地ヲ橫切リテ溝渠ヲ設ケタル場合ニ於テハ當事者間ノ權利關係ハ郡委員會ノ公平ナル裁決ニ依ル裁決ニ不服アル者ハ控訴ヲ提起スルコトヲ得

第十九條　公共ノ道路ニ沿ヒテ溝渠又ハ水路ヲ設置シタルトキハ其ノ水ハ公共ノ使用ニ供ス

前項ノ水路ニ隣接スル土地ノ所有者又ハ占用者ニ於テ水ノ一部ヲ使用セムトスルトキハ鑽井ノ所有者ニ其ノ旨ヲ申込ムヘシ此ノ場合ニ於ケル料金、期限及條件ハ前條ノ例ニ依リ郡委員會ニ於テ之ヲ決定ス決定ニ不服アル者ハ前條ニ準シ控訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ使用者ノ權利ハ之ヲ以テ公共ノ使用權ニ對抗スルコトヲ得ス

○千八百九十五年法律第八十號抄

郡區ニ於ケル鑽井ノ數

第二條　南タコタ州內郡區ノ撰擧資格者過半數ノ連名ヲ以テ申請書ヲ州灌漑技師ニ提出シ公共ノ使用ニ供スル爲直徑六吋ノ鑽井ナルトキハ九個以內、直徑四吋半ナルトキハ十六個以內ノ鑽井ヲ同郡內ニ設定セムコトヲ請求シタルトキハ州技師ハ其ノ申請書ヲ提出シタル日ヨリ二十日以內ニ於テ同郡區內ノ地主ニ最モ便利ナリト認ムル場所ニ鑽井ヲ設定シ又設定セシムヘシ但シ選擧者ノ過半數ハ同郡區最近ノ選擧ニ於ケル選擧人名簿ニ依リ投票ヲ以テ之ヲ決定ス

申請書及報告書ノ登記

第三條　州技師ハ前條ノ申請書受付ノ日ヨリ三十日以內ニ於テ申請書及鑽井ノ設定ニ關スル報告書ヲ當該郡ノ證書記錄課ニ提出スヘシ

報告書ノ內容

第四條　前條ノ規定ニ依リ州技師ノ提出スヘキ報告書ニハ鑽井ノ數及各大サ竝鑽井ノ正確ナル位置及之ニ關スル詳細ナル說明ヲ記載スヘシ

水流ノ使用ニ關スル申請

第十八條　鑽井開鑿ノ契約成立シタル後其ノ郡區內ノ土地所有者ニシテ灌漑ノ爲鑽井ノ水ヲ使用セムトスル者アルトキハ灌漑セムトスル地域及水ヲ使用セムトスル面積竝一エーカー呎ニ付何割ノ料金ヲ支拂フヘキ旨ヲ記載シタル申込書ヲ當該郡區ノ監督課ニ差出スヘシ

監督課ト給水契約ノ締結

第十九條　前條ノ申込アリタルトキハ監督課ハ十日以內ニ其ノ所有者ニ對シ一エーカー呎ニ付

申込書及契約書ノ

何割ノ料金ヲ以テ指定ノ土地ニ水ノ供給ヲ爲スヘキ旨ノ契約ヲ締結スヘシ其ノ料金ハ契約中ニ定ムルヲ要シ一立方呎ニ付一箇年一弗ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ料金ハ井戸、溝渠又ハ溜池ノ築造費ヲ賠償シタル後ニ非サレハ經營費ニ充當スルコトヲ得ス前條ノ土地所有者カ水ノ供給ヲ申込ミタルトキハ監督課ハ水ノ輸送ニ要スル費用ヲ其ノ所有者ニ負擔セシムルコトヲ得

鑿井ノ水ヲ灌漑地ニ輸送セムトスル郡區又ハ灌漑地ノ所有者ハ千八百九十年法律第百〇三號ノ規定ニ基キテ土地收用ノ權利ヲ有ス

本法ノ規定ニ依リ築造セラレタル鑿井ノ水ヲ使用スル借地人ハ當該郡區ヨリ鑿井ヲ買收スルコトヲ得但シ監督課ハ一般又ハ特別選擧會ヲ召集シテ同郡區內ニ於ケル自由土地所有者ノ多數ノ同意ヲ得且ツ鑿井、溝渠又ハ溜池ノ築造費竝其ノ鑿井ノ爲メニ起シタル負債ヲ皆濟セシムルコトヲ要ス

水ノ使用人ナキ鑿井ニ付テハ當該郡區ノ監督課ハ前項ノ例ニ依リテ自由土地所有者ノ多數ノ同意ヲ得テ築造ニ付發行シタル公債額ヲ以テ隣接土地所有者ニ之ヲ賣却スルコトヲ得但シ鑿井ヨリ流出スル水ヲ以テ灌漑スルコトヲ得ヘキ土地ノ所有者ニ限ル

第二十九條　監督課ハ第十八條ノ申込書及第十九條ノ契約書ノ副本ヲ其ノ郡區ノ存スル郡ノ記

登記

錄課ニ提出シテ登錄ヲ受クヘシ

前項ノ手續ヲ了シタルトキハ契約ニ依リテ取得シタル權利ハ灌漑地ニ關スル權利ト共ニ存續ス但シ讓受人ニ於テ引續キ三十日間料金ノ支拂ヲ怠リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

料金ノ徵收及處分

第二十二條　郡區會計課ハ本法記載ノ料金ヲ徵收シ直ニ其ノ郡區ノ存スル郡ノ會計官ニ納付スヘシ郡會計官ハ之ヲ特別資金トシテ積立テ其ノ中ヨリ當該郡區ノ水債ノ利子ヲ支拂フヘシ

郡區廳ト課稅

第二十三條　郡會計官ニ納入シタル每年四月一日現在ノ料金カ其ノ年度ノ水債利子ヲ支拂フニ足ラサルトキハ郡區行政官ハ課稅ニ依リテ其ノ不足額ヲ補充スヘシ

前項ノ課稅ハ郡內ニ於ケル課稅財產ニ對シテ之ヲ爲シ五箇年後ニ於テハ課稅ニ依リ還債基金ヲ設ケテ水債元金ノ償還ニ充當スヘシ但シ課稅財產ニ對シ年三分ヲ超ユルコトヲ得ス

溜池ノ利用

第三十條　公共ノ用ニ供スルノ目的ヲ以テ湖床、河川又ハ溜池ニ水ヲ貯溜スル爲メ鑿井ヲ開鑿セムトスル者ハ州技師ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ鑿井ニ關シテハ總テ本法ノ規定ヲ適用ス但シ州技師ハ他ノ家事用又ハ灌漑用ニ供スヘキ鑿井ノ水流ヲ減スル虞アリト認ムルトキハ繼續シテ水ヲ流出スルコトヲ禁スルコトヲ得

十六個以上ノ鑿井

郡區監督課ハ堤塘其ノ他ノ設備ニ依リ成ルヘク鑿井ノ水ヲ隣郡區ニ流出セサラシムヘシ

第三十二條　州技師ニ對シ直徑四吋半以下ノ鑿井ヲ設置セムコトヲ申込ミタル者ハ十六個以上

ノ鑽井ヲ開堀スルコトヲ得

設置シ得ル場合

第三十四條　州技師ハ當該郡區監督課ノ承認ヲ得タルトキハ法律ニ牴觸セサル範圍内ニ於テ公

水ノ使用ニ關スル規則

共用鑽井ノ水ノ分配及使用ニ關スル規則ヲ定ムルコトヲ得但シ郡區廳ノ請求アリタルトキハ其ノ規則ヲ設クルコトヲ要ス

開鑿者ノ記錄

第三十五條　郡區廳ハ公共用鑽井ノ開鑿契約書中ニ於テ鑽井ノ深サ及其ノ工事中ニ到達又ハ通過シタル地層ニ關スル記事ヲ表示スヘシ

前項ノ規定ハ契約書ノ要素ニシテ之ニ違反シタル者ハ契約違犯者トス

水ノ使用及其方法

第三十六條　本法ノ規定ニ依リ鑽井ノ水ヲ使用シ得ヘキ用途左ノ如シ

一　灌漑用

二　家事用（家事用トハ一家族ノ使用家畜ノ飼水、庭園及農場ニ關スル使用竝消費者ノ家屋ヲ圍繞セル草木花草及灌木（但シ半エーカーヲ限度トス）ノ保存ニ要スル使用ヲ謂フ）

三　工業用

灌漑ニ供スル水ヲ阻害シ又ハ著シク其ノ水量ヲ減少スルノ虞ナキトキハ郡區監督課ハ公衆ノ利益ニ適スト認ムル工業ニ對シ鑽井ノ使用ヲ許可スルコトヲ得但シ十箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

公共ノ用ニ供スル設備

前項ノ使用人又ハ其ノ承繼人ハ十箇年後ニ於テ評定時價ニ依リ料金ヲ支拂ヒテ其ノ使用ヲ繼續スルコトヲ得

鑽井ノ使用ニ對シテ徴收スル金額ハ之ヲ郡會計官ニ送付シテ公債ノ元利償還基金ニ加フヘシ

第三十七條　州技師ハ當該郡區ノ費用ヲ以テ各鑽井ノ水ヲ之ニ近キ公路ニ導キ長サ十呎幅三呎深サ二呎以内ノ水槽ヲ設ケテ之ヲ貯溜シ家畜ノ飼水其ノ他一般公衆ノ家事用ニ供セシムルコトヲ得

私有井水ノ使用ニ對スル制限

○千八百九十五年條例第八十號抄

井ノ設置

第四十二條　個人、組合又ハ會社ハ家事用、灌漑用又ハ製造用ニ供スル爲其ノ所有地ニ鑽井ヲ穿鑿シ之ヲ維持スルコトヲ得但シ其ノ水ノ使用ハ特定ノ用途ニ必要ナル程度ニ限ル若シ必要ノ程度以上ノ水ヲ使用スルモ隣接地ニ於ケル井戸ノ水流ニ影響ヲ及ホサヽルトキ亦同シ

第四十三條　公共ノ用ニ供スル爲本法ノ規定ニ依リ郡區又ハ私設團體ニ於テ井戸ヲ設置セムトスルトキハ能ク井戸ノ配置ニ留意シ總テノ井戸ノ水流ヲシテ常ニ平均ヲ保チ相互ノ間ニ衝突ナカラシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ既ニ完成シ又ハ工事中ノ井戸ニ近ク新ニ井戸ノ位置ヲ定メタル爲衝突ノ虞

アルトキハ州技師ニ對シ書面ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得

州技師ハ前項ノ申立ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク實地ニ付調査シ地形及附近ノ狀況ニ依リ果シテ既ニ完成シ又ハ工事中ノ他ノ井戸ニ衝突スルヤ否ヤヲ決定スヘシ若シ州技師カ著シキ衝突ヲ來スモノト認メタルトキハ適當ノ地ニ其ノ位置ヲ變更スヘシ但シ其ノ農地ニ於ケル永久的建物カ隣接農地ノ鑽井ノ穿鑿ニ先チテ設定セラレタルモノナルトキハ所有者又ハ其ノ代理人ハ隣接地ノ井戸ニ接近スルト否トヲ問ハス其ノ建物ニ近ク鑽井ヲ設クルコトヲ得

州技師ハ本條ノ決定ヲ爲シタル後五日以內ニ決定書ヲ作製シ原本又ハ其ノ謄本ヲ當該郡ノ巡回裁判所書記課ニ提出スヘシ

州技師ノ決定ニ不服アル者ハ決定書提出後十日以內ニ當該裁判所ニ控訴ヲ提起スルコトヲ得

控訴ノ提起アリタルトキハ更ニ審理ス

第四十四條　州技師ハ本法ニ依リ設置シタル公私ノ鑽井ノ水流及壓力ノ增減ヲ決定スル爲適當ナル時期ニ於テ任意ノ土地ニ立入リ井戸ノ水流及壓力ヲ測量シ又ハ測量セシムル權利ヲ有シ義務ヲ負フ

州技師カ前項ノ規定ニ依リ井戸ノ測量ヲ爲スニ付堰ヲ築造セムトスルトキハ井戸ノ所有者ハ必要ノ材料ヲ供給シ其ノ他相當ノ便宜ヲ與フルコトヲ要ス

水流及壓力ノ測定

放水ノ禁止

第四十六條　總テ鑽井ヲ管理スル者ハ水流ノ阻塞スルコトヲ防ク爲正當ニ必要ナル水量ヲ使用シ又ハ有益ナル用途ニ供スルノ外其ノ水ヲ流出又ハ引用スルコトヲ得ス但シ街路、道路其ノ他往來ノ樹木保存上灌漑ニ必要ナル又ハ裝飾用ノ池塘、噴水若ハ養魚ニ必要ナル水ヲ引用スルコトヲ妨ケス

井戸ノ視察

第四十七條　鑽井ノ所有者又ハ其ノ管理者カ正當ノ理由ナクシテ屢其ノ水ヲ流出セシメ又ハ本法ノ規定ニ違反スル行爲アリタル場合ニ於テ不服ノ申立ヲ受ケタルトキハ郡區監督員、郡委員、道路管理員及市參事會員其ノ他ノ市吏員ハ晝夜ヲ問ハス所轄郡區及郡市町ニ於テ鑽井ノ存スル構內ニ立入リ之ニ關スル取調ヲ爲スコトヲ得取調ノ結果不服ノ申立ニ正當ノ理由アリト認ムルトキハ本法ノ違反者トシテ刑事訴訟法ノ手續ニ依リ之ヲ告發シ又ハ告發ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前項ノ調查及視察ノ目的ヲ以テ官公吏カ其ノ鑽井ノ存スル土地ニ立入ルニ付テハ土地所有者ハ公然之ヲ認諾シタルモノト看做ス

○千八百九十五年法律第百四號抄

第一條　何人ト雖モ所有地若ハ之ニ隣接スル自然水流中ニ堰堤ヲ築造維持シ若ハ築造維持スル

農業水利ニ關スル北米合衆國カンサス州法

コトヲ許諾シ之ニ依リテ未タ占用セラレス且ツ直接家事用若ハ灌漑用ニ供セラレサル水ヲ其水流ヨリ引用シ、農業上ノ用途ニ供スル目的ヲ以テ引用シタル水ヲ貯藏スル爲溜池ヲ築造維持シ若ハ築造維持スルコトヲ許諾シ其ノ水流若ハ溜池ニ水ヲ注入若ハ引用スルニ必要ナル溝渠、水閘若ハ水路ヲ築造維持シ竝該水流ノ水ヲ前記ノ使用ニ供スル爲必要ナル水車若ハ機械ヲ設置若ハ維持シテ水力其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ運轉シ又ハ同樣ノ目的ヲ有スル他ノ機械若ハ設備ヲ保存、維持若ハ使用スルコトヲ得但シ堰堤ノ築造ニ依リ水流ノ水ヲ自然ノ流床又ハ河岸以外ニ流出セシムルコトヲ得ス

堰堤又ハ溜池ノ築造ニ依リ他人ノ土地又ハ所有物ニ損害ヲ加ヘタル者ハ被害者ニ對シ其損害ヲ賠償スヘシ

○千八百九十七年法律第七十五號抄

第一條　南ダコタ州ニ於ケル地上水ハ總テ一般公衆ノ利用ニ供ス

○千八百九十七年法律第七十七號抄

第一條　湖、沼、河川、入江等ニ於ケル普通量以上ノ餘水ハ總テ州民ノ利用ニ供ス

農業水利ニ關スル北米合衆國（カンサス）州法

○カンサス州一般法抄

流水ノ占用

第一條　州内ニ於ケル河川ノ流水ヲ灌漑用ニ使用スルノ權利ハ占用ニ依リテ之ヲ取得スルコトヲ得占用者相互ノ間ニ於ケル使用權ノ順位ハ占用ノ前後ニ依ル

取水地點ノ變更

第二條　水ノ使用權ヲ有スル個人、組合又ハ會社ハ他人ニ損害ヲ加ヘサル範圍内ニ於テ取入口ヲ變更シ又ハ水路、溝渠若ハ堰ヲ擴大若ハ延長シテ當初ノ使用地以外ニ及ホスコトヲ得

告示書ノ内容

第三條　本法施行後新ニ水ヲ占用セムトスル個人、組合又ハ會社ハ取入口ニ近キ見易キ場所ヲ選ヒテ告示書ヲ掲クヘシ

告示書ニハ何某、何組合又ハ何會社ハ何河川ヨリ四吋ノ壓力ヲ以テ計リタル何吋ノ水量ヲ取得スル旨及成ルヘク明確ニ取入口ヲ表示シ竝流水引用ノ手段及其ノ水路溝渠又ハ堰ノ大サヲ記載スヘシ

前項ノ告示ヲ爲シタルトキハ十日以内ニ取入口ノ存スル郡ノ郡書記事務所内ニ於テ見易キ場所ニ其ノ寫ヲ掲示シ郡書記ハ一定ノ帳簿ニ之ヲ登錄スヘシ

工事ノ繼續施行

第四條　水ノ使用權ヲ取得セムトスル者ハ告示書掲示ノ日ヨリ六十日以内ニ水ノ引用ニ供スヘキ工作物ノ開鑿又ハ築造ニ着手シ天候ノ爲止ムヲ得ス一時停止ヲ爲ス場合ノ外完成ニ至ル迄勤勉ニ工事ヲ繼續施行スヘシ

完成トハ豫定ノ使用場所ニ水ヲ導クコトヲ謂フ本條ノ規定ニ依リ完成シタルトキハ水ノ使用權ハ告示書掲示ノ時ニ遡リテ其ノ効力ヲ生ス

本條ノ規定ニ違反シタル者ハ其ノ權利ヲ喪失シ次順位ノ要求者之ニ代ル

灌漑委員

第三十六條　州知事ハ元老院ノ協賛ヲ經テ一名ノ灌漑林務委員ヲ任命シ其ノ指導ノ下ニ森林及灌漑ニ關スル二科學ヲ調査ス其ノ任期ハ四ヶ年トス但シ任期中ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ職ヲ免セラルルコトナシ

灌漑林務委員ハ兩科學ノ蘊奥ヲ極メ且ツ實地ノ經驗ニ富ム者タルヲ要ス

灌漑林務委員ハ森林法記載ノ職務ノ外本法指定ノ職務ヲ行フヘシ

○貯水及灌漑法抄（西經九十九度以西）

水ノ占有

第一條　第九十九子午線以西ニ於テハカンサス州内ノ自然水ハ其ノ流水ナルト滯水ナルト又地上水ナルト地下水ナルトヲ問ハス總テ第一順位トシテ農業ノ爲ニスル灌漑ニ供ス但シ一般家

使用水量ノ制限

事用ニ對抗スルヲ得ス次ニ其ノ他ノ産業上ノ使用ニ供シ其ノ目的又ハ使用ニ付テハ自然ノ河床、盆地又ハ流路ヨリ之ヲ引用スルコトヲ得但シ公用徴收ニ依リ適當ナル賠償ヲ爲スニ非サレハ同一又ハ優先ノ目的ヲ有スル既定ノ占用權ヲ害スルコトヲ得ス

自然ノ湖水又ハ池水ニシテ排水路ヲ有セサルモノハ之ヲ圍繞スル土地ノ一部ト看做シ土地所有者ノ引用及占用ニ供ス

第二條　占用權者ハ其ノ占用ノ手段タル工事ノ着手後相當ノ期間又ハ他人カ占用ヲ開始セサル前ニ於テハ有用水量ニ漏泄及蒸發ニ依ル相當ノ消失量ヲ加ヘタル水量ニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得

自然河川ノ利用

前項ノ水量ト溝渠其ノ他ノ工作物ノ輸水全量トノ差ニ相當スル餘水ハ之ヲ次位ノ占用者ノ使用ニ供ス

取入口ノ變更

第三條　何人ト雖モ州内ノ自然河川又ハ河床内ニ一度占用シタル水ヲ注入シタルトキハ占用ノ順位ニ關セス任意ノ場所ニ於テ更ニ之ヲ引用スルコトヲ得但シ蒸發及漏泄ニ依リテ消失シタル相當ノ水量ヲ減スルヲ要ス

第四條　自然河川ノ流床ニ變化ヲ生シテ溝渠又ハ導水路ニ依リ適當ノ水量ヲ引用スルコト能ハサルニ至リタルトキハ其ノ溝渠又ハ導水路ノ所有者ハ相當期間内ニ於テ溝渠又ハ導水路ヲ新

地下水ノ占用

流床ニ到達スル迄延長シ又ハ堤塘ヲ設置シテ同流水ヲ之ニ導クコトヲ得

延長シタル溝渠又ハ導水路ハ延長前ト同一ノ期間内ニ於テ同一ノ水量ヲ引用スルコトヲ得占用ノ順位亦同シ但シ延長ニ依リ他ノ溝渠、導水路其ノ他ノ引用、輸送及貯溜ニ供スル工作物ヲ毀損シ又ハ其ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

第五條　地下流水、地下水層又ハ地下水溜ノ水ハ地上水ト同シク之ヲ占用スルコトヲ得何人ト雖モ下水、溝渠、井泉、暗渠其ノ他ノ工作物ヲ設置スルニ依リテ地下水タルコト明カナル濾水ヲ貯溜又ハ引用シテ先順位ノ占用者ニ損害ヲ及ホスコトヲ得ス但シ自己ノ所有地ニ於テ土窖、鑛坑若ハ石坑ヲ開鑿シ其ノ他同種ノ事業ヲ營ミ、自己ノ所有地ヲ排水改良スル爲下水ヲ開鑿シ又ハ自己ノ土地ニ井戸ヲ設ケ喞筒、鉤瓶其ノ他ノ設備ニ依リ地下ヲ滲濾スル水ヲ貯溜スルコトヲ妨ケス

地下水ヲ占用又ハ引用スルニ依リ單ニ水位ヲ低下セシムルニ止リテ家事用其ノ他有益ノ使用ニ供スル先順位ノ占用水ヲ皆盡シ又ハ著シク減少セシムルコトナキ場合ニ於テハ之ヲ不法ノ占用又ハ引用ト看做サス

第六條　地上水流ニ自然ニ流入スル地下水ハ其ノ地上水ニ付先順位ノ占用權ヲ有スル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ之ヲ使用又ハ占用スルコトヲ得ス

鑛井使用者ノ權利

第七條　本法ノ規定ニ依リ鑛井ノ水ヲ有益ナル用途ニ供スル者ハ相當ノ期間其ノ利用水量ニ付占用權ヲ取得シタルモノト看做ス但シ相當ノ勤勉ヲ以テ工事ヲ施行シタル場合ニ於テハ其ノ占用權ハ工事着手ノ日ヨリ其ノ他ノ場合ニ於テハ有益ナル用途ニ供シタル時ヨリ其ノ効力ヲ有ス

占用ノ繼續

第八條　占用ノ優先權ハ適法ナル行使ニ依リテ成立又ハ繼續ス占用者適法ニシテ且ツ有益ナル使用ヲ繼續セサルトキハ相當ノ理由ヲ辨明スルニ非サレハ占用權ヲ拋棄シタルモノト看做ス

占用權ト最高所有權

第九條　產業上ノ用途ニ供スル水ノ占用又ハ引用ノ優先權ハ之ヲ以テ最高所有權ニ對抗スルコトヲ得ス其ノ收用及補償ハ公益ノ爲ニスル一般私有財產收用ノ方法及規定ニ依ル

第十一條　何人ト雖モ家事用ニ供スル爲水桶其ノ他ノ器具ヲ以テ道路ニ接スル又ハ自己若ハ他人ノ所有地ニ於ケル自然ノ河流又ハ溝渠、水道若ハ溜池ヨリ水ヲ自由ニ汲取ルコトヲ得但シ他人ノ土地內ニ在ルモノニ付アハ墻圍ナキ場合又ハ未墾地ノ場合ノ外所有者ノ承諾ヲ受クヘシ

貯水權

第十三條　灌漑其ノ他ノ目的ヲ以テ水ノ使用權ヲ有スル者ハ權利ノ存續期間內何時ニテモ其ノ後ノ使用ニ供スル爲水ヲ聚集又ハ貯溜スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ一時其ノ使用ヲ停止スルコトニ依リテ既得權ヲ失フコトナシ

權利ノ讓渡ニ基ク消滅

第十四條　水又ハ其ノ使用權ヲ移轉、賣却、貸與若ハ讓渡シタル者又ハ水ノ分配若ハ番水契約ノ對償トシテ金錢其ノ他ノ有價物ヲ受領シタル者ハ其ノ水ノ使用又ハ權利ノ享有ニ關スル總テノ權利ヲ拋棄シタルモノト看做ス但シ拋棄ニ依リ其ノ水ノ屬スル土地、工場、製造所其ノ他ノ工作物ノ責任者又ハ衡平法上ノ所有者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

水量ノ缺乏ト水ノ分配

第二十八條　溝渠又ハ溜池ノ管理人ハ平時各吐水口ヨリ流出スル水量ヲ計算シ置キ水量缺乏ノ場合ニ於テハ溝渠又ハ溜池ノ管理人ハ各權利者ノ權利量ニ依リ公平ニ分配スヘシ溝渠又ハ溜池ノ工事完成後更ニ之ヲ擴張シタル場合ニ於テ其ノ擴張ニ依リテ引用、聚集、輸送又ハ貯溜シタル水ニ付亦同シ

水閘ノ閉鑽

同一配水溝ヨリ水ノ供給ヲ受クル使用者ハ何時ニテモ其ノ過半數ノ同意ヲ以テ管理人ヲ選任スルコトヲ得配水溝管理人ノ分配シタル水ハ更ニ使用者間ニ於テ之ヲ分配スヘシ

同一配水溝ノ下ニ在ル二名以上ノ使用者ハ會議ノ日時、場所及目的ヲ記載シタル書面ヲ他ノ使用者ニ通達シテ管理人ノ選任又ハ解任ノ會議ヲ招集スルコトヲ得

管理人ノ任期幷其ノ報酬又ハ實費ノ辨償ハ其ノ配水溝ノ下ニ在ル使用者ノ過半數ノ同意ニ依リ決定ス

第二十九條　自然ノ河流及水源ノ水ハ之ヲ數多ノ溝渠、導水路其ノ他ノ工作物ニ分配シ工作物

鑽井ノ記錄

ノ所有者及其ノ工作物ニ依ル水ノ使用權者ニ既定量ノ水ヲ供給スヘシ

先順位ノ引用權ヲ有スル工作物ノ所有者ノ引用スヘキ水カ後順位ノ工作物ニ流入スル爲其ノ需要ニ足ルヘキ水量ヲ得サルコトヲ發見シタルトキハ水閘ノ全部又ハ一部ヲ閉鑽シテ自己ノ工作物ニ既定量ノ水ヲ流入セシムルコトヲ得

不當ノ供給ヲ受クル工作物ノ所有者カ正當ナル權利者ヨリ要求ヲ受ケタルニ拘ハラス其ノ引用ヲ制限セス又ハ其ノ制限ヲ拒ミタルトキハ官廳ハ餘分ノ水ヲ受クル工作物ノ水閘ヲ閉鑽シテ正當ノ權利者ニ對シ充分ナル水量ヲ供給スヘシ

第三十條　鑽井ヲ開鑿スル者ハ工事記錄ヲ作製シテ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　鑽井ノ所有者又ハ開鑿者ノ氏名及住所竝工事ノ請負人及擔任者ノ氏名

二　四十エーカーヲ限リタル地區内ニ於ケル鑽井ノ位置但シ市街ニ在ルモノニ付テハ其ノ存スル部分及附近ノ現況ヲ表示スヘシ

三　工事ノ着手年月日（機械据付ノ年月日ヲ指ス）

四　工事ノ休止度數及其ノ期間

五　工事ノ完成又ハ最後ニ停止シタル日時

六　開鑿ニ付經過シタル各地層竝各地層ニ到達及通過シタル時ノ深サヲ成ルヘク正確ニ記述

シ尚堀出シタル各水流竝通過シタル各水脈及其ノ地上ヨリノ深サヲ示シ其ノ各水流及水脈ニ付テハ地上ヨリノ番號ヲ順次附記スヘシ

七　各水流又ハ水脈ヲ堀出シタル後水ノ地上ニ昇リタル高サ又ハ地平面ヨリノ距離

八　事業ヲ完了又ハ停止シタルトキハ一秒間一立方呎又ハ其ノ分數單位法ニ依リ其ノ排出水ヲ測定スヘシ

鑽井ノ所有者ハ工事ノ完了又ハ停止後三十日以内ニ所有者又ハ工事擔任者ノ宣誓ニ依リ作製シタル陳述書又ハ證明書ヲ鑽井ノ存スル郡ノ證書記錄所ニ差出スヘシ

陳述書又ハ證明書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　工事記錄ノ記載事項全部

二　鑽井ニ依リテ占用セムトスル水脈又ハ水流

三　占用セムトスル水ノ總量但シ流井ナルトキハ一秒間何立方呎又ハ分數單位ヲ以テ之ヲ表示シ其ノ他ノ場合ニ於テハ通常停止スル水面ト地面トノ距離ニ於ケル水量ニ依ル

四　鑽井ニ圍壁ヲ設ケタル箇所及各圍壁内部ノ直徑

第三十一條　既ニ開鑿シタル鑽井ノ所有者又ハ其ノ使用權者ハ本法施行ノ日ヨリ九十日以内ニ自己ノ記憶、書類及報告等ニ依リ成ルヘク詳細ニ前條ニ列記セル事項ヲ記載シタル陳述書ヲ

差出スヘシ

第三十二條　鑽井ノ所有者又ハ管理人ハ其ノ存スル郡ノ外他ノ郡ニ於テモ前二條ノ書類ヲ登錄スルコトヲ得

前項ノ記錄ハ其ノ登錄ヲ爲シタル郡内ニ於テハ優先ナル占用權ノ告示ト看做シ同一水流ニ付後位ノ占用權ヲ有シ又ハ將來取得スル者ニ對抗スルコトヲ得

第四十四條　同一水源ヨリ水ノ供給ヲ受クル二箇以上ノ溝渠、溜池其ノ他ノ工作物ノ所有者ハ其ノ水ノ使用權者ノ同意ヲ得タルトキハ一定ノ期間一定ノ方法ニ依リ其ノ水源ヨリ適法ニ分配セラレタル水ノ全部又ハ一部ノ番水契約ヲ爲スコトヲ得但シ之ニ依リ他ノ溝渠、溜池其ノ他ノ工作物ヨリ受クル水ノ供給ヲ減少セシムルコトヲ得ス

第四十五條　溝渠、溜池其ノ他ノ工作物又ハ其ノ配水溝ノ水ノ全部又ハ一部ニ付其ノ使用權者間ニ番水契約ヲ爲シタルトキハ契約者ハ其ノ契約書又ハ其ノ抄本若ハ謄本ヲ溝渠、溜池又ハ配水溝等ノ管理人ニ差出スヘシ

前項ノ書類ヲ受ケタル管理人ハ丁寧ニ之ヲ保管シ其ノ契約ノ有効期間中契約ニ依リ契約當事者ノ使用スル水ヲ分配スヘシ

第四十六條　二個以上ノ溝渠、溜池其ノ他ノ工作物ノ所有者間ニ締結シタル契約ニシテ明カニ

他ノ溝渠其ノ他ノ工作物ノ所有者又ハ其ノ水ノ使用權者ニ損害ヲ與フルモノナルトキハ之ヲ履行スルコトヲ得ス若シ履行ニ依リ第三者ニ損害ヲ與フルコトヲ知リタルトキハ番水ヲ停止スヘシ

番水契約ノ消滅

第四十七條　溝渠其ノ他ノ工作物ノ所有者ニシテ番水契約ノ當事者ニ非サル者又ハ其ノ水ノ使用權者ハ其ノ住居スル郡ノ當該地方裁判所判事ニ對シ同契約ノ破棄ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ契約當事者ニ其ノ申請ヲ爲シタル旨ヲ通知スヘシ

番水契約ノ不許可

判事ハ利害關係人ニ對シテモ契約破棄ノ申請ヲ爲シタル旨ヲ通知セシムルコトヲ得

判事ハ溝渠其ノ他ノ工作物ノ所有者又ハ其ノ水ノ使用者若ハ使用權者ヲ審問シテ權利及正義ノ要求スル所ニ依リ裁判ス但シ未決定中ニ於テハ其ノ契約ニ基キテ水ヲ分配スヘシ

第四十八條　番水契約ノ指定シタル水ヲ以テ灌漑スル土地ノ優先權者ニシテ契約當事者ニ非サル者ノ權利ヲ害シ又ハ害スルノ虞アルトキハ番水契約之ヲ締結スルコトヲ得ス又番水契約ニ依リ約契ノ指定シタル水ノ使用者若ハ使用權者其ノ他第三者ノ權利及優先權ヲ害シ又ハ影響ヲ及ホスコトヲ得ス

番水契約ノ登記

第四十九條　番水契約ハ溝渠、溜池其ノ他ノ工作物相互ノ間ナルト溝渠、溜池其ノ他ノ工作物又ハ其ノ配水溝ノ水ノ使用權者相互ノ間ナルトヲ問ハス其ノ契約ノ期間一季節以上ナルトキ

ハ溝渠、溜池等ノ取入口ノ存スル郡ノ證書記錄所ニ於テ之ヲ登錄スヘシ

漏水ノ占用

第五十三條　溝渠、溜池又ハ暗渠ノ漏泄水ニ依リ浸潤セラルル土地ノ所有者ハ排水溝、塹壕ヲ堀鑿シ又ハ鐵管若ハ土管ヲ埋設シテ其ノ水ヲ排出シ自然水流、小河若ハ水路ニ輸送シ又ハ任意ノ場所ニ導キ家事用、農業用、工業用其ノ他ノ使用ニ供スルコトヲ得

水ノ供給ニ對スル料金

第八十一條　州內ニ於ケル自然水流其ノ他ノ水源ヨリ水ヲ引用若ハ貯溜シ又ハ之ヲ計畫シテ一般使用者ノ灌漑、製造、衛生又ハ家事上ノ需用ニ供シ之ニ對スル報酬ヲ受クルノ目的ヲ以テ築造シタル溝渠又ハ溜池ヲ所有又ハ管理スル個人、組合又ハ會社ハ需用者ヨリ直接又ハ間接ニ使用料、謝禮若ハ報酬ヲ受ケ又ハ其ノ水ノ供給若ハ配付ノ特權ニ對スル條件トシテ金錢其ノ他ノ貴重品ヲ要求、約定若ハ受領スルコトヲ得ス

前項ノ水ハ法律ノ規定ニ依リ郡委員會ニ於テ決定シタル費用ヲ支拂ヒ又ハ提供シタル使用者ニ對シ其ノ權利ニ應シテ使用セシムル爲之ヲ引用、貯溜又ハ供給スヘシ

本條ノ規定ニ反シテ要求、賦課、約定又ハ受領シタル金錢其他ノ貴重品ハ之ヲ不法ノ利得ト看做ス

既ニ支拂、送付又ハ讓渡シタル金錢其他ノ貴重品ハ訴訟費用及原告カ辯護人ニ對シテ支拂フヘキ相當ノ報酬ト共ニ適法ノ手續ニ依リ受領者ヨリ之ヲ回收スルコトヲ得

使用料徴收ニ對スル罰金

地方裁判所ト占用ノ順位決定

第八十二條　前條ノ溝渠又ハ溜池ヲ所有又ハ管理スル個人、組合若ハ會社又ハ其ノ吏員若ハ代理人カ法定ノ報酬ヲ受クルノ外前條ニ依リ禁止セラレタル使用料、謝禮、報酬ヲ受ケ又ハ水ノ供給若ハ配付ノ特權ニ對スル條件トシテ金錢其ノ他ノ貴重品ヲ要求、約定若ハ受領シタルトキハ犯罪者トシ裁判ニ依リ百弗以上五千弗以下ノ罰金又ハ三箇月以上一箇年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ罰金及禁錮ヲ併科ス

第百三條　水ノ輸送者又ハ使用者ノ權利及其ノ優先順位ノ決定ニ關スル管轄權ハ地方裁判所ニ專屬ス

地方裁判所判事ハ必要アルトキハ水利監守ヲ任命シ同裁判所ノ捺印證書ヲ以テ左ノ權限ヲ委任スルコトヲ得

一　鑽井ノ水ノ浪費又ハ不法ノ使用ヲ防キ優先占用權ヲ保護スルコト

二　水閘、排水閘其ノ他本法記載ノ工作物ノ鍵ヲ要求及受領シ同裁判所ノ命令ノ遂行ニ必要ナル期間之ヲ保存スルコト但シ必要ナキニ至リタルトキハ所有者ニ返戻シ又ハ裁判所ノ命令ニ依リ處分スルモノトス

三　引用者ノ權利及其ノ優先順位ニ從ヒ裁判所ノ命令ニ依リテ水源ノ水ヲ分配シ水閘又ハ排水閘ノ開閉ヲ司ルコト

四　本法ノ規定ニ基キ裁判所ノ發スル命令ニ從ヒ溝渠ニ水ヲ分配スルコト

裁判所ハ水利監守ニ職務ノ施行上必要ナル助手ヲ雇聘スルノ權能ヲ附與スヘシ

水利監守ハ裁判所ノ命令執行ニ從事シタル日數ニ應シ一日ニ付二弗ノ報酬ヲ受クルノ外職務ノ執行ニ要シタル實費ノ辨償ヲ受ク此ノ費用ハ地方裁判所判事ノ證明ニ依リ其ノ職務ヲ要シタル郡ノ委員會ニ於テ之ヲ支拂フヘシ

判事ハ監守ノ事務及之ニ要シタル費用ヲ關係郡ニ配賦シテ之ヲ證明スヘシ

農業水利ニ關スル佛蘭西國法

農業水利ニ關スル佛蘭西國法

○行政會議ノ職權ニ關スル法律抄（千七百九十年八月）

行政官ハ河川中ニ設置セラレタル水門ノ過度ノ上昇又ハ水車其ノ他ノ設備ニ依リ牧場ヲ浸水セシメス竝灌漑ノ原則ニ從ヒテ水ノ流通ヲ容易ニシ其ノ管轄區域内ノ諸水流ヲ公共ノ利用ニ供スヘキ方法ヲ講シ且ツ之ヲ指定スヘシ

○郡村ノ財産、慣習及警察ニ關スル法律抄（千七百九十一年九月）

第四條　何人ト雖モ舟筏ノ便アル河川ノ水ヲ自己單獨ノ所有ナリト主張スルコトヲ得ス

第十五條　何人ト雖モ其ノ隣地ニ流水ヲ漲溢セシメ又ハ隣地ノ所有若ニ損害ヲ被ラシムヘキ方法ニ依リ水ヲ引用スルコトヲ得ス若シ犯シタル者ハ損害賠償ヲ支拂ヒ且ツ損害額ヲ超過セサル罰金ニ處ス

第十六條　既成若ハ建築中ノ水車又ハ水力機械ノ所有者又ハ賃借人ハ水堰ノ過度ノ開放其ノ他ノ原因ニ依ル出水ノ爲街路及隣接地ニ生セシメタル損害ヲ賠償スルノ義務ヲ負フ

水車又ハ工作物ノ所有者又ハ賃借人ハ他人ニ損害ヲ與ヘサル程度ニ於テ水ノ高度ヲ維持スルノ義務ヲ負フ但シ其ノ高度ハ該行政區會ノ意見ニ依リ縣知事ノ達示書ヲ以テ之ヲ定ム若シ犯シタル者ハ損害額ヲ超過セサル罰金ニ處ス

○民法抄（千八百四年）

第六百四十條　低地ハ高地ヨリ人工ヲ用ヰスシテ自然ニ流下スル水ヲ承クヘキモノトス

低地ノ所有者ハ水ノ流下ヲ妨クヘキ堤防ヲ築造スルコトヲ得ス

高地ノ所有者ハ低地ノ地役ヲ加重スヘキ一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第六百四十一條　土地所有者ハ其ノ所有地ニ落下スル雨水ヲ使用又ハ處分スル權利ヲ有ス但シ其ノ使用方法又ハ流下セシムル方向ノ爲前條ニ規定シタル自然ノ地役ヲ加重スル場合ニ於テハ低地ノ所有者ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

本條ハ所有地ニ存スル泉水ニモ之ヲ適用ス地質測量又ハ地下工事ノ爲土地所有者カ其ノ土地ニ水ヲ湧出セシメタル場合ニ於テハ低地ノ所有者ハ之ヲ承クルノ義務ヲ負フ但シ其ノ放流ニ依リテ損害ヲ受ケタルトキハ賠償ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ人ノ住居ニ接近セル家屋、庭園、園地及囿等ニ之ヲ適用セス

本條及規則ニ規定スル地役ノ設定及實行ニ付爭議ヲ生シタル場合ニ於テ低地ノ所有者ノ受クヘキ損害賠償ニ關スル訴訟ハ第一審ニ在リテハ該區ノ治安判事ニ之ヲ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ治安判事ハ所有者及農工業者ノ利益ノ調和ヲ圖リテ判決ヲ下スヘシ若シ鑑定人ヲ要スルトキハ一人ヲ限リ任命スヘシ

第六百四十二條　自己ノ所有地ニ源泉ヲ有スル者ハ所有地ノ必要ニ應シ其ノ區域内ニ於テ隨時之ヲ使用スルコトヲ得

低地ノ所有者カ三十年以上源泉ノ所在地ニ於テ水流ヲ利用スル爲又ハ其ノ所有地ニ於テ水ノ通過ヲ容易ナラシムル爲明ニ認メ得ヘキ永久的施設ヲ爲シタルトキハ源泉ノ所有者ハ之ニ對シ損害ヲ被ラシムヘキ方法ニ依リ其ノ水ヲ使用スルコトヲ得ス

源泉ノ所有者ハ前項ノ外其ノ水カ市町村又ハ部落ノ住民ニ必要ナルトキハ其ノ利益ニ反スル方法ニ依リ之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ住民ノ泉水使用權カ時効ニ依リテ取得セラレタルモノニ非サルトキハ所有者ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ鑑定人之ヲ定ム

第六百四十三條　源泉ノ湧出口ヨリ流出スル水流カ公共用水タル性質ヲ有スル場合ニ於テハ源泉地ノ所有者ハ其ノ自然ノ流域ヲ變更セシムルニ依リ低地ノ水流使用者ニ損害ヲ被ラシムル

コトヲ得ス

第六百四十四條　第五百三十八條ノ規定ニ依リテ公領附屬地ト定メラレタル土地以外ノ流水ニ沿ヒタル土地ノ所有者ハ其ノ土地ヲ灌漑スル爲其ノ水路ニ於テ水ヲ使用スルコトヲ得

流水ノ通過スル土地ノ所有者ハ其ノ通過ノ場所ニ於テ水ヲ使用スルコトヲ得但シ其ノ流水カ該所有地ヲ流出スルトキハ之ヲ常流ニ復スルノ義務ヲ負フ

第六百四十五條　水ヲ利用スル數人ノ土地所有者ノ間ニ水ニ關スル訴訟ヲ生シタルトキハ裁判所ハ所有者及農業者ノ利益ノ調和ヲ圖リテ其ノ判決ヲ下スヘシ此ノ場合ニ於テハ水路ニ關スル特殊ノ地方的規則及ヒ水ニ關スル慣習ヲ參照スルヲ要ス

○灌漑法（千八百四十五年四月）

第一條　土地所有者ハ處分權ヲ有スル天然又ハ人工ヲ加ヘタル水ヲ其ノ所有地ノ灌漑ニ供セムトスルトキハ中間ニ存スル土地ニ水ノ通路ヲ求ムルコトヲ得但シ豫メ相當ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ家屋、庭園及人家ニ接近スル園地ニ之ヲ適用セス

第二條　低地ノ所有者ハ前條ノ灌漑地ヨリ流下スル水ヲ承クヘキ義務ヲ負フ但シ正當ノ請求權アルトキハ之ニ依リテ生シタル損害賠償ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ家屋、庭園及人家ニ接近スル園地ニ之ヲ適用セス

第三條　所有地ノ全部又ハ一部浸水シタルトキハ其ノ所有者ハ排水ノ爲中間ニ存スル土地ニ流水地役權ヲ設定スルコトヲ得

第四條　地役權ノ設定、水路通過ノ場所、其ノ幅員形狀ノ決定竝流水ヲ承ケタル者又ハ其ノ所有地ニ流水地役ヲ設定セラレタル者ニ對スル損害賠償ノ金額ニ付生シタル訴訟ハ之ヲ裁判所ニ提起スヘシ此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ所有者及事業ノ利益ノ調和ヲ圖リテ其ノ判決ヲ下スヘシ

裁判所ハ即決事件トシテ之ヲ取扱フヘシ但シ鑑定人ヲ要スルトキハ一人ヲ限リ任命スルコトヲ得

第五條　本法ノ規定ハ別ニ水上警察法ノ適用ヲ妨ケス

○灌漑用ノ水堰ノ支柱權ニ關スル法律（千八百四十七年七月）

第一條　土地所有者ハ處分權ヲ有スル天然又ハ人工ヲ加ヘタル水流ヲ其ノ所有地ノ灌漑ニ供セムトスルトキハ對岸ノ土地ニ於テ其ノ引水ニ必要ナル建設物ヲ支持スルコトヲ求ムルコトヲ

得

但シ豫メ相當ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ建築物庭園等ニ之ヲ適用セス

第二條　沿岸ノ土地所有者カ共同ニ堰ヲ使用スルノ必要アル場合ニ於テ河岸ノ土地ニ支柱ヲ要スルトキハ其ノ設置費及維持費ハ共用者ニ於テ各二分ノ一ヲ分擔スヘシ此場合ニ於テハ賠償ヲ爲コトヲ要セス若シ既ニ支拂ヒタルモノアルトキハ受領者ハ之ヲ還付スヘシ

工事開始後共同使用ヲ請求シタル者ハ兩岸ノ灌漑ヲ便ナラシムル爲設計ノ變更ヲ爲シタルニ依リ生シタル經費ヲ負擔スヘシ

第三條　前二條ノ適用ニ關シテ生シタル訴訟ハ之ヲ裁判所ニ提起スヘシ此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ即決事件トシテ之ヲ取扱フヘシ但シ鑑定人ヲ要スルトキハ一人ヲ限リ任命スルコトヲ得

第四條　本法ノ規定ハ別ニ水上警察法ノ適用ヲ妨ケス

○排水ノ流過ニ關スル法律（千八百五十四年六月）

第一條　排水溝其ノ他ノ乾涸方法ニ依リ其ノ所有地ヲ改良セムトスル土地所有者ハ豫メ相當ノ賠償ヲ支拂ヒ其ノ所有地ト河流其ノ他ノ排水路トノ中間ニ存スル他人ノ所有地ニ暗渠又ハ明渠ヲ設置シテ水ヲ通過セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ家屋、庭園、遊園及人家ニ接近セル圍地等ニ之ヲ適用セス

第二條　水流通過ノ承役地タル隣地ノ所有者ハ其ノ所有地ノ水ヲ排出スル爲前條ノ規定ニ依リ設置セラレタル工作物ヲ利用スルコトヲ得但シ左ノ負擔ヲ爲スヘシ

一　其ノ利用スル工作物ノ總價値ニ對スル利用部分ノ比例額

二　其ノ利用ヲ爲スニ付必要ナル工作物ノ變更ニ要スル費用

三　共用ト爲リタル工作物ノ維持費ノ比例額

第三條　數人ノ土地所有者組合ヲ作リ共同ノ工作物ヲ設置シ排水溝其ノ他ノ乾涸方法ニ依リ其ノ所有地ヲ改良セムトスルトキハ各前二條ノ規定ニ係ル權利義務ヲ有ス

第四條　組合、市町村又ハ府縣ニ於テ行ハムトスル暗渠排水其ノ他ノ乾涸方法ノ實施ニ便宜ヲ與フル爲參事院ハ敕令ヲ以テ其ノ公益上ノ理由ニ基クモノナルコトヲ宣告スルコトヲ得

收用ニ對シテ支拂フヘキ賠償金ニ關スル規則ハ千八百三十六年五月二十一日法律第十六條第二項以下ニ依リ之ヲ定ム

第五條　地役ノ設定及實行、水ノ通路ノ決定、排水乾涸工事ノ實行、賠償金又ハ維持費等ニ關シテ生シタル訴訟ハ第一審ニ在リテハ郡ノ治安裁判所ニ之ヲ提起スヘシ此ノ場合ニ於テハ治

安裁判所ハ所有者及事業ノ利益ノ調和ヲ圖リテ其ノ判決ヲ下スヘシ若シ鑑定人ヲ要スルトキハ一人ヲ限リ任命スルコトヲ得

第六條　水堰又ハ排水溝ノ全部又ハ一部ヲ破壞シタル者ハ刑法第四百五十五條ノ刑ニ處ス（一箇月乃至壹箇年ノ懲役、原狀回復及損害賠償ノ四分ノ一ニ等シキ罰金最低限五十法）

故意ニ水流ノ妨害ヲ爲シタル者ハ刑法第四百五十七條ノ刑ニ處ス

刑法第四百六十三條ハ本法ノ場合ニ之ヲ適用スルコトヲ得

○地方自治ニ關スル勅令抄（千八百六十一年四月）

第三條　知事ハ千八百五十二年三月二十五日ノ勅令ノC表ノ項目彙集ノ追加トシテ左記ノ事項ニ關シ決定ヲ與フヘシ

第七　地方的慣習又ハ舊規則ノ定ムル所ニ依リ舟筏ノ便ナキ水流ノ水ヲ工業ト農業トノ間ニ分配スルコト

○總代組合法（千八百六十五年六月）（千八百八十八年十二月改正）

第一章　總代組合

第一條　利害關係ヲ有スル土地所有者ハ左ノ諸工事ノ施行又ハ維持ヲ目的トシテ總代組合ヲ設置スルコトヲ得

一　海、河、急流又ハ舟行ノ便アルト否トヲ問ハス總テノ川ノ防禦

二　舟筏ノ便ナキ堀割若ハ流水又ハ乾涸用若ハ灌漑用堀割ノ浚渫、掘下又ハ整正

三　沼澤ノ乾涸

四　鹽分アル沼澤ヲ利用スル爲必要ナル海水溝渠其ノ他ノ工事

五　濕潤不健康地ヲ健康地トナスコト

六　市、郭外、邑、村落又ハ僻村ニ於ケル衞生工事

七　市、郭外、邑、村落又ハ僻村ニ於ケル公道ノ開鑿、擴張、延長又ハ鋪石其ノ他公益上ノ性質ヲ有スル諸種ノ改良工事

八　灌漑又ハ沈泥

九　排　水

十　開拓道路其ノ他集合的利益ノ性質アル農業上ノ改良工事

第二條　總代組合ヲ分チテ自由總代組合及公認總代組合ノ二種トス

第三條　組合ハ其ノ委員ヲシテ法廷ニ出席セシメ、物ノ取得、賣買若ハ交換又ハ和解若ハ貸借

ヲ爲シ又ハ抵當權ヲ設定スルコトヲ得

第四條　總代組合加入ノ同意ハ未成年者、禁治產者、失踪者其ノ他ノ無能力者ノ財產ニ關シテハ合議局ニ申請シテ財產所在地ノ裁判所ノ許可ヲ受クヘシ但シ檢事ノ承認ヲ經テ後見人、假占有ノ代理人其ノ他法定代理人ノ同意アルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ嫁資不動產及世襲財產ニ關シテモ亦之ヲ適用ス

知事ハ縣會ノ議決ニ依リ權限ヲ付與セラレタルトキハ縣所有ノ財產ニ付、市町村長又ハ理事ハ市町村會又ハ理事會ノ議決ニ依リ權限ヲ付與セラレタルトキハ市町村ノ財產又ハ營造物ニ付、大藏大臣ハ國有財產ニ付總代組合加入ノ同意ヲ與フルコトヲ得

第二章　自由總代組合

第五條　自由總代組合ノ組織ハ官廳ノ許可ヲ要セス

總組合員ノ同意アル場合ハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ證明スヘシ

組合ノ規約ニハ事業ノ目的ヲ定メ組合ノ管理方法理事及委員ニ對スル委任事項ノ範圍竝醵金ノ取立方法其ノ他經費ノ支出ニ充ツヘキ必要ノ方法ヲ定ム

第六條　組合規約ノ謄本ハ其ノ日附ヨリ一箇月以內ニ其ノ郡內ノ法定廣告新聞紙ニ廣告スヘシ若シ其ノ郡內ニ新聞紙ナキトキハ縣ノ新聞紙ノ一ニ廣告スヘシ

前項ノ新聞ハ知事ニ提出スヘシ知事ハ之ヲ縣ノ規約彙集中ニ記入ス

第七條　法定廣告新聞紙上ニ前條ノ廣告ヲ爲ササルトキハ組合ハ第三條ノ利益ヲ享有スルコトヲ得ス又組合員モ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八條　自由總代組合ハ第十二條ノ規定ニ依ル總會ノ決議アリタルトキハ縣令ノ定ムル所ニ依リ公認總代組合ニ變更スルコトヲ得但シ組合規約ニ第十二條ト反對ノ規定ヲ設ケタルトキハ其ノ規定ニ從フコトヲ妨ケス以後其ノ組合ハ第十五條乃至第十九條ノ規約ニ依リ公認總代組合ニ付與セラレタル利益ヲ享有ス

第三章　公認總代組合

第九條　第一條第一號乃至第六號ノ工事ニ利害關係アル土地所有者ノ一名若ハ數名ノ請求アリタルトキ又ハ市町村長若ハ知事ノ發議アリタルトキハ縣令ノ定ムル所ニ依リ公認總代組合ヲ組織セシムルコトヲ得

第一條第七號乃至第十號ノ工事カ參事院ノ發シタル命令ニ依リ公益上必要アリト認メラレタルトキハ利害關係アル土地所有者ニ對シ前項ト同一ノ條件ヲ以テ公認總代組合ヲ組織セシムルコトヲ得

第六號乃至第十號ノ各場合ハ知事ノ許可ヲ受ケタル後ニ非サレハ工事ニ着手スルコトヲ得ス

前項ノ許可ハ豫メ讓與及收用ニ對スル賠償ヲ支拂ヒ且ツ公認總代組合員ニ於テ工事ニ要スル費用、現品及損害ニ對スル賠償金ノ支拂ヲ保證シテ利害關係人若ハ一定ノ當事者ノ承諾ヲ得若シ其ノ承諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ民事裁判所ノ決定ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ與ヘサルモノトス

公認總代組合カ資產ヲ有セサル場合ニ於テ工事施行ノ結果損害ヲ受ケタル者ハ市町村、縣又ハ國ニ對シテ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得但シ市町村、縣又ハ國カ其ノ工事ニ關係ヲ有スルカ又ハ之ヲ利用シタル場合ニ限ル

第十條　知事ハ工事設計書、模型見積書及計畫書ヲ調查スヘシ其ノ手續ハ執行規則ヲ以テ之ヲ定ム

設計書ニハ工事ニ關スル土地ノ區域ヲ示シ且ツ土地各筆ニ付所有者ノ提出シタル模樣書ヲ添附スヘシ

計畫書ニハ工事計畫ノ目的ヲ明記シ且ツ其ノ經費ノ支出ニ必要ナル方法ヲ決定スヘシ

第十一條　知事ハ調查ヲ終リタル後其ノ工事ノ利益ヲ受クヘキ者ナリト認ムル各土地所有者ヲ召集シテ總會ヲ開キ議長ヲ任命ス議長ハ組合員外ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ土地所有者カ一市町村內ノ者ナルトキハ市町村長ハ公認總代組合組織ノ發議權ニ基キ總會ニ出席スルノ權利ヲ有ス但シ單ニ發議權ヲ有スルニ止マル若シ土地所有者カ一國又ハ一縣內ノ者ナルトキハ此ノ權利ハ發議者タル知事ニ屬ス

知事又ハ市町村長ハ總會ニ代理人ヲ出席セシムコトヲ得

利害關係人ノ出席及討議ノ結果ハ記錄ヲ作製シテ之ヲ證明ス

記錄ハ出席者之ニ署名ス署名スルコト能ハサル者アルトキハ其ノ承認セシ旨ヲ記載ス

署名ノ手續ニ代ヘテ同意ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ記錄ニ添附ス

記錄ノ謄本ハ之ヲ知事ニ送達ス

第十二條　第一條第一號乃至第五號ノ工事ニ付テハ知事ハ土地總面積ノ三分ノ二以上ヲ代表スル利害關係人ノ過半數又ハ土地總面積ノ二分ノ一以上ヲ代表スル利害關係人ノ三分ノ二以上ニ該當スル同意アル場合ニ非サレハ組合ノ組織ヲ許可スルコトヲ得ス

同條第六號乃至第十號ノ工事ニ付テハ知事ハ土地總面積ノ三分ノ二以上ヲ代表シ且ツ不動產ニ屬スル地租ノ三分ノ二以上ヲ納ムル利害關係人ノ四分ノ三以上又ハ土地總面積ノ四分ノ三以上ヲ代表シ且ツ不動產ニ屬スル地租ノ四分ノ三以上ヲ納ムル利害關係人ノ三分ノ二以上ノ同意アル場合ニ非サレハ組合ノ組織ヲ許可スルコトヲ得ス

許可ノ場合ニハ組合規約ノ拔萃及知事ノ決定、不許可ノ場合ニハ知事ノ決定ノミヲ組合所在地ニ掲示シ且ツ縣廳ニ備付ノ規約彙集ニ掲載ス

第一條第六號又ハ第七號ノ工事ニ付テハ知事ハ其ノ工事カ市町村ニ關係アルトキハ市町村會、市町村及縣ニ關係アルトキハ市町村會及縣會ノ同意アリタル場合ニ非サレハ之ヲ許可スルコトヲ得ス

第十三條　利害關係ヲ有スル土地所有者又ハ第三者ハ知事ノ決定ニ付其ノ掲示後一箇月以内ニ工部大臣ニ訴願スルコトヲ得

訴願ハ之ヲ縣廳ニ提起スヘシ此ノ場合ニ於テハ知事ハ訴願記錄ヲ添附シテ四日以内ニ之ヲ工部大臣ニ送附ス

其ノ決定ハ參事院ノ命令ヲ以テ之ヲ爲ス

第十四條　第一條第三號乃至第十號ノ工事ニ付組合ノ計畫書ニ同意セサリシ土地所有者ハ前條ノ一箇月ノ期間内ニ於テ工事區域ニ屬スル其ノ所有地ヲ讓渡シ賠償ヲ受クヘキ旨ヲ縣廳ニ申告スルコトヲ得

前項ノ申告ニ對シテハ領收書ヲ交附スヘシ

組合ノ負擔スヘキ賠償金ハ第一條第六號又ハ第七號ノ工事ニ付テハ千八百四十一年五月三日ノ法律ニ依リ第四號第五號第八號乃至第十號ノ工事ニ付テハ千八百三十六年五月二十一日ノ法律第十六條ニ依リ決定ス

未成年者、禁治産者、失踪者其ノ他ノ無能力者ノ財産カ工事區域中ニ編入セラレタルトキハ後見人、占有者又ハ無能力者ノ代理人ハ檢事ノ承認及裁判所ノ許可ヲ得タル後其ノ財産ノ讓渡ヲ爲ス旨ヲ申告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ財産ノ保全方法ヲ命ス

前項ノ規定ハ嫁資不動産ニ之ヲ適用ス

同一ノ場合ニ於テ知事ハ縣會ノ同意ヲ得タルトキハ縣ノ財産ニ付、市町村長又ハ理事ハ市町村會又ハ理事會ノ同意ヲ得タルトキハ市町村ノ財産又ハ營造物ニ付、大藏大臣ハ國有財産ニ付之ヲ讓渡スルコトヲ得

第十五條　租稅ノ徵收ハ組合ノ取締ニ任スル委員會ノ認メタル徵稅表ニ基キテ之ヲ行フ但シ必要アルトキハ知事ノ承認ヲ求メ知事ハ之ニ其ノ執行力ヲ付與ス

徵稅方法ハ直接稅ニ關スル規定ニ依ル

第十六條　組合區域ノ土地ノ決定、土地階級ノ區別、工事ノ利益ニ比例スル土地ノ等級、租稅ノ割當及取立竝工事ノ施行等ニ關スル訴願ハ參事院ニ上訴セサル限リ縣參事會ニ於テ之ヲ決定ス

組合ノ會計檢査ハ市町村收稅吏ノ會計ノ爲ニ定メラレタル規則ニ依ル

第十七條　組合員タル土地所有者ハ第一納稅者名簿ノ告示後四箇月ヲ經過スルトキハ組合員タル資格又ハ組合ノ效力ニ關シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第十八條　公認總代組合ノ企圖スル工事施行ノ爲土地收用ノ必要アル場合ニ於テハ本法第一條第六號又ハ第七號ノ工事ニ付テハ千八百四十一年五月三日ノ法律ノ規定ニ依リ其ノ他ノ工事ニ付テハ參事院ノ發シタル命令ニ依リ公益上必要アリト認メラレタルトキニ限リ千八百三十六年五月二十一日ノ法律ノ規定ニ依ル

第十九條　公認總代組合ノ爲法律ニ依リ地役權ヲ設定スヘキ場合ニ於テハ之ニ關スル異議ノ決定ハ千八百五十四年六月十日ノ法律第五條ノ規定ニ依ル

第四章　總會

第二十條　總會ニ出席スル權利ヲ各所有者ニ付與スヘキ標準ノ最少額ハ組合ノ創立行爲ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ最少額ヨリ價格少ナキ一筆ノ土地ヲ所有スル者ト雖モ相合同シテ一名又ハ數名ノ代表者ヲ總會ニ出席セシムルコトヲ得其ノ員數ハ各所有地ノ合計カ前項ノ最少額ニ對スル倍數ニ依ル

各土地所有者ニ付與スヘキ議決權及單一ノ又ハ合同シタル水力機械工場ニ對スル重要ノ程度ニ應シテ水ノ所有權者ニ付與スヘキ議決權ノ最大限ハ創立行爲ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條　總代ノ員數、組合員ノ種類ニ從テ總代ノ分配ヲ定ムヘキトキハ其ノ方法及總代任期ハ組合ノ創立行爲ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　總代ハ組合員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス

組合員ノ種類ニ依リ總代ノ選任ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ被選擧資格者名簿モ亦此ノ種類ニ應シテ之ヲ作製スヘシ

總會ノ召集ヲ行フコト兩度ニ亘ルモ會合セス又ハ總代ノ選擧ヲ行ハサルトキハ知事ハ職權ヲ以テ總代ヲ選任ス

第二十三條　國、縣、市町村又ハ商業會議所ノ總代會ノ要求ニ基キ補助金ヲ交付シタルトキハ知事、縣參事會、市町村會又ハ商業會議所ハ總代ヲ選任スル權利ヲ享有ス總代ノ員數ハ補助金カ該計畫ノ費用總額ニ對スル比例ニ依リ之ヲ定ム

第二十四條　總代中ヨリ一名ノ監督ヲ選出シ必要アルトキハ尙一名ノ助役ヲ選任ス助役ハ監督不在ノ場合又ハ事故アル場合監督ノ事務ヲ代理ス監督及助役ハ再選ヲ妨ケス

第五章　總則

第二十五條　組合カ許可ヲ受ケタル工事ニ着手セサル場合ニ於テハ知事ハ必要アリト認ムルトキハ催告ヲ爲シタル後許可命令ヲ取消スヘシ

許可ノ取消ヲ爲スニ至リタルトキハ參事院ノ命令ヲ以テ之ヲ決定ス

組合ニ於テ着手シタル工事ノ中止又ハ維持ノ不完全ナル爲公益ヲ害スルトキハ知事ハ工事ヲ進行シ又ハ維持ヲ完全ニスヘキコトヲ催告シ尚必要アルトキハ職權ヲ以テ豫防工事ヲ施行スルコトヲ得

第二十六條　千八百七年九月十六日ノ法律及共和十一年霜月十四日（廢止）ノ法律ハ本法第一條第二號及第三號ノ工事ニ關スル自由總代組合又ハ公認總代組合ノ組織ナキ場合ニ之ヲ適用ス但シ千八百七年九月十六日ノ法律ニ依リ特別委員會ノ決定スヘキ訴訟ハ縣參事會ニ於テ之ヲ決定ス

租稅ノ徵收、收用及地役ノ設定ニ關シテハ本法第十五條、第十六條、第十八條及第十九條ノ規定ニ依ル

第二十七條　本法施行ノ爲必要ナル規定ハ別ニ施行規則ヲ以テ之ヲ定ム

（一）千八百九十四年三月九日達示參照

○治水法（千八百九十八年四月）

第一章　雨水及泉

第一條（民法抄中第六百四十一條乃至第六百四十三條ニ同シ）

第二章　舟筏ノ便ナキ水流

第一節　川岸住居人ノ權利

第二條　川岸住居人ハ法律ノ範圍内ニ於テ其ノ所有地ヲ圍繞又ハ貫通スル水流ヲ使用スル權利ヲ有ス但シ官廳ニ於テ發布シタル諸規則及許可ノ條件ニ從フコトヲ要ス

第三條　舟筏ノ便ナキ水流ノ川床ハ兩岸ノ土地所有者ニ屬ス

兩岸カ異リタル數人ノ所有ニ屬スルトキハ各所有者ハ水流ノ中央ニ劃シタル想像線ニ沿ヒテ川床ノ二分ノ一ノ所有權ヲ有ス但シ反對ノ權限又ハ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

川岸住居人ハ各其ノ所屬ノ川床ニ於テ各種ノ天產物、泥濘又ハ砂石ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ水ノ流樣ヲ變セス且ツ本章第三節ニ定メタル規則ニ從ヒテ浚渫スルコトヲ要ス

川岸住居人其ノ他ノ利害關係人カ其ノ所有地ノ荒廢ヲ開墾スル爲通路トシテ使用スルニ付有スル水流上ノ既得權ハ依然トシテ保留セラル

第四條　自然ニ又ハ適法ニ行ハレタル工事ノ結果水ノ退キタル床地ニ付テハ各川岸住居人ハ前條ノ限界ニ沿ヒテ任意ニ其ノ處分ヲ爲ス權利ヲ取得ス

第五條　舟筏ノ便ナキ水流自然ニ其ノ川床ヲ離レテ流域ヲ變シタルトキハ新川床ノ所有者ハ無償ニテ其ノ通過ヲ許容スヘシ但シ其ノ翌年中ハ舊川床ニ復スル爲必要ナル方法ヲ講スルコトヲ得

流域ノ變シタル川ノ沿岸地所有者モ亦翌年中ハ水流ノ復舊ニ必要ナル諸工事ヲ行フコトヲ得

第六條　適法ニ命セラレタル工事ノ結果川床ヲ擴張シ又ハ新川床ヲ生シタルトキハ之カ爲ニ占領セラレタル土地ノ所有者ハ通行地役ノ名義ヲ以テ損害賠償ヲ求ムル權利ヲ有ス

前項ノ賠償額ヲ決定スルニハ新川床ニ對スル各川岸住居人相互ノ地位ヲ斟酌スヘシ川床ノ境界ハ別段ノ意思表示ナキトキハ第三條第二項ノ規定ニ依ル

人家ニ接スル建物及庭園ハ通行地役ヲ承ケサルモノトス本條第二項ノ適用ニ付生スル訴訟及損害賠償ハ第一審ニ在リテハ同地方ノ治安裁判官之ヲ判決ス但シ鑑定人ヲ要スルトキニハ一人ヲ限リ任命スルコトヲ得

第七條　舟筏ノ便ナキ水流中ニ存スル洲ノ所有權ハ民法第五百五十六條、第五百五十七條、第五百五十九條、第五百六十一條及第五百六十二條ノ規定ニ依ル

第二節　水上警察及水ノ保存

第八條　行政官廳ハ舟筏ノ便ナキ水流ノ保存及警察ノ任ニ當ル

第九條　所有權其ノ他ノ權利及舊時ヨリ確立セル慣習ト農工業ノ利益トヲ調和セシムル爲必要ナル水流ニ關スル概則ハ施行規則ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　舟筏ノ便ナキ水流ノ沿岸地所有者ハ水ノ流下ヲ妨ケス且ツ隣地ニ損害ヲ及ホササル範圍内ニ於テ其ノ水流及支流ノ上ニ工事ヲ施行スルコトヲ得

第十一條　舟筏ノ便ナキ水流中ニ於テ引水設備、水車及水力機械設置ノ爲必要ナル水堰其ノ他ノ工作物ヲ設置セムトスルトキハ豫メ官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條　知事ハ調査ノ上左ノ事項ヲ目的トスル訴ヲ決定ス

一　水流ノ態樣ニ關スル工作物ノ設置

二　許可ヲ受ケス且ツ適法ノ權限ナクシテ設置シタル水力機械其ノ他ノ工作物ノ整理

三　許可ノ取消及變更

知事ノ達示ニ關スル訓令ノ形式ハ施行規則ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　知事ノ達示ニ對スル當事者ノ異議ハ參事院ノ意見ニ基キテ發セラレタル命令ヲ以テ之ヲ決定ス但シ越權ノ場合ハ上訴ヲ爲スコトヲ得

第十四條　許可ハ公共衛生ノ爲又ハ洪水豫防若ハ防禦ノ爲必要アルトキ又ハ第九條ノ場合ニ於テ必要アルトキ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ルノ外損害賠償ヲ支拂フニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ス

第十五條　公認ニ依リ又ハ適法ニ存在スル水車及水力機械ノ所有者又ハ賃借人ハ其ノ道路及所有物ニ生シタル損害ニ付擔保セラルル

第十六條　市町村長ハ知事ノ許可ヲ受ケ水上警察ニ必要ナル各種ノ手段ヲ執行ス

第十七條　總テノ場合ニ於テ第三者ノ權利ハ保留セラル

第三節　浚渫、矯正及擴張

第十八條　浚渫トハ民法第五百五十六條及第五百五十七條ノ洲ニ關スル規定ニ反セスシテ自然ノ幅員及深サニ從ヒ水流ノ復舊ヲ計ル爲施行スル諸般ノ工事ヲ謂フ

第十九條　舟筏ノ便ナキ水流ノ浚渫及其水流ニ設置セラレタル各種ノ工作物ノ維持ハ舊規則又ハ地方的慣習ノ定ムル所ニ依ル

知事ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規則及慣習ノ實行ノ爲必要ナル處分ヲ爲スヘシ

第二十條　舊規則又ハ地方的慣習存セサルトキ又ハ舊規則ノ適用ニ付若ハ慣習ニ依リ確定シタル方法ヲ以テ浚渫スルニ付困難ヲ生シタルトキ又ハ俄ニ生シタル事故ノ爲必要アルトキハ總代組合ニ關スル千八百六十五年六月二十一日及千八百八十八年十二月二十二日ノ法律ノ規定ニ依リ之ヲ處分ス

第二十一條　自由總代組合又ハ公認總代組合ヲ組織スルニ付異議ヲ生シタルトキハ參事院ノ命令ヲ以テ之ヲ決定ス但シ決定前豫メ調査ヲ爲シ且ツ施行規則ノ定ムル形式ヲ具備シタル訓令ヲ發スルモノトス

第二十二條　前條ノ命令ニ於テハ工事ノ實行方法竝關係土地所有者川岸住居人若ハ非川岸住居人又ハ水力機械場主ノ負擔スヘキ義務ノ範圍ヲ定メ且ツ必要アルトキハ工事施行ノ結果受クヘキ利益ノ程度ニ應シテ經費分擔ノ基礎ヲ定ム

第二十三條　浚渫工事及工作物維持ノ爲必要ナル金額ヲ分擔スヘキ者ノ名簿ハ知事ノ監督ノ下ニ之ヲ作成シ知事ニ於テ其ノ執行力ヲ與フ

前項ノ徵收金ニ付テハ直稅ニ關スル手續及擔保ノ規定ニ依リ國庫ノ歲入ニ次テ先取特權ヲ有ス

第二十四條　工事ノ施行、經費ノ分擔及納稅者ノ納稅額ノ減少又ハ免除ノ請求ニ關スル各種ノ訴訟ハ縣參事會ニ之ヲ提起スヘシ但シ參事院ニ上訴スルコトヲ妨ケス

第二十五條　舟筏ノ便ナキ水流ノ浚渫工事ヲ完成スル爲必要ナル水流ノ幅員ノ擴張、其ノ整正

及矯正工事ハ浚渫工事ト同一ニ看做シ其ノ施行ニ付テハ前條ノ規定ニ依ル

第二十六條　通行地役ノ爲除外セラレタル土地ニ關スル場合又ハ同意不成立ノ場合ニ於テ土地ノ收用ヲ行フノ必要アルトキハ收用及賠償金ノ決定ニ付テハ千八百四十一年五月ノ法律第十六條第二項以下ノ規定ニ依ル

第二十七條　土地所有者ハ工事中其ノ土地ヲ監督スル吏員、工事請負人及職工等ノ通行ヲ拒ムコトヲ得ス但シ出來得ル限リ水流ノ岸ニ沿ヒテ通行スヘシ

第二十八條　浚渫、擴張、整正又ハ矯正ノ工事ニシテ衞生上ニ關係アル場合ニ於テ縣會又ハ關係市町村會ノ同意ヲ得タルトキハ工事ノ施行ヲ命シタル命令又ハ達示ヲ以テ其經費ノ一部ヲ改良セラルヘキ土地所屬ノ市町村ノ負擔ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ命令又ハ達示ヲ以テ關係市町村タルヘキモノヲ定メ且ツ各市町村ノ負擔部分ヲ決定ス

第二十九條　共和十一年霜月十四日ノ法律ハ之ヲ廢止ス

第三章　流木ノ便アル河

第三十條　流木ノ便アル河又ハ水流ハ前章ノ規定ニ依ルノ外左ノ特別規定ニ依ル

第三十一條　流木ノ事實ナキ水流ニ於テハ其ノ貫流セル各縣ノ縣會ノ意見ヲ徵シテ調査ヲ爲シタル後發セラレタル命令ヲ以テスルニ非サレハ流木スルコトヲ得ス

前項ノ命令ハ法令全書中ニ之ヲ揭クルコトヲ要シ流木ヲ筏トシテ浮流セシムル爲心要ナル地役竝川岸住居人、水力機械場主及筏主ノ義務ヲ規定スヘシ

第三十二條　前條ノ地役ニ對シテ支拂フヘキ賠償金ハ第一審ニ在リテハ其ノ地方ノ治安裁判官之ヲ決定ス

前項ノ賠償金ヲ決定スルニハ流筏ノ開始ノ結果生スル利益ヲ斟酌スヘシ

第三十三條　流木ノ事實アル川及水流ニ關スル各種ノ特別規則ハ仍其ノ効力ヲ有ス

第四章　舟筏ノ便アル河川

第一節　公有權及川岸住居人ノ權利

第三十四條　舟筏ノ便アル河川ハ舟筏ヲ通スルコトヲ得ル點ヨリ下流ニ於テ分岐スル支流ハ舟筏ノ便ナキモノト雖モ之ヲ公有トス河川ノ舟筏ヲ通スルコトヲ得ル點ヨリ下流ニ於テ引水口ヲ有スル濕地亦同シ

第三十五條　私有地内ニ設置セラレタル引水ハ國カ舟筏ノ爲ニ之ヲ開鑿シタル場合ニ非サレハ公有タルコトヲ得ス

前項ノ引水ハ許可ヲ與ヘタル公文ノ條規ニ依リ之ヲ管理ス

第三十六條　舟筏ノ便アル河川ノ境界ハ河水ノ氾濫前ノ滿水位ニ依リ工部大臣ノ認許ヲ經縣ノ達示ヲ以テ之ヲ劃定ス

前項ノ達示ニ異議アルトキハ上訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル決定ハ常ニ所有權ヲ留保シテ之ヲ爲スモノトス

第三十七條　民法第五百六十三條ハ左ノ通リ之ヲ變更ス

舟筏ノ便アルト否トヲ問ハス河川カ其ノ河床ヲ更ヘテ流域ヲ變シタルトキハ新ニ河水ノ侵入シタル土地ノ所有者ハ其ノ喪失シタル土地ノ賠償ニ充ツル爲河川ノ中央ニ劃シタル想像線ヲ境界トシテ舊河床ノ所有權ヲ相當取得スルコトヲ得

舊河床ノ價格ハ縣知事ノ通知ニ依リ河川所在地ノ裁判所長ノ任命シタル鑑定人之ヲ定ム

知事前項ノ通知ヲ發シタル後三箇月以內ニ於テ河岸所有者ヨリ鑑定價格ヲ以テ舊河床ヲ取得スル旨ノ申出ナキトキハ舊河床ハ國有地讓渡ノ規定ニ依リ之ヲ拂下ケ其ノ金額ハ各其ノ喪失シタル土地ノ價格ニ比例シテ所有者ニ之ヲ交付ス

第三十八條　適法ニ施行セラレタル工事ノ結果舊河床ノ一部カ公有ニ屬セサルニ至リタルトキハ沿岸地所有者ハ前條ニ依リ先買權ヲ有ス

第三十九條　河川中ニ自然ニ生スル洲ハ公有トシ民法第五百五十六條、第五百五十七條、第五百六十條及第五百六十二條ノ規定ニ依ル

第二節　土地ノ下渡及許可

第四十條　舟筏ノ便アル河川ニ於テ工事又ハ引水設備ヲ爲スニハ官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第四十一條　知事ハ引水ヲ目的トスル申請ヲ受ケタルトキハ調査ノ上引水ノ爲ニ器械ヲ用フルモ水流ノ分量上水流ノ態樣ヲ變セサルコト明ナル場合ニ限リ技師ノ意見ヲ徵シテ其ノ許否ヲ決定ス但シ大臣ニ上申スルコトヲ妨ケス

第四十二條　知事ハ舟筏ノ便アル水流ノ態樣又ハ水準ニ變化ヲ生スヘキ設備ヲ一時設置スルノ許可申請ヲ受ケタルトキハ技師ノ意見ヲ徵シテ其ノ許否ヲ決定ス但シ大臣ニ上申スルコトヲ妨ケス

前項許可ノ場合ニ於テハ知事ハ二箇年以內ノ許可期間ヲ定ムヘシ

第四十三條　其ノ他ノ許可ハ總テ調査ノ上參事院ノ意見ニ基キテ發セラレタル命令ニ依ルニ非サレハ之ヲ與フコトヲ得ス

第四十四條　土地ノ下渡ヲ受ケタル者ハ國ニ對シテ施行規則ノ定ムル地代ヲ支拂フヘシ

第四十五條　許可ヲ與ヘタル後ト雖モ舟筏ノ便アル水流ニ設置セラレタル引水其ノ他ノ設備ノ

變更又ハ撤去ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ引水其ノ他ノ設備カ適法ニ存在シタルモノナルトキハ賠償金ヲ支拂フコトヲ要ス

前數條ノ手續ニ依リ且ツ擔保ヲ提供スルニ非サレハ禁止又ハ變更ノ命令ヲ爲スコトヲ得ス

第三節　地役

第四十六條　舟筏ノ便アル河川ノ沿岸地所有者ハ曳船路ノ存スル場合ニ於テハ水運業ノ利益ノ爲ニ其ノ兩岸及必要アル洲ニ幅二十四呎ノ空地ヲ存スヘキ義務ヲ負フ

沿岸地所有者ハ曳船路ノ存スル場合ニ於テハ其ノ側ヨリ三十呎、曳船路ノ存セサル場合ニ於テハ河岸ヨリ十呎ノ距離ヲ隔ツルニ非サレハ生垣其ノ他ノモノヲ以テ土地ヲ圍ミ又ハ樹木ヲ植付クルコトヲ得ス

第四十七條　水運業ノ利益ヲ害セサル場合ニ於テハ前條ノ距離ハ省令ヲ以テ之ヲ減縮スルコトヲ得

第四十八條　舟筏ノ便アル河岸ニ建物、樹木又ハ圍壁ヲ設ケムトスル沿岸地所有者ハ豫メ地役ノ限界ヲ點檢スヘキコトヲ官廳ニ申請スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ官廳カ申請ノ日ヨリ三箇月以内ニ境界ヲ劃定セサルトキハ沿岸地所有者ノ設ケタル建物、樹木及圍壁ハ賠償金ヲ支拂フニ非ラサレハ其ノ撤去ヲ命スルコトヲ得ス

第四十九條　川及川ノ一部ニシテ舟筏ノ便アル場合ニ於テハ沿岸地所有者ハ第四十六條ノ地役ヲ承ク但シ舟筏ノ便ニ依リ得ヘキ利益ト其ノ損害トノ差額ニ比例シテ賠償金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

舟筏ノ便アル川ノ沿岸地所有者カ水運ノ必要上曳船ノ爲ニ地役ヲ設定セラルルニ至リタルトキハ損害賠償ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第五十條　曳船地役ノ設定ニ付土地所有者ニ支拂ハルヘキ賠償金ニ關スル訴訟ハ第一審ニ在リテハ其ノ地方ノ治安裁判官之ヲ決定ス此ノ場合ニ於テ鑑定人ノ必要アルトキハ一名ヲ限リ任命スルコトヲ得

第五十一條　官廳カ曳船地役ノミニテハ不充分ナリト認メ更ニ河川ニ沿ヒテ良好ナル道路ヲ設ケムトスルトキハ之ニ要スル土地ヲ取得スヘシ但シ川岸居住人カ土地ノ讓渡ヲ承諾セサル場合ニ於テハ公用收用法ノ規定ニ依リテ之ヲ徵收スヘシ

第五十二條　特ニ許可ヲ得スシテ舟筏ノ便アル河川ノ境界ヨリ六「トアーズ」以下ノ距離ニ於テ土砂其ノ他ノ材料ヲ採取スルコトヲ得ス

第五十三條　舟筏ノ便アル水流ニシテ公有ノ一部ニ屬スルモノニ付テハ其ノ浚渫ハ國ノ負擔トス但シ利害關係人ノ同意ヲ得タルトキハ施行規則ヲ以テ市町村、水力機械場主、引水免許人

農業水利ニ關スル伊太利國法

及特ニ水ノ使用ヲ爲ス爲竣渫費ヲ過大ナラシムル隣地所有者ニ對シ浚渫費ノ分擔ヲ命スルコトヲ得

農業水利ニ關スル伊太利國法

○公共水引用ニ關スル法律（千八百八十四年八月十日公布）

伊太利國皇帝ウンベルト第一世ハ天祐ト民望トニ依リ貴衆兩院ノ協賛ヲ經タル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　何人ト雖モ正當ナル證書ヲ有スルカ又ハ政府ノ許可ヲ受ケテ水稅ヲ納付シ且ツ本法ニ定メタル條件ニ依ルニ非サレハ公共水ヲ引用シ又ハ之ヲ水車其ノ他ノ工場ニ利用スルコトヲ得ス

第二條　前條ノ許可ハ其ノ許可シタル行爲カ第三者ノ權利ヲ侵害セサル場合ニ限リ之ヲ與フルコトヲ得但シ永久ニ亘ル水ノ引用ニ付テハ法律ニ依ルニ非サレハ之ヲ許可スルコトヲ得ス

湖、境界ヲ爲ス河川、航行スヘキ水流又ハ其ノ土壁、沿岸カ第二種ノ治水工事ニ屬スルモノニ在リテハ大藏大臣ノ奏請ニ基キ關係地方參事會ノ意見ヲ徵シタル後勅令ヲ以テ之ヲ許可ス但シ土木高等會議ニ諮問シ該水面ノ整理、監督、航行ノ自由及兩岸地所有者ノ利益ニ付良好ナル管理ヲ爲スヘキモノトス

第三條　其ノ他ノ公共水面ニ在リテハ反對者アルトキハ土木署ノ意見ヲ徵シ縣參事會ノ決議ヲ經テ縣知事之ヲ許可ス但シ引用水カ數個ノ縣ニ涉ル場合ニ在リテハ取入口ノ所在地ノ縣知事之ヲ許可ス此ノ場合ニ於テハ他縣當事者ノ反對アルトキハ土木高等會議ノ意見ヲ徵シタル後工部大臣其ノ爭議ヲ裁決シ大藏大臣之ヲ許可ス

第四條　許可證書ニハ引用水量、引用及復歸ノ方法、引用水ノ使用方法、農工業衛生上必要ナル保證、大藏省ニ納付スヘキ稅金年額竝引用スヘキ期間ヲ定メ之ニ違反スルトキハ其ノ許可ヲ取消スモノトス

前項ノ期間ハ當該官廳ニ於テ工事施行上必要アリト認ムルトキハ其ノ延期ヲ命スルコトヲ得

第五條　臨時許可ハ三十年以內ノ期間ヲ付シテ之ヲ與ヘ期間經過後被許可人ノ申請アルトキハ三年ヲ一期トシテ更新スルコトヲ得但シ場所又ハ水流ノ變更ニ依リ許可項目ニ指定セル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ三年間使用ヲ爲ササルカ又ハ之ヲ濫用スルトキハ許可ヲ取消スコトヲ得被許可人カ當初ノ許可ノ目的ヲ毀損スルトキ亦同シ

第六條　被許可人ハ第三者ノ權利ヲ侵害セス且ツ引用水量、工事方法及其ノ復歸點ヲ變更セサル限リ自己ノ工場內ニ於ケル使用又ハ使用ニ關スル設備ヲ變更スルコトヲ得

用水ノ變更ハ豫メ之ヲ縣廳ニ通報スヘシ若シ之ヲ怠ルトキハ稅金ノ三倍ノ罰金ヲ課シ尙變更ニ依リ故障ヲ生シタルトキハ行政官廳ハ違反者ノ費用ヲ以テ舊狀ニ復セシムルコトヲ得

第七條　前條ノ使用又ハ使用ニ關スル設備ノ變更ニ依リ水量又ハ水力ニ增加ヲ來タストキハ許可ヲ受ケタル場合ト同一ノ手續ヲ經ヘシ此ノ場合ニ於テハ增水量又ハ水力ニ應シ相當ノ水稅ヲ增加ス

第八條　新ニ水ヲ引用セムトスルトキハ申請書ニ引用、使用及排出ノ工事設計案ヲ添ヘテ之ヲ縣廳ニ差出シ縣廳ハ更ニ之ヲ關係諸縣ノ代表團體ニ通知シテ其ノ意見ヲ徵スヘシ

前項ノ申請ハ設計案ト共ニ關係市町村ニ之ヲ公告ス土木官廳ハ實地ノ場所ヲ檢分シ申請者及利害關係人ヲ招集ス

前項ノ公告ニハ一定ノ期限ヲ定メテ各利害關係人ニ其ノ意見ヲ提出セシム

縣代表者ハ通知ノトキヨリ一箇月以內ニ意見ヲ提出スヘシ反對者ナキトキハ行政處分ヲ以テ許可ヲ與フルコトヲ得

第九條　水路ノ變更其ノ他ノ原因ニ依リ被許可人カ許可ヲ受ケタル工事ノ位置、形狀若ハ性質ヲ變更セムトスルトキ又ハ河床若ハ沿岸ニ增工事若ハ附帶工事ヲ施スカ又ハ水力若ハ水量ヲ增減セムトスルトキハ設計書ヲ添ヘ前條ニ準シテ申請スヘシ

正當ニ急施ノ必要アリト認メタルトキハ縣知事ハ土木署ノ意見ヲ徵シタル後臨時處分ヲ以テ水路再設ノ應急工事又ハ水車其ノ他ノ運轉ヲ許可スルコトヲ得但シ被許可人ハ申請書ニ定メタル規定ヲ遵守スルコトヲ要ス

第十條　河水及急流ノ引用水ノ所有者、占有者又ハ用役者ハ適當ナル設備ヲ設ケタル取入口ヲ善良ナル狀態ニ保存シ不可抗力ニ依ル場合ノ外附近ノ土地ニ生シタル損害ニ付其ノ責ニ任ス所有者、占有者又ハ用役者ハ滿水ノトキ關係溝渠ヲ超ユル水ヲ引用セサル設備ヲ爲シ且ツ適當ノ排水設備ニ依リ過剩水ヲ排除スヘシ

第十一條　定時ナルト臨時ナルト固定ナルト不定ナルトヲ問ハス開閉自由ナル取入口ヲ備フルモノニ在リテハ所有者ハ其ノ取入口ニ引用水ノ調節設備ヲ設クルカ又ハ行政官廳ニ於テ地方ノ慣習ノミニ依リ其ノ被害ヲ保障スルニ足ラスト認メタル爲之レカ必要工事ヲ施行セサル限リ地方ノ慣習ニ從ヒ私人ノ利益ヲ毀損セサル設備ヲ設クヘシ

第十二條　許可書ニ揭ケタル義務ヲ遂行スルニ付被許可人ハ公益上當該官廳ノ監督ヲ受ク

第十三條　公益上必要アルトキハ第二條ノ規定ニ依リ許可シタル水ノ引用又ハ使用ノ變更ヲ命スル場合ト雖モ政府ハ被許可人ニ對シ水量ノ減少又ハ引用ノ中止ニ依ル水稅ノ輕減又ハ廢止ヲ爲スノ外何等賠償ノ責ニ任セス

被許可人ハ場所ノ狀況ヲ變更セサル限リ自己ノ費用ヲ以テ再ヒ水ノ引用ニ關スル設備ヲ設クルコトヲ得ス

第十四條　公共水ノ許可ニ要スル水稅年額ハ左ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス

一　飮用水一秒百「リートル」又ハ灌漑水ノ一單位ニ付漏水又ハ殘水ヲ復歸スルノ義務ナキモノハ年五十理

二　漏水又ハ殘水ヲ復歸スル義務アルモノハ二十五理

三　毎「ヘクタール」ニ賦課スル取入口ニ依ラサル灌漑地ニ在リテハ年二分ノ一理

四　動力用ノモノハ公稱一馬力ニ付三理八分

五　水稅ヲ徵收スヘキ動力ハ實際動力ニ供シタル落下ヲ算定ス即チ動力機關ノ大サ及架上溝渠ト下底溝渠水準ノ差違ニ依リ之ヲ徵收ス

第十五條　市町村民ニ對スル無償供給ノ目的ヲ以テ市町村又ハ慈善事業トシテ飮用水ノ下付ヲ申請スルモノ又ハ慈善事業ノ救助人ノ使用ニ充ツルモノハ無償ニテ之ヲ許可ス

第十六條　灌漑ト開墾奬勵ノ兩用途ニ引用水ヲ供給スルモノノ許可ニ在リテハ漏水又ハ殘水ニ復歸セサル灌漑用ノ水稅ノ二分ノ一ヲ徵收シ單ニ開墾奬勵用ニ供スルモノノ許可ニ在リテハ其ノ五分ノ一ヲ徵收ス

浮遊水車ニ在リテハ公稱一馬力ニ付一理ノ水稅ヲ徵收ス

第十七條　水車其ノ他ノ工場ニシテ水量不足ノ爲絕エス就業スルコト能ハサルモノニ在リテハ水稅ハ每年供用シ得ヘキ動力ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ三理ニ下スコトヲ得ス

冬季ニ限リ灌漑用ニ供スル水ノ許可ニ在リテハ千八百六十五年三月二十三日公布公共土工法第六百二十一條ノ規定ニ依リ水稅ヲ徵收シ秋季ヨリ春季ニ亘リ使用スル水ノ許可ニ在リテハ

第十四條ノ水稅ノ二分ノ一ヲ徵收ス

第十八條　第十四條ノ水稅ハ國有地ノ溝渠ヨリ引用スル水ニ之ヲ適用セス

第十九條　灌漑用ノ許可ヲ受ケタルモノハ動力用ニ水ヲ併用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ縣廳ニ屆出ツヘシ但シ第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

動力用ノ許可ヲ受ケタルモノハ更ニ許可ヲ受クルニ非サレハ灌漑用ニ水ヲ併用スルコトヲ得ス

前二項ノ併用ノ場合ニ在リテハ二者中高キ水稅ヲ徵收ス

第一項ノ屆出ヲ怠リタルモノニ對シテハ第六條第二項ノ規定ヲ適用ス

第二十條　公共土工法第三篇第五章ハ之ヲ廢止ス

第二十一條　航行スルコト能ハサル水流ニ施行スル公共土工法第百七十一條ニ揭ケタル工事ニシテ第二種ノ治水工事規定ニ該當セサルモノニ在リテハ爾後縣知事之ヲ許可ス

第二十二條　本法ノ規定ニ違反シタル者ハ違警罪ヲ以テ處分シ公共土工法第三百七十四條ノ五百理以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　公共土工法第三百七十八條及第三百七十九條ノ規定ハ本法ニ定メタル事項ニ之ヲ適用ス

第二十四條　本法公布前三箇年間占有シタルモノニ在リテハ第一條ノ、其ノ他ノ場合ニ在リテハ國有ニ屬スルモノニ付許可證書ト同一ノ効力ヲ有ス

第二十五條　工部省ハ伊太利國ニ存在スル公共水ノ目錄ヲ制定シ水流關係各縣ニ之ヲ公布ス

利害關係人ハ前項ノ布公ノ日ヨリ三箇月以內ニ異議ヲ提出スルコトヲ得

水流ノ目錄ハ水流關係地ノ縣參事會、土木協議會及參事院ノ意見ヲ徵シ勅令ヲ以テ之ヲ裁可ス但シ異議アルトキハ司法官廳ノ權限ニ付ス

第二十六條　各縣ハ工部省ヲ經由シテ公共水引用ニ關スル目錄及土地臺帳ヲ編製公布シ工部省ニ於テ之ヲ保存ス

第二十七條　公共水用役者ハ第二十六條ノ目錄及臺帳ノ編製ニ際シ關係縣廳ニ左ノ事項ヲ記載シテ之ヲ屆出ツヘシ

一　水ヲ引用及復歸スル地點
二　引用水ノ使用法
三　灌漑面積ヲ記入スルカ又ハ使用建物ノ性質及大サヲ掲クルニ依リ引用水ノ概量ヲ表示スルコト
四　許可證書若シ之ヲ有セサルトキハ占有ノ時期

前項ノ届出ハ公共水ノ目錄編製發表ノ日ヨリ二箇年以内ニ之ヲ爲スヘシ

用役者ニシテ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ水稅年額ニ均シキ罰金ニ處ス

届出ヲ爲ササル間ハ引續キ毎年同額ノ罰金ニ處ス但シ三箇年ヲ經過シタルトキハ當該官廳ハ其ノ引用ヲ禁スルコトヲ得

民事裁判所及區裁判所判事ハ其ノ職權ニ應シ罰金ヲ判決ス

第二十八條　本法ハ公布ノ日ヨリ六箇月以内ニ之ヲ施行シ且ツ同期間内ニ施行細則ヲ公布ス

○同法施行細則（本則中法トアルハ千八百八十四年八月十日公布ノ法律ヲ謂フ）

第一章　申請書及關係書類

第一條　何人ト雖モ一時タリトモ閉鎖設備又ハ固定若ハ臨時ノ開堀ヲ施シ何レノ用途ニ論ナク

公共水ヲ引用セムトスルモノ又ハ水面ニ工場ヲ設ケムトスルモノハ公共水又ハ水面ノ種類ニ依リ法第二條又ハ第三條ノ規定ニ基キ申請書ヲ提出スヘシ但シ本規則第三十八條ノ浮遊水車ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ申請ハ許可ヲ得タル後組合其ノ他ノ財團、社團ヲ設立シテ許可事項ヲ施行スルノ權利ヲ留保シテ之ヲ爲スコトヲ得

法第二條ノ規定ハ航行スルコト能ハサル河川ノ上流又ハ同條ノ水流中第二種ノ工事ニ屬セサルモノニ之ヲ適用スルコトヲ得

法第二條又ハ第三條ニ掲ケタル水流ヨリ可動喞筒若ハ半定着喞筒、堤防架上吸管又ハ同樣ノ設備ニ依リ水ヲ汲取ラムトスル許可ニ在リテハ縣知事ハ本則第三十八條ノ規定ニ基キ土木官吏ノ意見ヲ徵シ左ノ條件ニ適合スル場合ニ限リ之ヲ許可ス

一　水量毎秒百「リートル」ヲ超エサルコト
二　何レノ場合ニ於テモ沿岸及壁工ニ觸レサルコト竝別ニ壁工ヲ施ササルコト
三　一箇年以内ノ期間ナルコト但シ異議ナキトキハ引續キ更新スルコトヲ得

第二條　大ナル引用水ヲ目的トスル申請ニ在リテハ別冊A號ニ定メタル制規ニ依リ設計案ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

申請カ本則ノ大ナル引用水ニ屬スルヤ否ヤヲ調査スルニハ水量、當事者ノ利害ノ程度及必要工事ノ程度ヲ考察スヘシ

航行スヘキ溝渠ヲ設クルノ目的ヲ以テ左ノ範圍ヲ超ユルモノハ大引用水トス

一　動力用ニ在リテハ馬力二百又ハ百單位

二　飲用ニ在リテハ一秒百「リートル」

三　灌漑用ニ在リテハ十單位

四　纖維植物ノ浸漬用ニ在リテハ五單位

五　奬拓用ニ在リテハ三十單位

引用水ヲ併用スル場合ニ於テハ主要目的ノモノノ範圍ニ依ル但シ不正確ナルモノニ在リテハ兩者中ノ最小限ニ依ル

開キタル取入口ヲ有スル引用水ニ在リテハ其ノ平均量ハ前各範圍以上ノ水ニシテ其ノ用途ニ應スルニ足ルモノヲ以テ大引用水ト看做ス

第三條　其ノ他ノ用水ヲ目的トスル申請ニ在リテハ左ニ揭クル書類又ハ本項ヲ添附又ハ記載スヘシ

一　公共水ノ水床又ハ水溜中ニ設ケムトスル諸工事ノ圖面ヲ添ヘ本工事ニ關係アル附近ノ狀況ヲ記シ縮尺ヲ二千分ノ一以上トスヘシ但シ引用水ト復歸水トノ距離カ二粁ヲ超ユル場合ハ土地ノ狀況ニ依リ一萬分ノ一迄之ヲ短縮スルコトヲ得ルモ引用設備及關係附近ノ圖面ニハ二千分ノ一ノ縮尺ノモノヲ添附スルヲ要ス

二　引用セムトスル河床水溜ノ縱橫斷面圖ヲ添ヘ平水及滿水ノ狀態及取入口ニ於ケル工事ノ高サヲ示スヘシ

導水溝ノ縱橫斷面圖ヲ添ヘ其ノ底床、兩岸、堤防、平水位及滿水位ヲ示スヘシ導水溝又ハ其ノ一部ニ既存ノ溝渠ヲ使用スル場合亦同シ

前項ノ橫斷面圖ハ一個又ハ一個以上ノ基點ヨリ連綴セル同一水準ニ依リ縱斷面圖ハ距離ノ縮尺ヲ地形圖ト均シクシ高サノ縮尺ヲ少クモ十倍トスヘシ

三　申請工事カ第三者ノ利益及公共水法規ニ牴觸セサルコト竝導水カ溢水又ハ浸水ノ爲他ノ溝渠、普通道路又ハ私有地ヲ浸害セサルコトヲ明ニシ其ノ說明書ニハ申請工事ノ記事、導水ノ用途、閉水ノ狀況及大サヲ記載シ一時的工事ノモノニ在リテハ如何ナル狀況ヲ以テセハ何等ノ許可ナクシテ復工スルコトヲ得ルヤヲ示スヘシ

七十五粁ノ重力馬力ニテ導水ノ動力ヲ示スヘシ

如何ナル方法ヲ以テ前項ノ動力ヲ計算セシヤ其ノ他第十四條ノ超越スヘキ最大限量及水稅

ニ應スル平水量竝其ノ雨量ノ計算方法及最大限量ヲ超越セサル理由ヲ記載スヘシ

灌漑及奬拓ヲ目的トスル引用水ニ在リテハ民法第六百二十二條ノ書式ニ依リ其ノ水量、灌漑地又ハ奬拓地ノ性質及面積ヲ示スヘシ又取入口ノ開キタルモノニ在リテハ灌漑若ハ奬拓スヘキ土地ノ周圍ヲ示シ土地臺帳若ハ陸軍測量地圖ニ依リ作製セル地形圖ヲ添附スヘシ

引用水ヲ飲用ニ供スル場合ニ在リテハ給水セムトスル人民ノ集合地ノ狀況ニ基キ其ノ必要ノ程度ヲ知ルニ足ルヘキ事項ヲ記載スヘシ

纖維植物ヲ浸漬スル爲水ヲ引用スル場合ニ在リテハ使用圃地ノ位置、浸漬材料ノ數量、分水溝及排水方法ノ概要等ヲ示シ溝渠カ主トシテ本目的ニ適合シテ無用ニ水ノ流散スルコトナキヲ明ニシ且ツ申請書ニハ地方衞生委員會ノ浸漬ニ故障ナキ旨ノ證明書ヲ添ヘ尙必要アルトキハ本事業カ公共ノ衞生上遵守スヘキ條件及取締規則ヲ規定スヘシ

第四條　公共水ヲ引用スル工場ニ在リテハ申請書ニ現地及附近ノ適當ノ縮尺地形圖及該工場ヲ建設セムトスル水流ノ適當ノ縮尺斷面圖ヲ添ヘ其ノ他水力動力機及平均馬力ヲ揭ケ尙必要アルトキハ其ノ水流ノ連絡及申請工事カ第三者ノ利益ヲ侵害セサルコトヲ證スル證明書ヲ添附スヘシ

第五條　引用水又ハ公共水上ニ設立セムトスル小規模ノ工場ニ在リテハ縣知事ハ土木署ノ意見ヲ徵シ前條ノ技術的書類ノ提出及規定ノ縮尺使用ノ省略ヲ許可スルコトヲ得但シ知事及工部大臣ハ其ノ職權ヲ以テ必要ナル證明又ハ書類ヲ提出セシムルコトヲ妨ケス

第六條　第二條及第三條ノ書類ハ技師ノ證印ヲ要シ第四條ノ書類ハ建築技師、農業技師又ハ免許測量師ノ證明書ヲ要ス

前項ノ書類ハ法律ノ規定ニ基キ印紙ヲ貼付スヘシ

第二章　進達

第七條　縣知事ハ土木署ヲシテ各申請書ヲ豫審セシメ同署ノ決議ニ依リ著シク公共ノ利益ヲ害セス又前各條ノ書類ヲ具備シ且ツ印紙稅法ニ適合スルモノハ第八條及第九條ノ場合ノ外之ヲ進達セシム

申請カ書類ヲ具備セス又ハ印紙稅法ニ適合セサルモノハ其ノ申請者ニ對シ一定ノ期間內ニ書類ヲ修正又ハ完成スヘキ旨ヲ通知シ其ノ期間內ニ修正又ハ完成セサルトキハ縣知事ノ不受理ノ旨ヲ指令シ、修正又ハ完成シタルトキハ再提出ノ日ヲ以テ提出ノ日ト看做ス

縣知事カ申請ニ大ナル故障ノ原因アリト認メタルトキハ土木署及地方監督官ノ意見ヲ徵シ其ノ職權ニ屬スルモノハ直ニ之ヲ却下シ中央官廳ノ職權ニ屬スルモノハ之ヲ農商務省ニ送附スル農商務省ハ意見ヲ附シテ之ヲ工部省ニ移付シ工務省ハ更ニ之ヲ大藏省ニ回議シテ水利其ノ他

ノ公共ノ利益ヲ目的トスル同一趣旨ノ事業存否ヲ明ニス此ノ場合ニ於テ同一趣旨ノ事業存スルコト分明シタルトキハ大藏省ハ其ノ申請ヲ却下スルモノトス

第八條　本則規定ニ依ル數多ノ申請カ其ノ全部又ハ一部ニ於テ同一事項ノ許可ヲ目的トシ技術上其ノ併存ヲ許ササルモノナルトキハ提出順ニ依リ優先權ヲ有ス但シ後ノ提出ニ係ルモノト雖モ公益上優先ヲ必要トスルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條　前條ノ提出順序ニ依ルモノニ付テハ第一ニ提出シタル申請書ノミヲ受理シ其ノ他ノ申請ハ之ヲ却下ス但シ其ノ不受理ノ場合ハ次位ノ申請ヲ受理ス

提出ノ順序ニ依ラサル事由確實ナリト認メタルモノニ付テハ參加申請ヲ同時ニ進達シ其ノ順位ヲ定ムルニハ關係使員又ハ委員會ヲ召集シテ之ヲ票決ス

第十條　申請書及添附書類正確ニシテ直ニ却下スヘキモノニ非サル限リ縣知事ハ關係諸縣ノ代表者ニ通知シ其ノ意見ヲ徵ス

法第二條ノ場合ニ在リテハ縣知事ハ自ラ又ハ他ノ當該知事ヲ經由シテ關係諸縣ノ參事會ニ通知シ其ノ意見ヲ徵ス

前二項ノ通知ト同時ニ縣知事ハ土木監督官ニ對シ十五日間關係市町村ノ區裁判所揭示場ニ申請書類揭示ノ命令ヲ發シ、直接ニ又ハ當該土木署ヲ經由シテ意見ノ提出ヲ求ムル場合ニ在リテハ尙之ヲ公報ニ公告ス

縣知事ハ土木監督官ニ對シ一定ノ組合、公私ノ團體其ノ他特ニ利害ノ大ナルモノニ通知ノ命令ヲ發スルコトヲ得但シ地方代表團體ニハ必ス之ヲ通知セシムルヲ要シ農業ニ關係アル場合ニハ農業組合ニ通知スルヲ要ス

申請書其ノ他ノ關係書類ハ取入口又ハ工場ヲ設置スル公共水ノ水路所在地ノ役場ニ備付クヘシ但シ申請カ多數ノ市町村ニ關係アル場合ニ於テハ其ノ所屬郡役所又ハ縣廳ニ之ヲ備付クルヲ要ス

前項備付期間ハ揭示又ハ公報揭載ノ時ヨリ十五日間トシ此ノ期間中ハ何人ト雖モ其ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第十一條　前條ノ揭示ニハ申請書及設計案ノ概要ヲ記シ書類保存ノ署名ヲ揭ケ法第八條ノ規定ニ依リ公衆ノ閱覽ニ供スル日時ヲ揭ケ且ツ利害關係人ハ鑑定人ヲ伴ヒヲ書類保存ノ官署ニ就キ備付期間中閱覽又ハ當該官吏ニ對シ異議ノ陳述ヲ爲シ得ルコトヲ示スヘシ

場所見分ハ地方代表團體ヘ通知ノトキヨリ一箇月以內、書類備付期間ノ經過ノトキヨリ八日以內ニ之ヲ行フヘシ

縣知事ノ揭示命令中ニハ必要ニ應シ公益上收用法ノ手續ヲ履行スルコトヲ定ムルコトヲ得

前條ノ揭示ハ收用法第四條及第十七條ノ要求ニ代フルコトヲ得ルモノニシテ進達期間中公益ニ害アリトノ異議起リ且ツ從來ノ經過ニ反スルモノト雖モ千八百六十五年六月二十五日公布ノ法律第十六條ニ揭ケタル出願ニ適合スル設計書ヲ具備スルトキハ之ヲ受理審査ス揭示文中ニハ引用水ノ請求ト工事ノ公益ニ關スル宣言トヲ併載スヘシ

第十二條　水ヲ引用シ又ハ工場ヲ設置セムトスル水流所在地ノ土木署技師長又ハ之ニ代ハルヘキ土木署技師若ハ技師補ハ實地見分ヲ行フヘシ

許可カ他縣又ハ他治水管區ニ涉ル場合ニ於テハ關係署長又ハ其ノ代理人見分ニ立會フ

土木官吏ハ見分ノ際設計圖案カ實地ノ狀況ニ合致スルヤ否ヲ定メ不合致ノ點アルトキハ之ヲ指摘シ證人及當事者ノ聞取書ニ基キテ調書ヲ作製シ關係立會人ノ署名捺印ヲ求ムヘシ

第十三條　土木署技師長ハ見分調書ニ公共ノ利害、從前ノ許可及第三者ノ權利關係上ヨリ觀察シタル意見書ヲ添ヘ許可及設計案ノ可否ヲ揭ケ其ノ公安及私利ヲ侵害スルモノト認メタルモノニ付テハ特別ノ修正及注意ヲ加フヘキ旨ヲ附記シテ之ヲ縣知事ニ差出スヘシ

前項ノ意見書ハ主トシテ左ノ諸點ニ付周密ナル說明ヲ爲スヘシ

一　引用水ニ在リテハ

(一)　許可スヘキ水量——地方ノ狀況及用途、引用水溝及復歸水溝ノ長サ及傾斜其ノ他將來苦情ノ生セサルモノナルコト

(二)　引用方法——長サ及高サ——公共水ニ在リテハ施スヘキ閉水ノ性質竝公益及第三者ノ利益ヲ侵害セサルコト

(三)　取入口ノ形狀及大サ、許可地域內ニ於ケル水ノ引用ヲ整理スル建設物ノ設備、平時特ニ滿水ノ際剩餘水ノ導水溝ニ入ルコトヲ防ク方法即チ新ニ開堀ノ設備ヲ爲スカ又ハ全部若ハ一部從來ノ水溜ヲ使用スルカヲ明ニシ之レカ切斷面及勾配、排水除去ノ設備

(四)　水ヲ復歸スル方法即チ第三者ノ利益及治水制度ヲ毀損セスシテ本流ニ復歸セシムル方法

(五)　固定ノ堰ヲ有セサル場合ニ於テハ何等危害ナクシテ復舊スヘキ手順及注意

二　公共水上ニ工場ヲ設置スルモノニ在リテハ

(一)　河床又ハ水溜カ全面積ヲ占ムルモノナラサルトキハ兩岸ヨリノ工場ノ位置

(二)　工場ヘノ出入、道路、兩岸及堤防ヲ害セサルヤ否ヤ

(三)　滿水ノ場合ニ取ルヘキ管理處分

三　水ノ引用ト公共水ニ工場ヲ設置スルトヲ問ハス

(一)　治水許可ニ適合スルコト及該法規ノ監督ヲ確證スヘキ保證

(二) 公益ヨリ打算シテ工事ノ施行上遵守スヘキ規定竝公共ノ工事及財産ヲ毀損セサルコト
(三) 水ノ過剰ヲ防ク處分
(四) 見分ノ際生シタル反對ニシテ許可ニ關シ多少ノ價値アル地方ノ狀況
(五) 引用又ハ工場ニ供スル目的ノ程度及法第十四條、第十六條、第十七條ニ揭ケタル水稅
但シ動力用ノ許可ニ在リテハ必要ノ計算及再檢査修正
(六) 農工商業ノ利益ノ保障及公共衞生ノ保安

第十四條　土木署技師長ハ見分調書、意見書其ノ他前條ノ書類ノ外別冊トシテ取締ニ關スル提案ヲ添附スヘシ

取締書ハ許可ノ後被許可人ノ遵守スヘキ條件ヲ規定スル書類ニシテ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　引用水ニ在リテハ
(一) 水量ヲ一定スル場合ハ其ノ引用水量
(二) 水量ヲ一定セサル場合ハ引用限度ノ最大水量竝水稅ヲ設定スヘキ平均量
(三) 引用水ト復歸水トノ水面ノ差異
(四) 動力用トシテ引用スル場合ハ水稅ノ標準タルヘキ有效落差
(五) 水ノ引用及復歸方法竝狀況
(六) 導水及使用ノ方法、條件及時期
(七) 農業用ノ爲自由ニ開口引用スル場合ハ用水地面積、引用ノ位置及境界
(八) 堤防又ハ不定ノ開堀ノ場合ハ工事及水流ノ性質上遵守スヘキ條件、殊ニ該工事ノ保存、除去又ハ縣知事ノ命令ニテ土木署ノ意見ニ依リ復舊スヘキ工事
(九) 纖維植物浸漬ノ爲引用スル場合ハ前條末項ニ揭ケタル地方衞生委員ノ指定ニ基キ遵守スヘキ條件及取締

二　公共水上ニ工場ヲ設置スルモノニ在リテハ
(一) 水稅ノ基礎タルヘキ年平均馬力數
(二) 滿水ノ際ノ取締處分
(三) 使用スヘキ方法條件

三　水ノ引用ト公共水上ニ工場ヲ設置スルトヲ問ハス
(一) 農工商業ノ利益、衞生、公安及治水上遵守スヘキ事項
(二) 大藏省ニ納付スヘキ年水稅及法第十五條ノ引用水ニ非サル限リ其ノ納期
(三) 許可期間
(四) 被許可人ハ左ノ事項ヲ左ノ三時期內ニ行フコトヲ要シ之ヲ怠ルトキハ許可ノ取消ヲ受

(イ) 決定設計案ヲ提出スル時期……

(ロ) 起工期……

(ハ) 竣工期……

大ナル引用水ニシテ被許可人カ直接即時ニ其ノ許可ヲ受ケタル水量又ハ水力ノ全部ヲ使用セサルトキハ許可官廳ハ工事ノ竣工ニ從ヒ水稅ヲ累進スルノ制ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ許可命令中ニハ工事施行ノ各時期ヲ定メ各期ニ應シ使用水量又ハ水力ニ相當スル水稅ヲ徵ス

(五) 保證金ハ水稅ノ二年分監督費ハ關係工事檢查手數料ノ二倍以上トス但シ水稅ヲ數期ニ區分スル場合ニ於テハ保證金ハ全許可ニ對スル水稅最大額ノ二年分トス

(六) 保證金及監督費ハ共ニ取締書ニ署名捺印スルニ先チ之ヲ供託スヘシ

取入口ノ所在地若ハ工場ヲ設置セムトスル公共水路地ノ撰定又ハ引用水ヲ使用セムトスル市町村間ノ協定

以上ノ外取締書ニハ被許可人カ現行法規ヲ遵守スヘキ條件ヲ明示スヘシ

第十五條　何レノ許可ト雖モ被許可人ハ取締書ニ記載シタルモノ、外左ノ條件ヲ遵守スヘシ

一　本許可ハ政府ノ管轄スル水ノ處分範圍內ニ於テ從來ノ許可ヲ毀損セス且ツ一般ニ第三者ノ權利ヲ毀損セサル場合ニ於テ之ヲ付與スルモノナルヲ以テ被許可人ハ之ヲ尊重シ司法的侵害ニ付第三者ノ起訴ヲ受ケタルトキハ官廳ニ對シテ之ヲ賠償スヘシ

二　被許可人ハ公共水上ニ設置シタル工事カ河床、水溜、溝渠、道路其ノ他ノ財產竝許可前ノ第三者ノ既得權ヲ毀損セサル爲從來ノ經驗上自己ノ費用ヲ以テ隨時生シタル事件ノ善後ノ變更工事ヲ施行スヘシ

三　許可ヲ受ケタルモノノ全部又ハ一部ノ使用ヲ爲ササルトキト雖モ許可ノ全部又ハ一部ノ水稅ヲ納付スヘシ但シ許可ノ全部又ハ一部ヲ願下ケタル場合ニ於テ其ノ年度ノ終了ト共ニ水稅ノ納付ヲ要セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

四　引續キ二年間水稅ヲ納付セサルモノ又ハ現行法規ノ各條ヲ遵守セサルモノニ對シテハ行政官廳ハ許可ヲ取消スコトヲ得

五　許可ノ取消又ハ停止ノ場合ニ於テ當該官廳カ公共水ノ水溜又ハ兩沿岸ノ堤防ヲ復舊スルノ必要アリト認メタルトキハ被許可人ハ公益又ハ第三者ノ利益ヲ害セサル方法ニ依リ之ヲ毀却シ又ハ復舊工事ヲ施行スヘシ

被許可人カ許可ノ取消ヲ受ケタルトキ行政官廳ニ於テ河水、堤防、兩岸水槽工事ヲ保持セ

ムトスル場合ハ何等賠償ヲ爲スコトナクシテ官廳ノ占有ニ歸ス

被許可人ハ本則第十二條ノ規定ニ依ル官吏員ノ工事ノ檢査ヲ拒ムコトヲ得ス

六　監督費、査定費其ノ他ノ許可附帶費用ハ總テ被許可人ノ負擔トス

第三章　進達書類ノ審査、許可及出費

第十六條　進達濟ノ上設計書類及取締書ノ正當ナルコトヲ認メタルトキハ縣知事ハ直ニ之ヲ當該證券罫紙ニ寫シ申請者ヲシテ署名セシメ契約締約ノ任ニ當ル當該縣書記又ハ郡書記ヲシテ署名ノ公正ヲ證スル爲副署セシム

左ノ場合ニ於テハ縣知事ハ其ノ意見ヲ添ヘ書類ヲ農商務省ニ送附ス

一　許可事項カ法第二條ニ該當スルモノナルトキ

二　取入口ノ存セサル縣又ハ工場ヲ設立セムトスル公共水路以外ノ地ノ當事者ノ反對起リタルトキ

農商務省ハ公共ノ利害ニ關スル意見ヲ添ヘ更ニ之ヲ工部省ニ移付ス

第十七條　工部省ハ前條ノ書類ヲ受理シタルトキハ高等會議ノ意見ヲ徵シ同時ニ治水及公共工事ノ利害ヲ稽ヘ反對者ノ提出シタル意見ヲ考察シテ其ノ許可ヲ爲スノ可否ヲ記載シ進達書類ヲ修正又ハ補綴シ取締書又ハ前記ノ利益ヲ保證シ第三者ノ權利ヲ尊重スヘキ條件ヲ定メタル後之カ許可ヲ付與スヘキ旨ヲ明ニシ之ヲ大藏省ニ回議スヘシ

第十八條　大藏省ハ財政上其ノ許可ヲ爲スノ適當ナルコトヲ認メ且ツ反對ヲ生スルコトナシト期待シ得ヘキトキハ必要ニ應シ縣知事ニ委任シテ前條ノ意見ニ基キ進達書類及取締書ヲ修正又ハ補綴セシム

第十九條　取締書中些細ノ變更又ハ修正ヲ必要トスル場合ニ於テハ最後ノ署名捺印ノ下ニ之ヲ列記シ被許可人ヲシテ更ニ捺印查證セシム

實質上ノ變更ヲ爲スヘキ場合ハ新ニ取締書ヲ作製セシム

設計書又ハ之ニ代ハルヘキ本則第三條、第四條及第五條ニ揭ケタル書類ハ相當ノ印紙ヲ貼付シ取締書ノ一部ト爲スヘシ

第二十條　大藏省ハ前條ノ修正ヲ爲シタルトキ又ハ進達書類カ本來適當ノモノナルトキハ參事院ノ意見ヲ徵シ許可ニ關スル勅令ヲ申請シ又ハ法第三條ニ依リ其ノ權限ニ屬スルモノニ在リテハ自ラ之ヲ許可ス

第二十一條　法第三條ニ該當スル申請ニシテ大藏大臣ノ權限ニ屬セサルモノニ付テハ縣知事ハ土木署及大藏監督署ノ意見ヲ求メ正當ノ反對ノ生スル虞ナク且ツ公益及第三者ノ利益上其ノ許可ヲ與フル必要アルトキハ取締書ニ基キ之ヲ許可シ指令書ニ其ノ理由ヲ記載シ反對者ノ異

議書ヲ却下ス

第二十二條　前數條ノ書類ニ基キ其許可ヲ與フルノ必要ナシト認ムルトキハ許可ノ權利ヲ有スル官廳ハ其ノ理由ヲ付シテ申請書ヲ却下スヘシ

第二十三條　勅令ナルト省令ナルト縣令ナルトヲ問ハス許可ノ指令書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　被許可人ノ氏名及家父權

二　公共水及取入口又ハ公共水上ニ設置セムトスル工場ノ位置

三　引用水ノ使用法及工場ノ種類

四　許可期間

五　水稅年額但シ法第十五條ノ規定ニ依ル無償許可ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

六　水量—水力及灌漑又ハ奬拓地面積

七　取締書ニハ許可ニ附帶スル義務ヲ掲クヘシ

第二十四條　縣知事ハ勅令若ハ省令ニ依ル許可指令又ハ裁判所ノ發セル證書ヲ受理シタルトキハ二十日以內ニ取締書ノ登記手續ヲ爲スヘシ

關係縣ハ法令公布ニ供スル紙上ニ第三者ノ權利ヲ保護スヘキ事項ヲ記載シタル取締書ノ拔萃ト共ニ許可指令ヲ登載シ且ツ其ノ旨ヲ土木監督官ニ通知スヘシ

第二十五條　勅令又ハ大藏大臣ノ指令ヲ以テ許可シタルモノニ付テハ大藏大臣ハ指令ノ寫ニ取締書ヲ添ヘ之ヲ大藏監督署ニ移付シ且ツ其旨ヲ縣知事ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ縣知事ハ書類ノ拔萃ヲ爲シタル後之ヲ土木署ニ送付スヘシ

第二十六條　縣知事ハ其ノ發シタル許可指令及關係取締書類ノ寫ヲ大藏監督署及土木署ニ移付スヘシ

第二十七條　進達其ノ他申請ノ審査ニ關スル諸費ハ許可請求人ノ負擔トス

縣知事ハ申請者ニ對シ必要ニ應シ申請ノ際又ハ書類進達中前項ノ費用ヲ支辨スルニ足ル金額ノ供託ヲ命スルコトヲ得但シ既ニ支拂ヒタル費用ハ命令ヲ以テ其ノ拂込ヲ爲サシム

本則第八條ノ規定ニ依リ全部又ハ一部カ同一事項ノ許可ヲ目的トスル數箇ノ申請アリタルトキ其ノ提出ノ後レタルモノヲ先ニスル場合ハ進達費其ノ他支出シタル審査費ハ許可ヲ受ケタルモノニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第四章　工事ノ施行及水稅ノ許可期間ノ算定

第二十八條　大ナル引用水ヲ目的トスルモノニ在リテハ被許可人ハ許可ノ指令ヲ受ケタルトキハ該工事施行案ヲ別冊B號ノ規定ニ依リ縣知事ニ進達シ其ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ

ハ縣知事ハ其ノ施行案ニ基キ土木署ノ意見ヲ徵ス

土木署ハ許可申請書ニ添附シタル設計書ニテ充分ナリト認メタルトキハ工事施行案ノ提出ヲ省略セシム

千八百六十五年六月二十五日公布ノ法律ニ基キ公益ノ爲土地ノ收用ヲ必要トスルトキハ同法

第二十四條ノ規定ニ依リ收用地ノ細密圖及地主名簿ヲ編成スヘシ

第二十九條　被許可人ハ施工着手ノ日時ヲ土木署ニ通知スヘシ

土木署ハ工事ノ進行ヲ監督シ許可條件ヲ遵守セサルモノニ對シテハ何時ニテモ工事ノ差止ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ直ニ縣知事ニ通知スヘシ

縣知事ハ隨時被許可人ノ提出セル異議ヲ審査シ法第三條ノ規定ニ依リ其ノ職權ニ屬スルモノハ之ヲ處分シ其ノ他ノモノハ取消又ハ工事ノ差止ヲ爲シ必要ニ應シ工部大臣ニ報告シテ其ノ裁決ヲ求ムヘシ

本則第十四條第三號(四)ニ定メタル期間ノ延期ヲ求メムトスル被許可人ハ正當ノ理由ヲ證スルニ足ルヘキ必要書類ヲ添ヘ其ノ願ヲ縣知事ニ提出スヘシ

延期ノ理由正當ナラサルモノハ之ヲ許可セス(イ)及(ロ)ニ付テハ一箇年以上ノ延期ハ之ヲ許可スルコトヲ得ス又(ハ)ニ付テモ工事ノ三分ノ一以上進行シ土木署ニテ之ヲ證明スルニ非サレハ之カ延期ヲ許可スルコトヲ得ス但シ一工事ノ期間ノ延期ヲ許可シタルトキハ引續キ他ノ工事ノ各起工期モ亦同一ノ延期ヲ得タルモノトシ新時期ハ法第二條及第三條ノ規定ニ依リ職權ニ應シ勅令、省令又ハ縣令ヲ以テ之ヲ定ム

法律ヲ以テ許可シタルモノニ付テハ代理權ノ存セサル限リ更ニ法律ニ依ルニ非サレハ延期ヲ許可スルコトヲ得ス

第一期又ハ延期時期ヲ經過スルモ何等ノ實蹟ヲ擧ケサルトキハ許可官廳ハ之カ消滅ヲ宣告シ消滅ノ理由ヲ記載シタル指令ヲ被許可人ニ發ス

許可及關係水稅數期ニ分タレタル場合ニ於テ其ノ時期ヲ誤ルトキハ許可官廳ハ許可ノ取消ヲ命シ又ハ實際ノ使用水量若ハ水力ヲ制限スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被許可人ニ之ヲ通知スヘシ

第三十條　工事竣工シタルトキハ被許可人ハ其ノ旨ヲ土木署技師長ニ報告スヘシ

技師長ハ所屬員ヲ派シテ工事ヲ檢査シ許可條件ニ適應シ且ツ治水規則ニ基キ溝渠ノ安全、道路其ノ他ノ附帶土地ノ安全、衛生及第三者ノ利益ヲ害セサルモノニ對シ檢査濟ノ證明書ヲ發シ之ヲ縣廳ニ送附スヘシ

縣知事工事ノ竣工ヲ裁可シタルトキハ其ノ寫ヲ被許可人及大藏省監督署ニ發達ス

第三十一條　許可ノ指令書ヲ發シタル日ヨリ水稅及許可日數ヲ起算ス但シ第十四條第三號ノ規定ニ依リ水ノ利用上工事ヲ數期ニ分チタル場合ニ於テハ第一期ノ水稅ハ許可指令ノ日ヨリ其ノ他ハ各時期ノ初ヨリ起算ス

被許可人ハ工事ノ檢查濟證書ヲ受ケタル後又ハ各期ノ終了シタル後ニ非サレハ水ヲ占有又ハ使用スルコトヲ得ス

第五章　變更及許可ノ更新

第三十二條　法第六條及第十九條ノ規定ニ依ル使用法ノ屆出ハ之ヲ縣廳ニ送達シ縣廳ニテハ契約締結ノ任ニ當ル縣書記之ヲ受理シ大藏監督署、土木署及被許可人ニ其ノ寫ヲ付與ス

第三十三條　法第七條、第九條第一項及第十九條ノ許可ヲ要スヘキ變更ノ申請ニ付テハ許可申請ニ關スル本則ノ規定ヲ適用ス

進達及變更取締書ハ第一回ノ許可ノ條件ニ依リ之ヲ考察シ場所ノ當否及公益ノ關係幷第三者ニ付與シタル許可ノ事項ニ基キ之カ變更ヲ取捨スヘシ

第三十四條　法第九條第二項ノ急施ヲ要スルモノト認メタルトキハ縣知事ハ工事ヲ許可スルニ先チテ必要ナル實地見分ヲ爲シ被許可人ノ遵守スヘキ事項ヲ定メテ關係取締書ニ署名セシメ其ノ他必要ト認ムヘキ條件ヲ定メ一定ノ期間內ニ決定ノ許可ヲ受クヘキ手續ヲ履行セシム若シ決定許可棄却セラレタルトキハ該工事施行ノ結果生シタル公私ノ損害ヲ賠償セシメテ從前ノ狀態ニ復舊セシメ其ノ義務ヲ履行セサル者ニ對シテハ許可ヲ取消ス

縣知事ハ被許可人ニ實地見分費及必要ト認メタルトキハ前項ノ義務ヲ保證スルニ足ルヘキ金額ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第一項ノ取締書ハ其ノ寫ヲ土木署、大藏監督署及被許可人ニ交付ス

第三十五條　開キタル取入口ヲ有スル引用水ヲ灌漑、浸漬又ハ奬拓ノ目的ニ供スル場合ニ於テ被許可人カ該地積ノ境界ヲ變更セムトスルトキハ縣知事又ハ之ヲ經由シテ法第二條及第三條ノ當該官廳ノ許可ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テハ當該官廳ハ申請者ヲシテ豫メ關係取締書ニ署名セシメ變更後ノ面積カ從前ノ面積ヨリ大ナラス且ツ從前ヨリモ多量ノ水ヲ要セサルモノニ限リ之ヲ許可ス

前項ノ取締書、見分、申請及出費ニ關シテハ前條第二項ノ規定ヲ適用ス

第三十六條　法第十三條ニ揭ケタル工事ヲ施行スル被許可人ハ變更ヲ要スル都度本則第三十三條ノ規定ニ依ルヘシ

其ノ他ノ場合ハ施行着手前其ノ變更案ヲ縣知事ニ提出スヘシ縣知事ハ土木署ノ意見ヲ徵シ公益及第三者ノ利益ヲ害セス且ツ被許可人カ當初ノ義務ト附帶シタル各種ノ必要條件ヲ履行ス

ルニ足ルヘキモノニ限リ之ヲ許可ス

取締書、見分及許可ヲ受クルニ要シタル諸費用ニ關シテハ第三十四條第二項ノ規定ヲ適用ス

第三十七條　許可ノ更新ヲ爲サムトスル者ハ少クモ滿期六箇月以前ニ縣知事ニ其ノ申請書ヲ提出スヘシ

縣知事ハ必要ト認メタルトキハ申請書ニ第一回ノ許可書類ヲ添ヘ土木署ニ諮問シ全部若ハ一部ノ不使用又ハ惡用ニ依リ當初ノ許可ノ目的ニ反スルコトナキヤ否ヤ竝之カ爲公安若ハ第三者ノ利益ヲ害スルコトナキヤ否ヤ其ノ他公共水若ハ土壤ノ態樣ニ及ホス影響ヲ答申セシムルコトヲ得

縣知事ハ申請事項カ法第三條ニ該當シ且ツ大藏大臣ノ權限ニ屬セサルモノニ在リテハ自ラ之ヲ處分シ其ノ他ノ場合ニ在リテハ理由ヲ附シタル意見書ヲ添ヘ關係書類ヲ農商務省ニ移付シ本則第十二條ノ規定ニ基キ其ノ後ノ處分ヲ求ムヘシ

公共水ニ及ホスヘキ變更カ別ニ不都合ヲ來ササルモノニ在リテハ縣知事又ハ工部省ハ許可更新ノ申請書ニ基キ之ヲ處分ス但シ申請條件ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ要ス

許可更新ニ關スル手續ハ本則第三十三條第一項ニ該當スルモノニ在リテハ本則ノ規定ヲ遵守スヘシ

許可條件中一部又ハ全部ノ變更ヲ要スルモノニ在リテハ本手續モ亦一部又ハ全部ニ付之ヲ準用ス

第六章　公共土工法第百六十九條及第百七十條ニ揭ケタル工事

第三十八條　公共土工法第百六十九條及第百七十條ニ揭ケタル工事

第一條第四項ノ規定ニ依ル給水ノ許可ヲ申請セムトスルモノハ申請書ニ工事明細書、公益及第三者ノ利益ヲ害セサルコトヲ證シタル證明用書及說明ノ理由書ヲ添ヘ之ヲ縣知事ニ提出スヘシ縣知事ハ土木署ノ意見ヲ徵シ尙水稅ヲ定ムル場合ニ於テハ大藏監督署ノ意見ヲ徵シ公共土工法第百六十九條ニ適合シタルモノナリヤ否ヤ及法第二十一條ノ規定ニ基キ縣知事ノ職權內ニ屬スヘキヤ否ヤヲ定ム

前項ニ該當セサルモノニ在リテハ土木署ノ意見ニ自己ノ意見ヲ附シ之ヲ工部省ニ移付ス工部省ハ大藏省ノ意見ヲ徵シテ水稅ヲ定メ之ヲ處分ス

先ニ許容シタル工事カ認可スヘキモノナルトキハ取締書ニ署名捺印シテ之ヲ前回ノ取締書ニ添附スヘシ

第三十四條第二項及印紙稅法ノ規定ハ此ノ場合ニ要スル費用及取締書ニ之ヲ適用ス

第七章　公共水及引用水ノ目錄

第三十九條　縣知事ハ土木署ヲ經由シテ其ノ縣ニ存スル公共水ノ目錄ヲ大藏省ト合議シ工部省ノ定ムル書式ニ基キ之ヲ編纂シ工部省ニ送付スヘシ

工部省ハ送付ヲ受ケタル目錄ヲ檢査シ大藏省ト合議ノ上必要ニ應シテ之ヲ修正ス

目錄ハ縣知事ノ指揮ノ下ニ之ヲ告示シ郡ニ關スルモノハ關係縣廳又ハ郡役所ニ於テ之ヲ保存シ縣ノ公報ニ之ヲ告示シ且ツ區裁判所ノ揭示場ニ十五日間揭示シ告示又ハ揭示ノ日ヨリ三箇月間ハ公衆ヲシテ備付書類ヲ檢シ前記ノ官署ニ就キ又ハ之ニ宛テ意見ヲ陳ルコトヲ得セシム

前項ノ期間ヲ經過シタルトキハ縣知事ハ意見書ヲ集メ地方參事會ノ意見ヲ徵シ目錄及進達書類ヲ添ヘ直ニ之ヲ工部省ニ移付ス此ノ場合ニ於テハ工部省ハ土木高等會議及參事院ノ意見ヲ徵シ大藏省ト合議ノ上勅令ニ依ル公共水目錄公示ノ裁可ヲ申請ス

第四十條　前條ノ規定ニ依リ裁可アリタル公共水ノ目錄ハ之ヲ伊國官報ニ公示シ且ツ各縣ノ公報及關係市町村ノ揭示場ニ之ヲ揭示シ公共水用役者ニ對シテハ書面ヲ以テ用役ノ旨ヲ郡長ニ届出ツヘキコトヲ縣告示ニ揭クヘシ

前項ノ告示ニハ法律ニ定メタル届書提出ノ末日及違反者ニ對スル罰則ヲ示スヘシ

第四十一條　前條ノ届書ハ工部省ト大藏省ト合議ノ上定メタル書式ニ依リ之ヲ記入スヘシ

水量ハ可成明細ナル數字ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

郡長届書ヲ受ケタルトキハ届出人ニ領收證ヲ下附シ其ノ届書ニハ誤謬ヲ修正スルニ足ルヘキ對比及說明書ヲ添ヘ尙不備ノ點アルトキハ之ヲ補綴スヘキ旨ヲ記入シテ縣知事ニ送付スヘシ

第四十二條　縣知事ハ土木署及大藏監督署ノ意見ヲ徵シ其ノ縣ニ存スル引用水及用役權者ノ名簿ヲ編成シ精密ナル報告書ヲ添ヘテ之ヲ工部省ニ送付スヘシ届出ヲ爲ササル引用水及用役權者ノ名簿ハ之ヲ別冊トシテ添附スヘシ

工部大臣ハ大藏大臣ト協議ノ上目錄正當ナリト認メタルトキハ之ヲ縣知事ニ移付ス此ノ場合ニ於テハ縣知事ハ十四日間關係地方ノ公報及揭示場ニ之ヲ告示シ各市町村ニ關スルモノハ關係區裁判所ノ揭示場ニ揭示シ其ノ寫ハ之ヲ土木署及大藏監督署ニ送付ス

第四十三條　工部省及大藏省ハ縣知事カ引用水及公共水用役權者ノ名簿ヲ保存セルヤ否ヤ竝引用水及用役權者ノ變更ノ都度之ヲ修正スルヤ否ヤヲ監督ス

第八章　監督及違反

第四十四條　土木署及大藏監督署ハ各其ノ職權ニ基キ法及本則ノ規定ノ施行ヲ監督ス

地方ノ監督ハ土木署及大藏監督署ノ技術員竝政府ニ於テ指揮スル奬拓事業第一種及第二種ノ治水工事監督吏及保護吏之ヲ行フ

前項官吏吏員違反ノ事實ヲ認メタルトキハ成ルヘク二人ノ證人立會ノ上之カ調書ヲ作リ其ノ

違反ニ供シタル物品ハ之ヲ押收スルコトヲ得

用役權者又ハ被許可人立會フトキニハ違反ノ事實ヲ審問シ其ノ不法行爲ニ起因スルヤ否ヤヲ質問スルコトヲ得

違反ノ檢證ハ行政官廳及市町村ノ宣誓官吏、憲兵及大藏警察ノ職務トス

第四十五條　檢證書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　檢證ノ場所及日時

二　立會人ノ氏名職業及住所

三　違反事實及違反ノ場所ー違反カ一時的ノモノナルトキハ少クモ違反行爲ノ日時及終了ノ日時ト推知セラルヘキ日時、定時ノモノナルトキハ其ノ始期又ハ之ニ近キ日時ヲ記載スヘシ

四　違反者ノ氏名、職業及住所竝違反者ノ署名シ若シ自ラ署名スルコト能ハサルトキハ本屬上官又ハ違反地ノ市町村書記ノ署名ヲ求メ違反者及立會人ノ署名捺印ヲ求ムヘシ

五　押收セル物件ノ種類及概價

檢證書ハ正本二通トシ檢證者ノ氏名ヲ署名シ若シ自ラ署名スルコト能ハサルトキハ本屬上官又ハ違反地ノ市町村書記ノ署名ヲ求メ違反者及立會人ノ署名捺印ヲ求ムヘシ

違反者又ハ立會人署名スルコト能ハサルトキ又ハ之ヲ拒ムトキハ檢證書ニ其ノ事實ヲ記載スヘシ

檢證書ハ其ノ一通ヲ違反者ニ交付シ同時ニ押收物件ノ領收證タル用ニ供ス若シ其ノ領收ヲ拒ムトキハ其ノ旨ヲ檢證書ニ記入スヘシ

第四十六條　檢證者ハ檢證日附ノ日ヨリ二十四時間以內ニ檢證書ノ一通ニ押收品ヲ添ヘ違反地ノ市町村長ニ之ヲ送付スルヲ要シ市町村長ハ更ニ遲滯ナク之ヲ違反地ノ土木署ニ送付スヘシ但シ物件ヲ押收セサル場合ニ於テハ單ニ土木署ニ檢證書ヲ送付スルヲ以テ足ル

市町村長ハ違反行爲ニ依リテ生シタル損害及之ニ要シタル出費ニ相當スル罰金ヲ支出シ得ルコト明ナル違反者ニ對シテハ押收品ヲ還付シ其ノ他ノ場所ニ於テハ土木署ニ送付スル迄市町村書記ヲシテ之ヲ保管セシム

第四十七條　土木署長ハ自ラ作製シ若ハ其ノ所屬員ノ作製シタル又ハ送付ヲ受ケタル檢證書類ヲ縣知事ニ移付ス

前項移付ノ場合又ハ前條第一項ノ規定ニ依リ檢證書一通ノ送付ヲ受ケタル場合ハ土木署長ハ直ニ當初ノ狀態ニ復シ更ニ違反ヲ喚起スヘキ危害ヲ除去又ハ豫防スルノ處分ヲ爲シ其ノ費用ヲ計上加算スヘシ

第四十八條　縣知事ハ市町村長又ハ土木署ヨリ意見ヲ添ヘタル檢證書ヲ受理シタルトキハ千八

百六十五年三月二十日公布ノ法律第三百七十八條ノ規定ニ基キ公共工事ニ關スル別冊A號ニ依リ之ヲ處分シ尚必要アルトキハ許可取消ノ手續ヲ爲スヘシ但シ取消ハ當初ノ許可官廳ニ於テ之ヲ發ス

第四十九條　縣知事又ハ其ノ代理官ハ法第二十七條ノ規定ニ依ル違反アリト認メタルトキハ調書ヲ作リ日時、作製官吏ノ氏名、職業及住所、違反者ノ氏名、職業及住所竝不納水稅年額及届出ヲ怠リタル事項ニ關スル引用水ヲ明ニスヘキ必要ノ記事ヲ記載スヘシ

縣知事ハ前條ノ制裁ヲ適用スヘキ手續ヲ行フ

第五十條　法ニ違反シタルノ廉ヲ以テ縣知事カ刑事ノ起訴ヲ爲ス前、判決前又ハ裁判ニ移ス前ニ於テハ違反者ハ縣廳ニ對シ罰金ノ適用ヲ求ムルコトヲ得但シ此ノ請求ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

縣知事ハ其ノ指令ヲ以テ違反者ニ罰金ノ申請ヲ爲スヘキヲ命シ又罰金額及納付期日ヲ定ムルコトヲ得

警察署カ前項ノ期日內ニ罰金ノ納付ヲ受ケタルトキハ縣知事ハ違反ニ關シ更ニ刑事起訴ヲ爲スコトヲ得ス若シ既ニ起訴シタル場合ニ於テハ之ヲ取下クヘシ

忘却シタル金額ハ罰金刑決定ノ方法ニ依リ之ヲ處分ス

第九章　通則及臨時規則

第五十一條　本則ノ施行ニ關スル縣知事ノ處分ニ關シテハ本則第一條第三項及公共土木法第百六十九條、第百七十條ノ場合ノ外ハ其ノ處分ノ通知又ハ公告ノアリタルトキヨリ大藏大臣ニ於テ異議ノ提出ヲ受ク

大藏大臣ハ異議ノ提出アリタルトキハ工部大臣、尙必要アルトキハ農商務大臣ニ合議ノ後之ヲ決定ス

第五十二條　縣知事ハ每年一月中ニ提出ヲ受ケタル申請及前年中法及本則ノ規定ニ依リ爲シタル處分表ヲ工部大臣及農商務大臣ニ報告スヘシ

前項ノ表ハ工部大臣及農商務大臣合議ノ上定メタル書式ニ基キ之ヲ編成スヘシ

第五十三條　本則中縣、市町村、水利地區、縣知事、縣廳、大藏監督署、土木署、地方代表團體、市町村長トアルハ之ニ該當スルモノナキ取入口ノ所在地又ハ設置若ハ未設置ノ工場所在地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノヲ謂フ

大正二年三月十七日印刷
大正二年三月二十日發行

農商務省農務局

印刷者　東京市京橋區瀧山町六番地　小川邦孝

印刷所　東京市京橋區瀧山町六番地　東京製本合資會社
電話新橋（七七九九七六五）

14
113

14.7
113

農業水利ニ關スル各國法令　下卷

農商務省農務局

農業水利ニ關スル各國法令 下卷

目次

五　普魯西王國水法草案……一
六　バイエルン王國水法……八七
七　墺太利國水法……一五五

大正
5. 1. 17
内文

普魯西王國水法草案

普魯西王國水法草案（千九百七年）

神祐ヲ保有セル普魯西ノ王タル朕維廉ハ王國議會兩院ノ協賛ヲ經テ左ノ法律ヲ制定ス

第一章　總　則

第一節　緒　則

第一條　本法中別ニ規定アルモノノ外水ニ付テハ民法ノ土地ニ關スル規定ヲ適用ス

第二條　海洋、海岸又ハ港灣ノ法律關係ハ本法ノ規定スル所ニ非ラス

地下水、堤防、暗渠、漁獵又ハ淨水ニ關シテハ本法中別段ノ規定アル場合ニ限リ本法ノ規定ヲ適用ス

第三條　本法ニ於ケル用語ノ意義左ノ如シ

一　流水ト稱スルハ天然又ハ人工ノ河床ヲ流ルル地上水ヲ謂ヒ其ノ下流カ一箇年ヲ通シテ流ルルト定期ニ一時流下スルトヲ問ハス又地上ヲ流ルル源流ヲ包含ス（自然水路、人工水路）

二　滯水ト稱スルハ下流ヲ有セサルモノヲ謂フ

天然流水ニ變更ヲ加フルモ仍天然流水ト看做ス

第四條　前條ニ揭ケタル種類ニ屬スル水ニ關スル爭議ハ行政訴訟手續ニ依リテ裁決シ縣參事會之ヲ管

轄ス

第六條乃至第九條ノ規定ニ依リ目錄ニ登記セル水ニ關シテハ行政訴訟手續ヲ適用セス

第五條　本法ニ於テ

一　河ト稱スルハ公ノ船舶ヲ交通セシメ得ル天然流水ヲ謂フ但シ船舶ノ通行シ得サル支流ヲ包含ス

二　運河ト稱スルハ公ノ船舶ヲ通行セシメ得ル人工流水ヲ謂フ

三　高水川ト稱スルハ前二號ニ屬セサル天然又ハ人工流水ニシテ經驗上氾濫ノ虞アル爲其ノ維持特ニ困難ナルカ又ハ失費多キモノヲ謂フ

四　川又ハ水路ト稱スルハ前三號ニ屬セサル天然又ハ人工流水ニシテ公共ノ經濟上維持ノ必要アルモノヲ謂フ

五　小川又ハ溝渠ト稱スルハ前四號以外ノ流水ヲ謂フ

第六條　流水カ前條第一號乃至第四號ニ揭ケタル種類ニ屬スルカ否カハ目錄ニ登記スルニ依リテ確定ス

本法附則ニ揭ケタル流水以外ノ登記ニ付テハ以下數條ノ定ムル所ニ依ル

第七條　目錄ノ調製ハ其ノ地ヲ管轄スル州知事之ヲ行フ

目錄ニハ流水及其ノ廣袤ノ屬スヘキ種類ヲ揭記シ登記前ニ於テ成ルヘク關係人ノ意見ヲ徵シ尙高水

川ノ登記ニ付テハ必ス州參事會ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス

第八條　目錄ノ解釋ハ公報其ノ他當該地方慣例ノ方法ニ依リ之ヲ告示シ若シ異議アルトキハ告示後少クモ六週間以內ノ期限內ニ告示中ニ指定シタル官廳ニ對シ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ揭クヘシ

期限內ニ申立タル異議ハ關係人ト協議ノ上州會之ヲ決議ス此ノ決議ニ對シテハ二週間以內ニ主務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得但シ州知事モ亦訴願ヲ受理スルノ權限ヲ有ス

異議解決シタルトキ又ハ異議ナクシテ期間滿了シタルトキハ州知事ニ於テ目錄ノ確定ヲ爲シ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

ホーヘンツオルレルン州ニ於テハ州知事ノ位地ハ縣知事、州會ノ位地ハ縣參事會之ニ代ル

水カ流水ニ非ラスシテ滯水ナルコトヲ主張スル異議ニ付テハ第四條ノ訴訟手續ニ依ルヘシ

第九條　前二條ノ規定ハ目錄ノ變更ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用ス

第十條　水ノ床地ト沿岸トノ境界（沿岸線）ハ平水位、潮ノ干滿アル地域ニ在リテハ通常滿潮ノ水位ニ依リ之ヲ定ム

流水ノ沿岸線ハ沿岸地所有者其ノ他關係人ノ意見ヲ徵シ水警察官廳ニ於テ之ヲ確定スルコトヲ得但シ其ノ確定ニ對シテハ行政訴訟手續ニ依リ訴訟ヲ提起スルコトヲ得其ノ他流水ノ沿岸線ニ關スル爭

議ハ總テ行政訴訟手續ニ依リテ之ヲ決定ス

河及運河ニ付テハ縣參事會其ノ他ノ流水ニ付テハ郡(市)參事會之ヲ管轄ス

關係人カ水警察官廳ノ同意ヲ得テ流水ノ床地ト沿岸トノ境界ヲ確定シタルトキハ沿岸線ニ付テモ一致シタルモノト推定ス

第二節　水　簿

第十一條　水理學ノ奬勵ノ爲竝其ノ法律關係ヲ明瞭ナラシムル爲登記スル流水ニ付水簿ヲ備フヘシ

小川及溝渠竝本法ノ意義ニ於ケル流水ニ非サル地上地下ノ導水路又ハ吐水口ヨリ通スル溝ニ付テモ水簿署ノ認定ニ依リ水簿ヲ備フルコトヲ得

水簿ノ樣式及管理ニ關スル規定ハ主務大臣之ヲ發ス

第十二條　水簿ノ說明欄ニハ登記シタル各流水區域ノ性質及水經濟(家事用水整理、水防等)ノ調査ノ結果ヲ記載スヘシ

第十三條　水簿ニハ本法施行後官廳ノ協力ヲ得テ設定又ハ確定セル法律關係ニ付法律上ノ性質、水ノ境界、利用又ハ變更(第十一條第一項及第二項)水ノ所有、水ノ維持ニ關スル義務竝氾濫區域ノ保護ニ關スル事項ヲ登記スヘシ

第十四條　本法施行前既ニ設定セラレタル前條ノ種類ノ法律關係ニシテ水簿署ニ於テ確定シ得ヘキ事項ハ關係人ノ意見ヲ徵シテ之ヲ登記スヘシ

第十五條　第十三條ニ揭ケタル法律關係以外ノ事項ト雖水簿署ノ權限內ニ屬スル事項ニ付關係人ノ申立アリタルトキハ之ヲ水簿ニ登記スヘシ但シ一切ノ關係人ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス

第十六條　正當ノ利害關係ヲ有スルモノハ水簿ヲ閱覽シ其ノ謄本又ハ謄本ノ認證ヲ請求スルコトヲ得

第十七條　登記ニ對シ竝登記ノ閱覽又ハ其ノ謄本下附ノ申立ノ却下ニ對スル訴願ハ監督官廳ニ於テ之ヲ裁決ス

第十八條　謄本ノ下附若ハ其ノ認證又ハ理由ナキ申立若ハ異議ニ依リ水簿署ノ要シタル費用ハ請求者又ハ申立人ノ負擔トシ其ノ他ノ場合ニ在リテハ水簿署ノ處分又ハ水簿ノ登錄ニ付手數料其ノ他ノ負擔ヲ徵セス

第三節　水ノ所有、利用又ハ變更

第十九條　河ハ國有トス

第二十條　其ノ他ノ天然流水ハ沿岸地所有者ノ所有トス

所有地ノ境界ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　相對スル沿岸地ニ關シテハ平水位、潮ノ干滿アル地域ニ在リテハ通常滿潮ノ水位ニ於ケル流水ノ中央線

二　相隣レル沿岸地ニ關シテハ土地境界ノ終點ヨリ前記中央線ニ直角ニ引ケル線

第二十一條　運河ハ國有トシ其ノ他ノ人工流水ハ前條第二項ニ定メタル境界内ハ沿岸地所有者ノ所有トス但シ其ノ所有權ニ關シ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　前條ノ規定ニ依リ沿岸地所有者ニ屬スル流水ノ所有權ハ沿岸地ノ所有權ト分離スルコトヲ得サルモノトシ沿岸地ノ所有權ヲ取得シタル者ニ當然移轉ス

第二十三條　流水ノ區分登記簿ハ所有者又ハ權利者ノ申請アルトキニ限リ之ヲ作製ス

沿岸地有者ニ屬スル流水ノ部分ハ沿岸地所有者ノ流水持分トシテ土地臺帳中沿岸地ノ區分ニ之ヲ登記シ別ニ地租臺帳ニハ之ヲ記入スルヲ要セス

第二十四條　流水ニ依リ漸次ニ生シタル洲ニシテ第二十條第二項第二號ノ境界内ニ生シタルモノハ沿岸地所有者ノ所有ニ歸ス

沿岸地ノ所有者又ハ占有者カ前項ノ境界ヲ超エタル地點ニ生セル洲ヲ利用シタル場合ニ於テ他ノ土地ノ所有者其ノ他ノ權利者ヨリ持分上ノ權利ニ付訴訟ノ提起ヲ受クルコトナク三箇年間其ノ利用ヲ繼續シタルトキハ前項ニ依リ他ノ沿岸地ノ所有者ニ屬スヘキ部分ト雖其ノ沿岸地所有者ノ所有ニ歸ス

水面ノ自然降下ニ依リ又ハ土地收得ノ目的ニ伴ヒテ生シタル場合ニ非サル流水ノ變化ニ依リテ生シタル沿岸ノ擴張地ニ付テモ亦前二項ノ規定ヲ適用ス

第二十五條　露出又ハ隆起セル流水ノ床地平水位以上ノ高サニ達シタル爲平水位ノ場合ニ在リテハ岸ト接續セサルニ至リタルトキ（島、河洲ノ如キモノ）其ノ水ノ覆ハサル床地ノ所有權ハ水ノ覆ヘル土地ノ所有權者ニ歸ス

第二十六條　沿岸ノ土地ノ一部カ自然力ニ依リ分離シテ他ノ土地ト混同シタル場合ニ於テ其ノ分界ヲ明ニスルコト能ハサルトキ又ハ其ノ分離シタル土地ノ所有者其ノ他ノ權利者ニシテ一箇年間之レカ分界ノ請求ヲ爲ササルトキハ其ノ土地ハ當然他ノ土地ノ所有者ニ歸ス

第二十七條　水警察官廳ハ公益上必要アルトキハ植物、泥土、土砂、砂礫又ハ石ヲ流水ヨリ除去スルニ付必要ナル命令ヲ發シ若ハ制限ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　本法ニ於テ

流水ノ利用ト稱スルハ流水ノ使用又ハ消費竝水又ハ他ノ液體ノ排出若ハ引用ノ爲ニスル使用ヲ謂フ

流水ノ變更ト稱スルハ水面ノ繼續的降下若ハ上昇竝水流停滯ヨリ生スル水ノ繼續的集積竝床地ノ轉換若ハ變更ヲ謂フ

第二十九條　流水ノ利用又ハ變更ニ關スル所有者ノ權利ハ第四十七條乃至第五十條ニ之ヲ規定ス

滯水ノ所有者ハ第三者ノ權利ヲ侵害セサル限リ獨占的ニ之ヲ處分スルコトヲ得土地上ノ泉水溜其ノ

他貯水所ニ集積セル水又ハ土地内ニ在ル地下水ニ對スル土地所有者ノ處分權ニ付亦同シ

前項ノ規定ハ第三條第一項第一號ニ掲ケタル源流ニ之ヲ適用セス

第三十條　流水又ハ滯水ノ利用又ハ變更ヲ爲スニ依リ人類若ハ家畜ノ飲用又ハ家事用ニ必要ナル水ノ供給ヲ妨ケ、吐水口、高水防禦、沿岸、堤防、砂丘又ハ其ノ附屬物ノ保護竝農業、漁獵、鐵道、舟運、通筏、淨水又ハ鑛泉ノ保持ヲ危クスルノ虞アリ其ノ他公共ノ利益ヲ害スル虞アルトキハ其ノ利用又ハ變更ヲ爲スコトヲ得ス

警察官廳ハ前項ノ規定ヲ施行スルニ付必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得（第二百十七條）

第一項ノ利用又ハ變更ニ付特許手續ニ依リ特許ヲ願出テタルトキハ其ノ許否ハ特許局之ヲ決定ス

前二項ノ規定ハ地下水ニ之ヲ適用ス

第三十一條　警察官廳ハ一般ノ危險ヲ防止スル爲滯水、井其ノ他一般ノ使用ニ供セラレサル設備ヨリ一時水ヲ除去シ又ハ流水ヲ一時利用若ハ變更スルコトニ關シ公益上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得但シ其ノ必要ナキニ至リタルトキハ之ヲ廢止スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ所有權若ハ既成設備ノ侵害ニ對シ又ハ滯水ヨリ水ヲ除去シタル爲生シタル損害ニ對シ之レカ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第四節　吐水口

第三十二條　流水ノ流下ヲ妨ケテ上流ニ位スル土地ニ不利益ヲ來シ又ハ其ノ水勢ヲ强メ若ハ其ノ方向ヲ變シテ下流ニ位スル土地ニ不利益ヲ來スコトヲ得ス（吐水口ノ維持）

前項ノ規定ハ地下水道ニ之ヲ適用ス

第三十三條　流水ニ非サル自然流水又ハ溝渠ノ吐水口ニ關スル爭議ハ通常裁判所ニ於テ之ヲ判決ス其ノ他ノ爭議ニシテ前條ノ規定ノ適用ニ關スルモノハ水警察官廳之ヲ管轄ス

第三十四條　泥、砂、土、鑛滓、砂利、木片其ノ他吐水口ノ流通ヲ妨クヘキモノヲ流水ニ投入スルヲ得ス但シ水警察官廳又ハ航行流水ニ付河工事管理局ノ認許アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ地下水道ニ之ヲ適用ス

第三十五條　第三十二條第一項ノ規定ハ土地所有者カ自己若ハ其ノ前所有者カ法律上ノ義務ナクシテ吐水口ノ築造若ハ改良ヲ爲スニ付其ノ所有地ノ上ニ設ケタル設備ヲ除去シ又ハ認許ヲ受ケテ其ノ所有地ノ上ニ存スル設備ヲ除去スル場合ニ之ヲ適用セス

前項ノ規定ハ流水ニ之ヲ適用セス

第三十六條　地上水又ハ地下水ノ引用ニ必要ナル設備ヲ造營セムトスル者アルトキハ土地所有者ハ第九十五條乃至第九十七條ノ規定ニ依リ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第一款　共同使用

第三十七條　何人ト雖灌漑常用、浴用、洗濯用、家畜飲用ニ流水ヲ利用シ竝家事用又ハ經濟上ノ目的ノ爲流水ヨリ水ヲ汲取ルコトヲ得但シ本法ニ制限セル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ他ノ土地ノ利用ノ爲又ハ流水ノ床地ニ設備ヲ爲ス爲流水ヲ使用スル場合ヲ包含セス

第三十八條　何人ト雖前條ノ條件ノ下ニ舟運ノ爲又ハ木材ヲ連結シタル筏ヲ通スル爲其ノ他公共ノ交通ノ爲河又ハ運河ヲ利用スルコトヲ得

公共ノ舟筏ニ對スル通行稅ノ徵收又ハ公共ノ渡船ノ營業ニ關スル規定ニシテ前條其ノ他本法ノ規定ニ牴觸シタルモノハ無効トス

第三十九條　河ノ沿岸地所有者ハ第三者カ人力又ハ動物力ニ依リ舟筏ヲ動カスノ目的ヲ以テ其ノ河岸ヲ曳船要路ニ利用セムトスルトキ竝國カ曳船ニ適スル沿岸工事ヲ爲サムトスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス（曳船權）

流水又ハ流水ノ一部カ本法施行後河ノ性質ヲ取得シタルニ依リ曳船權ヲ行使セムトスル者アルトキ之ニ對シ損害ヲ與ヘタルトキハ之ヲ賠償スヘシ

第四十條　河ノ沿岸地所有者ハ緊急ノ事情ニ依リ其ノ河岸ニ舟筏ヲ繫留シ、貨物ノ陸揚ヲ爲シ尙必要アルトキハ一時荷積ヲ爲シ若ハ艤裝ノ準備ヲ爲ス者アルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ舟筏ノ出入ノ爲公共ノ設備アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　前二條ノ規定ニ依ル沿岸地所有者ノ義務ニ關シテハ地方ノ情況ニ依リ縣知事又ハ河工事管理ヲ委任セラレタル州知事若ハ他縣ノ知事ニ於テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第四十二條　曳船權ノ不當ノ行使又ハ繫留若ハ陸揚ニ依リ沿岸地ニ損害ヲ生シタルトキハ舟筏ノ所有者ハ舟筏及積荷ヲ以テ賠償スヘシ

第四十三條　縣知事ハ公益上必要アルトキ又ハ經濟上特ニ必要アルトキハ次條ノ條件ノ下ニ快走船若ハ其ノ類似ノ小船ノ航行又ハ筏ノ通行ノ爲其ノ他公共ノ交通ノ爲河及運河以外ノ流水ノ利用ヲ許可スルコトヲ得但シ慣例又ハ特別ノ認許ニ依リ既ニ利用セルモノハ仍之ヲ繼續利用スルヲ妨ケス

前項ノ場合ニ於テ木材ヲ連結セル筏ノ通行ニ付テハ第四十條乃至前條中河岸ニ於ケル筏ノ繫留、陸揚及之ニ依リテ生スル損害賠償ニ關スル規定ヲ適用ス

第四十四條　前條ノ規定ニ依リ新ニ筏ノ通行ヲ許可セムトスルトキハ勅許ヲ經ルヲ要シ其ノ他ノ場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一　河ノ沿岸地所有者、船荷權利者又ハ維持義務者（第百五十二條）カ通筏ニ依リ損害ヲ受クル場合ニ於テ其ノ損害カ特別ノ設備ニ依リ杜絕セラレサルトキ竝第二百五十八條ノ制限內ニ於テ流水ノ

所有者ノ法定使用權ヲ侵害シタルトキハ之ヲ賠償スヘシ
賠償金ハ國庫ノ負擔トシ其ノ金額ハ縣知事之ヲ決定ス但シ第二百六十三條ノ規定ニ依リ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得指定ノ設備ヲ爲スニ要スル費用、損害賠償、監視費及陸揚費ニ充ツル爲筏稅ヲ徵收ス

二　筏ニ關スル規定ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ規定スヘキ事項左ノ如シ

イ　通筏ノ方法及實行ニ關スル細則竝沿岸地所有者又ハ船荷權利者ニ負擔セシメタル諸種ノ義務若ハ制限

ロ　筏稅ノ確定

第四十五條　水警察官廳ハ第四十一條及第四十三條ノ場合ヲ除クノ外共同使用ノ實行ニ關シ公益上必要ナル規定ヲ設ケ又ハ使用ノ制限ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　第三十七條乃至第四十四條ノ規定ニ依リ生スル權利ニ付テハ次條及第六十五條ノ他ノ權利ヲ侵害スル場合ニ關スル規定ヲ適用セス又其ノ權利ノ侵害カ適法ノ方法ニ依リ生セサル限リ損害賠償ノ請求權ヲ生セス

第二款　所有者ノ權利

第四十七條　流水ノ所有者ハ其ノ利用又ハ變更ヲ爲スコトヲ得但シ本法ニ制限アル場合又ハ他ノ權利ニ損害ヲ及ホス場合ハ此ノ限ニ在ラス

法律上沿岸地所有者ノ所有ニ屬スル流水ニ在リテハ其ノ利用又ハ變更ハ各其ノ沿岸地所有者ニ於テ之ヲ爲スノ權利ヲ有シ相對セル沿岸地カ數人ノ所有ニ屬スルトキハ兩沿岸地所有者ハ各自水流ノ半ヲ利用スルノ權利ヲ有ス

第四十八條　流水ヨリ引用スル水カ規則的ノ利用ニ依リ消費セラレサル場合ハ下口ニ於テ且ツ引水シタル側ニ於テ流水ノ床地ニ復スヘシ

自己ノ所有地ノ境外ニ於テハ水ヲ堰止メ、他人ノ土地ヲ乾燥、溢水若ハ泥化セシメ其ノ他何等ノ損害ヲモ與フルコトヲ得ス

第四十九條　第四十七條ノ規定ニ依リ所有者ニ屬スル權利ハ水警察官廳ノ認可ヲ經テ流水ノ所有權ト分離シテ之ヲ讓渡スルコトヲ得但シ所有權行使ノ委任ハ此ノ制限ニ依ラサルモノトス

水警察官廳ハ公共ノ利益ニ反スル場合ニ限リ前項ノ認可ヲ拒ムコトヲ得

第五十條　流水ノ相境セル部分ノ各所有者カ第四十七條ノ規定ニ依リ其ノ歸屬權利ノ行使ニ付又ハ行使ノ目的ニ付合意セル場合ニ於テ其ノ所有地ノ利用又ハ變更ヲ爲サムトスル者アルトキハ之ヲ一個ノ土地ト看做ス

第三款　認可

第五十一條　左ニ掲クル事項ハ水警察官廳ノ認可ヲ受クヘシ

一　河若ハ運河ノ沿岸又ハ河床ニ於ケル設備

二　高水川、川若クハ水路ノ變更又ハ其ノ水ノ利用ノ爲ニスル設備

第五十二條　法定ノ維持義務ノ履行ニ必要ナル設備竝公共ノ利益若ハ共同危險ノ場合ニ於ケル警察官廳ノ規定（第二百十七條）又ハ特許ニ基キ獨逸國ノ設置シタル設備ニ對シテハ認可ヲ要セス

川又ハ水路ノ設備ニシテ其ノ所有者カ第四十七條ノ規定ニ依リ歸屬シタル權利ヲ當該地方若ハ一般慣例ノ方法ヲ以テ行使スルニ依リ設置シタル場合亦同シ

第五十三條　認可ヲ經タル設備ノ變更カ其ノ結果トシテ從來ヨリモ利用ヲ增シ、水ヲ不潔ナラシメ又ハ水位若ハ吐水口ニ變更ヲ生セシムルモノナルトキハ其ノ變更ノ認可ヲ受クヘシ

第五十四條　認可ハ認可ヲ受ケタル設備カ他ノ私權ヲ侵害スルヲ保障セス

第五十五條　認可ニハ條件又ハ期限ヲ付スルコトヲ得

第五十六條　認可ヲ受ケムトスル設備カ公共ノ利益ニ反スル場合ハ之ヲ認可セス

第五十七條　認可ヲ申請シタル設備宏大ニシテ且ツ容易ニ除去シ得ヘカラサルモノナルトキハ水警察官廳ハ其ノ請求ヲ拒否シテ特許ノ手續ニ依ラシムルコトヲ得

第五十八條　公益上必要アルトキ又ハ第五十五條ノ規定ニ依ル條件成就スル能ハサルトキハ認可ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ニ依リテ生スル損害ヲ賠償セス

第五十九條　認可ヲ取消シタル場合ハ水警察官廳ハ起業者ニ對シ其ノ費用又ハ損害ノ負擔ヲ以テ既ニ成就シタル設備カ公共ニ及ホス損害ヲ除去若ハ輕減スルノ施設ヲ爲サシメ又ハ其ノ設備ヲ除去セシムルコトヲ得

第六十條　營業條例ニ依リ認可セラレタル設備ハ別ニ第五十一條及第五十三條ノ規定ニ依ル認可ヲ要セス

第四款　特許

第六十一條　流水ヲ利用又ハ變更スルノ權ハ特許ニ依リ之ヲ取得ス但シ本法ニ於テ別ニ其權利ヲ取得セシメタル場合又ハ第四十九條ノ規定ニ依リ之ヲ讓受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條　左ニ掲クル事項ハ特許ヲ受クヘシ

一　流水ノ利用又ハ變更ニ依リテ吐水口ニ不利益ナル變更ヲ生シタル場合又ハ他人ノ負擔ニ屬スル流水ノ維持ヲ困難ナラシメタル場合

二　水又ハ他ノ液體ヲ導去又ハ引用スル爲共同使用ノ範圍ヲ超エテ流水ヲ利用シ其ノ水位ヲ增シテ他ノ關係人ニ不利益ヲ及ホス場合又ハ其ノ水カ不潔ト爲リタル場合

前項ノ規定ハ第百四條又ハ第百三十二條ノ規定ニ依リ設置セラレタル起業ニ之ヲ適用セス

第六十三條　起業カ前條ノ特許ヲ受ケスシテ著手又ハ經營セラレタルトキハ水警察官廳ハ關係人ノ申請ニ依リ其ノ起業者ニ對シ起業ノ成就又ハ經營ヲ禁スルコトヲ得但シ起業者カ水警察官廳ノ定メタル期間內ニ特許ノ申請ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條　特許ハ起業カ公益上、經濟上其ノ他正當ノ利益アリ且ツ一定ノ計畫アルモノニ限リ之ヲ付與ス

第六十五條　既存ノ流水利用權若ハ變更權ヲ侵害シ又ハ他ノ土地若ハ法律ニ依リ既ニ成立セル設備ニ損害ヲ生スル起業ニ對シテハ公益ヲ增進スルノ目的ノミヲ以テ著手又ハ經營スル場合ニ限リ特許ヲ付與ス但シ其ノ起業カ第六十二條ニ揭ケタル侵害以外ニ他人ノ權利ヲ侵害シ若ハ第四十七條ノ規定ニ依リ流水所有者ニ歸屬シタル權利ヲ侵害スルノ外更ニ他人ノ權利ヲ侵害シ且ツ其ノ起業ニ依リ生スル利益ヨリモ關係人ニ生スル不利益大ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條　漁獵ノ特許ハ次條ノ規定ニ違反セサルトキ之ヲ付與スルコトヲ得但シ利害關係人ヨリ損害賠償ノ請求アリタルトキハ之ヲ賠償スヘシ

第六十七條　特許ハ起業カ公益ニ反スル場合ニ於テハ之ヲ付與セス

第六十八條　數人カ特許ヲ申請シ使用水量ノ分割、利用ノ時期又ハ適當ナル經營設備ニ關シ互ニ相容レサル場合ハ工事ノ公益上及經濟上ノ價値ニ依リ特許ノ割分ヲ定ム

其ノ他ノ場合ニ於テハ既成ノ起業ハ新起業ニ對シ一定ノ土地ニ於ケル起業ハ他ノ場所ニ於テ設置シ得ヘキ起業ニ對シ又流水所有者若ハ沿岸地所有者ノ起業ハ其ノ他ノ者ノ起業ニ對シ優先シテ特許ヲ受クルコトヲ得

第六十九條　特許ノ目的タル權利ニ關シテハ第九十條ノ規定ニ依ルノ外通常ノ訴訟ノ手續ニ依リ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十條　特許ニハ通常期限ヲ附ス

特許ニハ起業完成後營業ニ著手スル迄ノ時期ヲ確定シ其ノ他條件付ニテ之ヲ付與スルコトヲ得

期限ノ延期ハ之ヲ許可スルコトヲ得

起業者ニハ相當ノ保險ヲ付スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第七十一條　起業カ他人ニ不利益ヲ及ホシ特許局ノ許可シタル設備ニ依ルモ之ヲ杜絕スルコト能ハサル場合ト雖モ起業者ハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ

損害賠償ニ付テハ公用徵收法ノ規定ヲ適用ス

第七十二條　起業ノ結果カ第六十二條第一項第一號ニ該當スル場合ニ於テモ其ノ之ニ依リテ生シタル不利益カ被害者又ハ第三者ノ負擔タルヘキ流水維持ノ義務ヲ履行スルニ依リテ之ヲ避クルコトヲ得タルモノナルトキハ其ノ損害ヲ賠償スルヲ要セス

第七十三條　特許ノ申請ハ縣參事會之ヲ決定ス特許ノ申請ニハ起業說明書及圖面ヲ添附スヘシ

千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第百十七條ノ規定ニ依リ縣參事會議長ニ於テ特許ヲ付與スルコトハ之ヲ許サス

第七十四條　同一起業ニ付特許ノ申請ト公用徵收ノ申請トヲ提起スルトキハ同一申請ヲ以テスルヲ要シ其ノ決定ハ一括シテ同時ニ決定セラルヘキモノトス

第七十五條　申請カ明ニ許可スヘカラサルモノナルトキハ當該官廳ハ理由ヲ示シテ之ヲ却下スヘシ其ノ他ノ場合ニ於テハ豫定ノ起業ハ縣參事會ノ意見ニ依リ其ノ效果ヲ及ホスヘキ區域ヲ定メ公報其ノ他地方慣例ノ方法ニ依リ之ヲ公告スヘシ

當該官廳ハ起業ニ依リ權利ヲ侵害セラルヽ者アリト認ムルトキハ之ニ對シ前項公告ノ趣旨ヲ通知スヘシ但シ當該官廳ニ於テ知リ得ヘカラサル權利侵害者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條　公告ニハ第七十三條第一項ノ起業說明書及圖面ヲ閱覽シ得ヘキ場所ヲ指定シ且ツ公告ニ揭ケタル官廳ニ對シ起業者ニ於テ異議ノ申立ヲ爲シ得ヘキ期間ヲ指定スヘシ

前項ノ期間ハ二週間以上三箇月以下トシ公告ヲ揭ケタル公報公布ノ日ノ翌日ヨリ起算ス

第七十七條　公告ニハ指定ノ期間內ニ異議ノ申立ヲ爲サヽルトキハ起業ニ對スル異議ノ申立權ヲ喪失シ第九十條ニ揭クル請求權ノミヲ有スヘキ旨ヲ附記スヘシ

第七十八條　起業ニ依リテ侵害セラルヽ權利アルトキハ公告ヲ中止シ前二條ノ規定ヲ適用シテ申請權利者ニ之ヲ通告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第七十六條ノ期間ハ通知ノ送達ノトキヨリ起算ス

第七十九條　縣參事會ハ職權ヲ以テ特許ノ法定要件ヲ審査シ且ツ現行警察條例ニ遵據セルヤ否ヤヲ決定スヘシ

第八十條　利害關係人カ公告ニ於テ指定シタル期間內ニ異議ノ申立ヲ爲サヽルトキハ第七十七條ノ警告ノ規定ニ基キ特許付與ニ對スル異議ノ申立權ヲ失フ

第八十一條　私法上ノ特別事由テ基ク異議ハ裁判官ノ決定ニ依ルモノトシ異議ノ決定ト特許申請ノ決定トハ無關係トス

縣參事會ハ異議ノ決定ニ至ル迄特許申請ノ決定ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ起業者ノ起訴期間ヲ定ムルコトヲ要シ若シ訴訟執行カ不當ニ遲滯スルトキハ官廳ニ於テ訴訟ノ法律上ノ效力ノ終了前手續ノ進行ヲ圖ルコトヲ得

第八十二條　前條以外ノ異議竝損害賠償ノ請求ハ當事者ノ參加ニ依リ其ノ事業ニ關係アル官廳ニ於テ之ヲ審理シ特許ノ拒否セラレタル場合ノ外之ヲ決定ス

起業者竝異議申立人ハ之ヲ當事者ト看做ス

第八十三條　特許申請ニ關スル決定ハ當事者ニ送達シ且ツ之ヲ關係官廳ニ通知スヘシ若シ特許拒否セラルルカ又ハ條件附ニテ若ハ異議ヲ却下シテ付與セラルルトキハ其ノ理由ヲ決定ノ通知ニ附記スヘシ

第八十四條　特許付與ノ決定ハ左ノ事項ヲ包含ス

一　第八十條ニ揭ケタル異議申立權ノ喪失

二　第八十一條ノ規定ニ依ル裁判官ノ異議ニ對スル決定

三　前二號以外ノ異議ニ關スル決定竝起業者ヨリ賠償スヘキ損害金額ノ確定（七一、八二條）

第八十五條　特許申請ニ關スル決議ハ第二百六十三條ノ規定ニ依リ之ヲ取消スコトヲ得

異議ニ對スル決定ハ理由ヲ示シテ當事者ニ送達スヘシ

第八十六條　起業ハ前條及第二百六十三條ノ規定ニ依リ異議者ノ提起シ得ヘキ訴訟カ三箇月ノ期間ノ經過ニ依リ拋棄セラレタル後若ハ法律上ノ効力ヲ有スル宣告ニ依リ排除セラレタル後又ハ流水ノ利用、共同使用又ハ變更ニ對シ其ノ所有者ニ賠償スヘキ損害賠償カ法律上有効ニ辨濟セラレ若ハ供託セラレタルコト證明セラレタル後ニ於テ之ニ著手スヘシ

第八十七條　不當ノ異議申立ニ依リテ生スル費用ハ特許申請ニ對スル決議ニ依リ異議申立人ノ負擔トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ手續上ノ費用ハ起業者ノ負擔トス

第八十八條　起業計畫竝之ニ對シ付與セラレタル權利ヲ表示スル特許書類ハ之ヲ起業者ニ送達シ尙必要アルトキハ說明書及圖解ヲ認證ノ上送達スヘシ

第八十九條　法律上ノ特別ノ事由ニ依リ生シ且ツ第七十六條及第七十八條ノ規定ニ依リ一定ノ期間効力ヲ有スル私權ハ特許ニ依リテ之ヲ侵害スルヲ得ス

第九十條　前條以外ノ私權ニ在リテハ權利若ハ起業ノ中止又ハ特許ニ基キ設立セラレタル設備ノ除去ヲ惹起セサル範圍內ニ於テ自己ニ不利益ナル作用ヲ排除スヘキ設備ヲ請求スルコトヲ得但シ請求シタル設備カ實行スルコト能ハサルモノナルトキ又ハ起業ト相容レサルモノナルトキハ之ニ代ヘテ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ決定權ハ縣參事會ノ權限トス第七十一條第二項、第七十二條及第八十五條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ適用ス

第九十一條　起業ノ實行カ不當ニ遲延スルトキハ縣參事會ハ關係人ノ申請ニ依リ起業實行ノ期限ヲ定ムヘシ

期限ノ延期ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第九十二條　起業ニ變更ヲ加フルニ依リ水ノ利用ヲ增大シ、水ヲ不潔ナラシメ、水位若ハ吐水口ニ變更ヲ來シ又ハ他人ノ義務ニ屬スル流水ノ維持ヲ困難ナラシムル場合ハ特許ヲ受クヘシ

第九十三條　縣參事會ノ決議ニ依リ特許ノ消滅ヲ宣告シ得ル場合左ノ如シ

一　起業者カ特許ニ基キ設置シタル設備ヲ繼續的ニ除去シ又ハ廢止シ其ノ他起業ヲ廢棄シタル場合

二　起業ニ對シ付與セラレタル權利ヲ使用セス又ハ不用トナリタル場合

三　起業者カ其ノ負擔スル條件ヲ履行セス又ハ起業ノ實行ニ付定メラレタル期間内ニ著手セサル場合

縣參事會ハ其ノ決議前起業者ノ意見ヲ徵シ若シ申立アルトキハ申立人ノ意見ヲモ徵スヘシ

第五十九條及第八十五條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第九十四條　公益上重大ナル不利益又ハ危險アルトキハ縣參事會ハ其ノ決議ニ依リ起業者ノ損害ヲ賠償シテ之カ特許ヲ取消スコトヲ得

第五十九條及第八十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第九十五條　起業カ其ノ本來ノ目的ニ依リ實行セラレス又ハ經營スルコト能ハス且之ニ依リテ生スヘキ効用カ關係人ノ不利益ヲ著シクスル場合ニハ土地ノ所有者ハ左ノ義務ヲ負フ但シ之ニ依リテ生スル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

一　水ノ導去若ハ引用、堰水設備ニ對スル土地ノ利用、飲料水ノ調達又ハ農業上林業上若ハ工業上ノ營業ニ必要ナル給水設備ノ爲ニ土地ノ利用ヲ認諾スル事

二　前號ニ揭ケタル起業又ハ吐水口ノ設備ノ爲地上若ハ地下水ノ流過竝之ニ必要ナル設備ノ設置又ハ利用ヲ認諾スル事

前項ノ規定ハ家屋ニ之ヲ適用セス但シ中庭、公園又ハ籬ヲ繞ラシタル庭園ニ付テハ被覆導管ニ依ル水ノ流下カ問題トナル場合ニ限リ之ヲ適用ス

第九十六條　吐水口ノ所有者ハ前條第一項ニ揭ケタル前提ノ下ニ吐水口ノ共同利用ヲ認諾シ又ハ適當ナル設備ノ變更ニ依リ共同利用ノ目的ヲ達シ得ヘキ場合ニ於テ起業者カ設備費及維持費ノ相當額ヲ引受クルトキハ其ノ負擔ヲ以テ變更スルノ認諾ヲ與フヘキ義務ヲ負フ

第九十七條　前二條ノ規定ニ依リ爲シタル請求竝起業者ノ負擔ト爲ルヘキ損害賠償及其ノ他ノ給付ハ縣參事會之ヲ決定ス

第七十一條乃至第八十條、第八十二條乃至第八十八條、第九十條、第九十一條、第九十三條及第九十四條ノ規定ハ左ノ規定ト共ニ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

一　起業ノ公告ハ第七十八條ニ依ル

二　第八十六條第一項ノ規定ハ土地又ハ吐水口ノ利用、共同使用又ハ變更ニ付亦効力ヲ有ス

第九十八條　特許ヲ請求シ得ル又ハ第九十五條第九十六條ノ要件ヲ備フル起業ノ準備ニ付テハ縣參事會ノ意見ニ依リ公告ヲ中止スルコトヲ得ヘキ旨ヲ制限シテ千八百七十四年六月十一日公布公用收用

法第五條ヲ適用ス

第五款　宣告及調停

第九十九條　第三者ノ如何ナル私權カ起業ト相反スルカヲ決定スル爲起業者ハ縣參事會ノ調停ヲ請求スルコトヲ得

申立及手續ニ對シテハ第七十三條乃至第七十七條ノ規定ヲ適用ス縣參事會ハ第七十六條ニ定メタル期間經過シタルトキハ其ノ決議ニ依リ自己ノ權利ヲ申告シタル關係人ニ對シテハ其ノ權利ヲ留保シ其ノ他ノ者ニ對シテハ第七十七條ノ規定ニ從ヒ其ノ權利ト共ニ之ヲ排除スヘシ

第百條　現存スル水量カ凡テノ權利者ノ需要ヲ充スニ不充分ナルトキ又ハ種々ノ利用方法中一カ他ヲ侵害シ又ハ排除スルトキハ各當事者ハ調停手續ニ依リ正當ナル判斷ニ從ヒ權利者全部ノ利益ニ適合スル方法ヲ以テ流水ノ使用方法ヲ規定スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第百一條　權利者ノ營業上ノ設備ノ變更ニ依リ水量ノ不足ヲ補充シ又ハ或ル種類ノ利用ノ侵害若ハ排除ヲ救濟シ得ヘキトキハ各關係人ハ調停手續ニ依リ關係人ノ一方ノ申立ニ依リ自己ノ負擔ヲ以テ其ノ營業設備ニ相當ノ變更ヲ加フルヲ認諾スルノ義務ヲ負フ但シ之ニ依リテ其ノ營業ヲ侵害セラルヽ場合ハ此ノ限ニ在ラス

申立人ハ營業上ノ設備ヲ變更スル爲營業ヲ中止スルニ依リ生スル損害竝變更ニ依リ生スル營業上及維持上ノ增費ヲ賠償シ且縣參事會ノ意見ニ依リ變更ノ實行前保險ヲ附スルコトヲ要ス

第百二條　調停ノ手續ニハ次ノ規定ニ依リ第六十六條、第七十三條乃至第八十五條及第九十一條ノ規定ヲ適用ス

一　調停手續カ不確定ノ特許手續ト關係セルトキハ之ト相結合シテ同一ノ決議ニ依リ之ヲ決定スヘシ

二　第七十七條ノ警告後指定期間內ニ何等異議ノ申立ヲ爲ササル者又ハ積荷ニ付調停若ハ申立ラレタル異議ニ關スル協議ニ參加セサル者ハ縣參事會ノ決議ニ依ル水利規則ニ對スル異議申立權及其ノ水利規則ニ基キ使用權行使ノ侵害ニ依リ生スル追加的損害賠償ノ請求權ヲ喪失ス

三　調停ニ付テハ各關係人カ將來其ノ使用權ヲ實行スルコトニ關シ必要ナル決定特ニ現在ノ水ニ於ケル歸屬持分ノ實行ノ時期、堰水高度及遵守スヘキ制限竝負擔ニ關スル事項ヲ決定スヘシ

第百三條　調停費用ハ縣參事會ノ認定ニ基キ水利規定ニ於ケル各關係人ノ利益ノ大小ニ依リ其ノ負擔トス

第六款　公益ニ基ク國家起業

第百四條　國ハ河又ハ國有ノ運河ニ於テ公益上必要ナル變更ヲ爲スノ權利ヲ有ス

第百五條　人工的設備ヲ爲スニ依リ水位又ハ水流ニ根本的變更ヲ生スル變更ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ認定上其ノ變更ノ爲影響ヲ蒙ルヘキ地方ノ郡報ヲ以テ當該地方慣例ノ方法ニ依リ豫定ノ起業ヲ公告ス

第百六條　各市町村（私領區）ニ於テハ起業計畫ヲ抄錄シ二週間乃至六週間公衆ノ閱覽ニ供スヘシ此ノ期間內ハ該計畫ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

公告ニハ異議ノ申立ヲ受理スヘキ時及場所ヲ明ニスヘシ

第百七條　異議ハ其ノ申立人ト利害關係人ノ間ニ於テ之ヲ協議ス但シ此ノ協議ニ於テハ損害賠償ノ問題ニ亘ルコトヲ得ス

異議ノ審理ヲ委託セラレタル官吏ハ審理ノ結果異議ノ全部若ハ一部不當ト認ムヘキ關係人ニ對シ其ノ理由ヲ告知シ且ツ少クモ一週間內ニ書面ヲ以テ其ノ反對理由ヲ提出シ得ヘキコトヲ附記スヘシ

前項ノ期間經過後ハ決議權ヲ有スル官廳ノ贊成ヲ得テ之ヲ提出スルコトヲ得

第百八條　異議又ハ設計確定ニ關スル決定ハ縣知事之ヲ爲ス但シ河ノ工事ノ管理カ州知事又ハ他縣知事ニ委任セラレタル場合ハ受任者之ヲ決定ス

前項ノ異議又ハ設計決定ニ對シ關係人ハ其ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ二週間內ニ決定書ノ指定セル主務大臣ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

設計ノ終局確定ハ公衆ノ閱覽ニ供スヘキ場所ヲ指定シテ第百五條ニ依リ之ヲ公告ス

第百九條　水位又ハ流水ニ重大ナル變更ヲ生セスト雖其ノ維持義務ヲ履行スル爲施設スヘキ工作ノ程度ヲ超ユル起業ハ豫メ適當ノ方法ニ依リ關係人ノ意見ヲ徵スヘシ但シ起業ノ著手遲延スルコト能ハサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十條　私法上ノ理由ニ基キ設計ノ實施ニ對シ異議ヲ申立テ又ハ工事ニ著手シタル設備ニ對シ其ノ除去ヲ請求スルコトヲ得ス

第百十一條　起業ノ不利益ナル作用カ縣知事又ハ州知事ニ於テ決定シタル經濟上成立シ得ヘキ設備ニ依リ排除セラレサル限リ之ニ依リテ生スル損害ハ之ヲ賠償スヘシ第二百五十八條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於ケル爭議ハ縣參事會ニ於テ之ヲ決定ス但シ其ノ決定ニ付テハ第二百六十六條ノ規定ニ依リ委任セラレタル者ニ於テ之ヲ爭フコトヲ得

第百十二條　設備ノ築造ノ請求權又ハ損害賠償ノ請求權ハ起業ノ著手後五箇年ヲ經過スルニ依リ消滅ス

第百十三條　吐水口ノ變更若ハ維持ヲ困難ナラシメタルコト又ハ水利權ノ侵害ヲ原因トスル損害賠償ノ請求ハ水位又ハ流水ノ根本的變更ヲ來セル起業ニ對シテノミ之ヲ爲スコトヲ得原水位ノ變更ニ付

亦同シ但シ其ノ損害賠償ハ事情ニ依リ衡平ノ觀念上必要ノ限度トス

第百十四條　河ノ床地ヵ轉換シタル場合ニ於テハ舊河床ハ沿岸地所有者ノ申立ニ依リ河工事管理局ノ定ムル相當ノ代價ヲ以テ其ノ所有ニ歸ス但シ河工事管理局ニ於テ其ノ目的ノ爲使用スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十五條　第百四條以下ノ規定ニ依ル手續ニ基キ生シタル金錢ノ支辨ハ國庫ノ負擔トス但シ不當ノ異議申立ニ依リ生シタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百十六條　河ノ沿岸地所有者ヵ國ニ對シ負擔スル義務ハ次條乃至第百三十條ノ規定ニ依リテ定マル

第百十七條　沿岸地所有者ハ損害賠償ヲ請求スルコトナク何時ニテモ公務上河工事管理局官吏又ハ其ノ權限代理人ヵ河岸、陸揚場、砂洲又ハ島ニ立入ルコトヲ認容スルノ義務ヲ有ス

河ノ沿岸又ハ床地ニ於ケル起業ニ必要ナル補助設備ノ實行竝沿岸地ニ於ケル汚泥物ノ一時的蓄積ニ付亦同シ

第百十八條　沿岸地所有者ハ掩護、防波若ハ封鎖工事其ノ他河修理工事ニ必要ナル土地竝工場倉庫設置場ニ其ノ沿岸地ヲ利用スルコトヲ拒ムコトヲ得ス木材ノ運搬、勞働者又ハ監視人ノ一定ノ通行、河岸ニ於ケル工作物ノ繫着竝第二百六十七條ノ規定ニ反セサル必要ナル土壤ノ取去ニ付亦同シ但シ之ニ依リテ生スル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

前項木材ノ運搬、河岸通行又ハ土壤ノ取去ハ巨額ノ費用ヲ要セサル他ノ方法ニ依リ之ヲ充タシ得ルモノナルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

土壤ヲ取去スルニ依リテ河岸ノ高ヲ減シ爲ニ隣接地ニ對シ高水ノ氾濫ヲ從來ヨリモ容易ナラシムルトキハ沿岸地所有者ノ承諾ヲ經ヘシ

第百十九條　前二條ノ規定ニ依リ沿岸地ヲ使用又ハ利用セムトスル者ハ關係人ノ承諾ナキトキハ現在ノ流水又ハ溝渠ノ流下ヲ妨クルコトヲ得ス

第百二十條　國ハ起業實行ノ結果流水ニ不利益ヲ及ホスコトナクシテ利用シ得ラルヘキ上陸場ヲ完成シ且之ヲ堅固ニスルノ權限ヲ有ス

前項ノ目的ヲ達スル爲國ハ法律ニ依リ上陸場ノ所有權ヲ取得シ及之ヲ利用スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ本法公布前生セル未完成ノ上陸場ニ之ヲ適用ス

上陸場ハ國ノ承認ヲ經スシテ沿岸地所有者ノ所有ニ歸スルコトナシ

第百二十一條　國カ上陸場ヲ所有スル場合ニ於テ沿岸地ノ所有者又ハ使用權者カ其ノ經濟上河トノ連絡又ハ河ノ利用ヲ必要トスルトキハ之ヲ許可スヘシ

上陸場カ公ノ渡船場上陸場等ノ前ニ位スルトキハ國ハ其ノ完成又ハ開放ヲ成ルヘク取急キ且ツ其ノ

目的ニ適合スル通路ノ便利ヲ圖ルヘシ

上陸場ヲ賃貸セムトスル場合ニ於テ借賃同一ナルトキハ沿岸地ノ所有者又ハ其ノ使用權者ニ優先權ヲ與フヘシ

狩獵權ハ沿岸地所有者ニ歸ス但シ其ノ行使ニ付テハ狩獵警察法ノ規定ニ依ルノ外國カ上陸場ニ立入ルコトヲ禁シタルトキハ其ノ制限ニ從フコトヲ要ス

第百二十二條　上陸場完成シ若ハ完成ノ目的ヲ達スルニ必要ナル工事ヲ中止シタルトキハ又ハ國カ第百二十條ニ依リ有スル權限ヲ利用セサルトキハ沿岸地ノ所有者ハ其ノ上陸場ノ設備ニ對シ河工事管理局ノ定ムル相當ノ代價ヲ支拂ヒテ其ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得

第百二十三條　國カ河修理工事（第百十八條第一項）ヲ維持セル場合ニ於テ之レニ接近セル上陸場ノ使用カ工作物ノ害ト爲ルトキハ其ノ使用ヲ禁スルコトヲ得

第百二十四條　沿岸地所有者ノ所有ニ歸シタル上陸場ニ樹木ヲ植エ若ハ芝生ヲ作ルノ必要アルトキハ國ハ沿岸地所有者ヲシテ一定期間內ニ之ヲ爲サシムルコトヲ得沿岸地所有者カ其請求ニ應セサルトキハ爾後國家ニ依リテ爲サルヽ植樹及芝生ノ利用權ハ國ニ歸ス此ノ場合ニ於テ沿岸地所有者ノ利用ノ目的ヲ以テ沿岸地ニ立入リ又ハ之ニ沿ヒテ航行スルヲ拒ムコトヲ得ス沿岸地所有者カ設備ノ費用ヨリ國カ之ヲ利用スルニ依リテ得タル利益ヲ控除シタル金額ヲ支辨シ且ツ設備ノ維持（必要ノ場合

ニハ充分ナル保險ヲ附シテ）ヲ受諾シタルトキハ設備ノ利用權ヲ取消ス

第百二十五條　國ハ既定設計上必要ナルトキハ各種ノ上陸場、砂洲、岩石、島嶼又ハ沿岸突出等ヲ除去スルコトヲ得但シ之ニ依リテ生ズル損害ヲ賠償スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ實行前關係所有者ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス

第百二十六條　植樹、生芝其ノ他ノ方法ニ依リ前條ニ揭ケタル土地ヲ固結セシメムトスルトキハ國ノ承認ヲ經ヘシ土地ノ全部若ハ一部ノ除去ニ付既定ノ設計カ豫メ其ノ除去又ハ維持ヲ必要トセル場合亦同シ

第百二十七條　沿岸地所有者ハ國ノ請求アルトキハ損害賠償ヲ請求スルコトナク既定ノ設計ニ從ヒ除去セラルヘキ野生ノ樹木及灌木ヲ自ラ除去シ又ハ之ヲ除去スルコトヲ承認スヘシ

第百二十八條　河工事管理局ノ官吏又ハ其ノ權限代理人ハ何時ニテモ各上陸場、砂洲又ハ島ニ停留場若ハ繫留場ノ標木又ハ航行標其ノ他ノ目標ヲ設置スルコトヲ得但シ危險急迫セル場合ヲ除クノ外其ノ設置前沿岸地所有者又ハ使用權者ノ意見ヲ徵スヘシ此ノ場合ニ於テ沿岸地所有者又ハ使用權者ハ之ニ依リテ生スル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第百二十九條　第百十七條乃至前條ノ場合ニ於テハ地方所屬ノ河工事官吏ハ關係人ノ意見ヲ徵シタル後必要ナル指令ヲ爲スヘシ但シ異議ノ受理ハ縣知事又ハ州知事ノ權限トシ（第百八條第一項）異議

ニ對シ爲サレタル裁決ニ付テハ千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第百二十七條第三項第四項ニ依リ二週間以内ニ最上級行政裁判所ニ抗告若ハ主務大臣ニ對シ抗辨ノ訴ヲ爲スコトヲ得

關係沿岸地所有者ハ河修理工事（第百十八條第一項）ノ爲土地ヲ明渡スコトニ關スル場合ヲ除クノ外第百十七條、第百十八條ノ場合ニ於テ負擔スヘキ義務ノ目的物及範圍ニ關シ二週間以内ニ郡ニ在リテハ郡長ノ決定、市ニ在リテハ地方警察署ノ決定ヲ申請スヘシ但シ其ノ決定ニ對シテハ當事者双方ヨリ二週間以内ニ縣知事ニ對シ異議ノ由立ヲ爲スコトヲ得縣知事ノ決定ハ終局決定トス

前二項ニ依リ異議ノ申立アリタル場合ト雖郡長又ハ地方警察署ノ許可ヲ受ケテ工事ヲ進捗スルヲ妨ケス但シ其ノ工事ノ停止カ共同圍體ニ對シ重大ナル不利益ヲ生セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十條　沿岸地ノ所有者若ハ其ノ使用權者ノ請求シ得ヘキ損害賠償ノ金額及第百二十四條ノ場合ニ於テ其ノ支辨スヘキ金額ハ縣參事會ニ於テ之ヲ決定ス但シ其ノ決定ハ第二百六十三條ノ規定ニ依リ之ヲ取消スコトヲ得損害賠償ニ付テハ千八百七十四年六月十一日公布ノ徵收法第三十六條第一項及第三十七條ノ規定ヲ適用ス

第二節　河、運河、高水川、川及水路ノ維持

第一款　總則

第百三十一條　流水ノ維持ハ吐水口ノ維持若ハ修理又ハ河若ハ運河ノ舟輯ニ必要ナル河床又ハ河岸ノ維持ヲ包含ス

木林ヲ連結シタル筏ノ交通上高水川、川又ハ水路ノ使用ヲ一般慣例上又ハ特ニ許シタル所ニ在リテハ流水ノ維持ハ筏ノ通行維持ニ必要ナル處置ニ及フ

第百三十二條　維持義務者（第百四十六條）ハ流水ノ維持ヲ爲スヘキ地域ニ於テ其ノ維持ニ付命セラレタル變更ヲ爲スノ權利ヲ有ス

人工的設備ニ依リ水位又ハ水流ニ根本的變更ヲ來ズモノハ之ヲ維持ト稱セス

第百三十三條　河又ハ國ノ所有ニ屬スル運河ニ在リテハ其ノ管理ノ任ニ當ル官廳ニ於テ維持上必要ナル工事ヲ決定ス

其ノ他ノ運河ニ在リテハ所有者ハ其ノ維持ニ關スル規定ヲ設ケ監督官廳ノ認可ヲ經ヘシ

第百三十四條　其ノ他ノ流水ニ關シテハ水警察官廳ハ必要ニ應シ警察命令又ハ處分ヲ以テ流水ノ幅、最小水深、工事著手ノ時期其ノ他維持ノ方法及處置ヲ決定ス

高水川ニ關シテハ其ノ維持ハ地方議會カ主務大臣ノ協贊ヲ經テ公布スル條例ニ之ヲ規定ス

第百三十五條　維持ニ關スル水警察官廳ノ處分ニ對シテハ同廳ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ違反シ法定期間内ニ（第二百七十六條）水警察官廳ノ決議又ハ處分ニ關スル異議ノ決議又ハ決定ノ權アル官廳ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲シタルトキハ主務官廳ハ之ヲ水警察官廳ノ決議ニ

附スヘシ

水警察官廳ノ決定ニ對シテハ行政訴訟手續ニ依リ訴訟ヲ提起スルコトヲ得訴訟ハ被起訴者カ公法ニ基キ第三者ヲ義務者ト見ルトキハ同時ニ其ノ第三者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得第三者ニ對スル訴訟ハ第一審ノ口頭辯論ニ於テ之ヲ許スコトヲ得但シ裁判所カ之ニ依リテ遲延ヲ來スト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

其ノ他ノ場合ニ於テ流水又ハ其ノ沿岸（第百四十五條以下）ノ維持義務ニ關シ又ハ維持義務者タル他人ノ賠償ニ關スル關係人間ノ爭議ノ決定ハ行政訴訟ノ手續ニ依ル

訴訟カ法定期間內（第二百七十六條）ニ水警察官廳ニ到達シタルトキハ法定期間ノ遵守アリタルモノト看做ス

主務官廳ハ訴訟完成ノ爲相當ノ猶豫期間ヲ擔保スヘキモノトス

賠償ニ關シ維持義務者ニ對シテ提起シタル行政訴訟手續ニ依ル訴ハ期間ノ經過ニ依リテ消滅セス

河又ハ運河ニ關スル訴訟ハ最上級ノ行政裁判所ノ管轄トシ其ノ他ノ場合ハ縣參事會ノ管轄トス

堤防組合ノ區域ニ於ケル流水ニ對シテハ本條ノ規定ヲ適用セス

第百三十六條　維持義務ノ履行ノ爲ニスル工事ニシテ出來得ル限リ他人ノ權利ヲ毀損セサルヨウ設計シタルトキハ之ニ依リテ生スル損害ヲ賠償スルコトヲ要セス

第百三十七條　維持ヲ困難ナラシムル流水ノ沿岸設備ハ維持義務者ニ於テ其ノ賠償ヲ爲ストキハ之ヲ設置スルコトヲ得

第百三十八條　第百三十二條、第百三十六條又ハ前條ノ場合ニ於ケル爭議ハ河又ハ運河ニ在リテハ縣參事會、其ノ他ノ場合ニ在リテハ郡（市）參事會之ヲ決定ス但シ損害賠償ノ金額ニ關スル決定ニ對シテハ第二百六十六條ノ規定ニ依リ委任セラレタル者ニ訴訟ヲ提起シ其ノ他ノ事項ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第百三十九條　維持義務ノ履行ノ爲ニスル工事ニ付テハ第百十七條乃至第百二十八條ノ規定ヲ適用ス但シ高水川又ハ川ニ在リテハ繼續的ニ汚泥ノ堆積ヲ認容シ、人工流水ニ在リテハ之ニ依リテ生スル損害ヲ賠償スルトキ之ヲ認容スルコトヲ要ス

河又ハ運河ニ關シテハ第百三十三條ノ規定ニ依リ確定又ハ認可セラレタル維持設計又ハ規定ヲ以テ、其ノ他ノ流水ニ關シテハ公布セラレタル規則（第百三十四條第二項）又ハ水警察官廳ノ定メタル決定（第百三十四條第一項）ヲ以テ適法ニ確定シタル設計ト看做ス

第百四十條　前條ノ場合ニ於テ河又ハ國ノ所有ニ屬スル運河ニ在リテハ地方所屬ノ河工事官吏ニ於テ必要ノ指令ヲ爲シ其ノ他ノ場合ニ在リテハ爭議アルトキハ水警察官廳之ヲ處分ス

河工事官吏ノ指令ニ對スル異議ノ申立ニハ第百二十九條ノ規定ヲ適用シ水警察官廳ノ處分ニ對スル

異議ノ申立ニハ第百三十五條ノ規定ヲ適用ス

沿岸地ノ所有者又ハ其ノ使用權者ノ請求シ得ヘキ損害賠償ノ金額及第百三十九條ニ關聯セル第百二十四條ノ場合ニ於テ其ノ支辨スヘキ金額ニ對シテハ第百三十條ノ規定ヲ適用ス但シ高水川、川又ハ水路ニ在リテハ郡(市)參事會縣參事會ニ代ル

第百四十一條　流水ノ河床ヲ人工的ニ轉置シタル場合ニ於テ維持義務者カ從前ノ河床ヲ起業ノ施行又ハ其維持ニ使用セムトスルトキハ其所有者ニ對シ從前ノ價額ヲ賠償シテ其讓渡ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ損害賠償ニ付テハ千八百七十四年六月十一日公布公用徵收法第三十六條第一項及第三十七條ノ規定ヲ適用ス爭議ヲ生シタル場合及損害賠償ノ金額ニ關シテハ縣參事會ニ於テ之ヲ決定シ縣參事會ノ決定ニ對シテハ第二百六十三條ノ規定ニ依リ異議ヲ提出スルコトヲ得

第百四十二條　流水、氾濫、工作物ノ墜落其ノ他異常ノ事變ニ依リテ水災ヲ生シ應急防止ノ準備ヲ要スル場合ニ於テハ附近地方團體(私領區)ハ其ノ團體ニ對スル危險ノ虞ナキトキト雖重大ナル不利益ヲ生セサル限リ警察官廳(第二百七十一條)ノ命令ニ依リ夫役、牛馬役、建築材料又ハ車馬ヲ給付シ必要ナル扶助ヲ爲スノ義務ヲ有ス

危險ノ虞ナキ地方團體(私領區)カ建築材料若ハ車馬ヲ給付シ又ハ請求ニ依リ夫役若ハ牛馬役ヲ給付シタルトキハ維持義務者ハ之ニ對シ相當ノ賠償ヲ爲スヘシ損害賠償ノ義務ノ有無又ハ其ノ金額ニ

關シ爭アル場合ハ縣參事會ニ於テ之ヲ決定ス但シ建築材料若クハ車馬ノ給付ニ對スル損害賠償ノ金額ニ關シテハ其決定ノ通知カ關係人ニ送達セラレタル日ヨリ三ケ月以內ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百四十三條　條約ニ依リテ規定セラレタル流水ノ維持ハ本法ニ規定スルニ限ニ在ラス

條約ニ反セサル限リ主務大臣ハ全然普魯西國領土ニ屬セサル流水ノ維持ニ關シテハ一時本法ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第百四十四條　第百三十九條及第百四十條ノ規定ハ維持義務者カ吐水口ノ利益ノ爲維持ノ程度ヲ超ユル流水ノ變更ヲ爲シタル場合ニ之ヲ適用ス

第二款　維持義務

第百四十五條　本法ニ依リテ設定セラレタル流水ノ維持義務ハ公法上ノ處分ニ依リ廢止又ハ變更スルヲ得ス

第百四十六條　維持義務ヲ負擔スル者左ノ如シ

一　河ニ在リテハ國

二　高水川ニ在リテハ州團體但シヘツセンナツサウ州ニ在リテハ縣團體、ホーエンツオルレン地方ニ在リテハ地方公共團體

三　河ニ在リテハ其ノ流域內地方團體(私領區)

四　運河又ハ水路ニ在リテハ他ニ規定ナキトキハ其ノ所有者

河、高水川又ハ川ノ沿岸地所有者ハ水流ニ依リ沿岸ニ障害ヲ生スルヲ防キ且非常ノ費用ヲ要セサル限リ沿岸地ニ植樹、生芝等簡單ナル固結法ヲ施シ其ノ他之ヲ維持スヘシ

第百四十七條　從來公法上ノ持別ナル理由ニ基キ國カ高水川、川又ハ水路ノ維持ヲ負擔シタルモノニ付テハ國ハ之ヲ繼續維持スルノ義務ヲ有ス

前項ノ場合ヲ除クノ外公共團體カ特別ノ理由ニ基キ川、運河又ハ水路ノ維持ニ對スル公法上ノ義務ヲ負擔シタル場合又ハ將來之ヲ負擔スヘキ場合ニ於テハ公共團體ハ其ノ義務ノ繼續期間維持義務者ニ代リ之ヲ維持スヘシ此ノ關係ニ付テハ從來ノ法律又ハ定款ノ規定ニ依リ本法施行前組織セラレ且公ノ監督ニ屬シタル維持義務者、團體ハ之ヲ共同團體ト看做ス

第百四十八條　維持義務ノ範圍ハ前條ノ場合ニ於テモ亦本法ノ規定ニ依ル

第百四十九條　高水川又ハ川カ公ノ船舶交通ニ堪フルモノトシテ第六條ノ目錄中ニ掲ケラレタルモノナルトキハ從來維持義務ヲ有シタル市町村(私領區)州等ノ團體ニ對シ其ノ從來ノ義務ニ相當スル程度迄ノ維持費ヲ徵收スルコトヲ得此ノ場合ノ爭議ニ關シテハ行政訴訟手續ニ依リ縣參事會之ヲ決定ス

第百五十條　第百四十六條第二項及第百四十八條ニ依リ沿岸地所有者ノ負擔ニ屬スル沿岸ノ維持カ占有狀態ノ消滅其ノ他ノ理由ニ基キ經驗上十分ナラサルトキハ水警察官廳ハ流水ノ維持義務者ヲシテ其ノ申立ニ依リ第一義務者(沿岸地所有者)ノ費用ヲ以テ其ノ維持ニ當ラシムルコトヲ得

前項州知事又ハ縣知事ノ決定ニ對シテハ最上級行政裁判所、其ノ他ノ決定ニ對シテハ縣參事會ニ行政訴訟手續ニ依リ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一義務者カ出費ノ賠償ヲ徵セラルヽ場合ニ於テハ維持義務者ハ關係人ニ對シ其ノ負擔スヘキ出費額ヲ通知シ且出費ノ徵收及其ノ額ニ對スル異議ハ縣參事會決議忌避期間內ニ郡(市)參事會ニ提出スヘキ旨ヲ附記スヘシ

既定裁決ニ對シテハ關係人ハ行政訴訟手續ニ依リ口頭辯論ヲ以テ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　流水ノ利用又ハ變更ノ爲設置スル設備ノ著手又ハ使用ニ依リテ維持費增大スルトキハ起業者ハ流水維持ノ爲相當ノ金額ヲ給付スヘシ但シ之ニ關シ特許手續ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前條第三項第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス但シ維持費ノ增加ヲ生シタル郡ノ郡(市)參事會ノ管轄トス

第百五十二條　第百三十一條第二項ノ場合ニ於テ維持費用カ筏ノ通行ヲ維持スルニ必要ナル處置ニ依リテ生シタルモノナルトキハ維持義務者ハ第四十四條第一號ノ適用ニ依リ其ノ損害ヲ賠償スヘシ但

シ本法施行ノ當時既ニ筏ノ通行維持ノ義務ヲ負擔シタルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五十三條　州(縣團體)郡又ハ市町村ノ負擔スヘキ費用其ノ他負擔ノ徵收及賦課ニ付テハ千九百六年四月二十三日公布郡課稅法第五條及第二十四條又ハ州課稅法第十條及第二十七條、千八百九十三年七月十四日公布市町村課稅法第九條及第二十條ノ規定ヲ適用ス但シ郡ニ在リテハ費用其ノ他ノ負擔ノ賦課ハ交通機關ニ對スル課稅ノ規定ニ從フコトヲ得

第百五十四條　維持義務アル私領區カ全部地主ノ所有ニ屬セサルトキハ維持費ノ徵收ハ他ノ土地所有者ヲモ流水ノ管理ニ參加セシメ定款ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得

定款カ關係人ノ任意ノ合意ニ依リ作製セラレタルモノニ非サルトキハ土地所有者ノ申立ニ依リ關係人ノ意見ヲ徵シタル後郡參事會之ヲ決定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ出資義務ノ規定ハ各州市町村ニ於ケル市町村費ノ賦課ニ關スル法律ノ規定ニ依リ之ヲ作成スヘシ

第百五十五條　從來公法上維持ノ義務ヲ負擔シタル不動產又ハ堰水設備ノ占有者ハ不動產又ハ堰水設備ニ對スル郡稅負擔ノ義務ナキトキト雖從來ノ負擔ニ相當スル額迄維持費ヲ徵收セラルヽコトアルヘシ但シ其ノ額ハ郡(市)參事會ニ於テ之ヲ決定ス

第百五十六條　前二條ノ場合ニ於テ維持費ノ徵收及賦課竝夫役、牛馬役ノ徵發ニ關スル義務者ノ異議又ハ請求ニ對シテハ之ニ關スル郡稅、市町村稅ノ規定ヲ適用ス

第百五十七條　市町村及私領區ハ共同シテ其ノ區域ヲ通過スル流水ヲ維持スルノ目的ヲ以テ組合ヲ作ルコトヲ得

維持組合ノ構成又ハ變更ニ付テハ共同ノ利害關係ヲ有スル市町村聯合ニ關スル規定、若シ其ノ規定ナキトキハ當分千八百九十一年七月三日公布東七州市町村會ノ規定ヲ適用ス

維持組合ニ於テ私領區ノ分擔スヘキ維持費ノ徵收及賦課ニ關シテハ第百五十四條及前條ノ規定ヲ適用ス

第百五十八條　人工流水ノ共有者ハ水警察官廳ノ請求ニ依リ流水維持ニ關スル共同代理人ヲ選定スヘシ之ヲ選定セサルトキハ水警察官廳ハ其ノ權限ニ依リ共有者ノ費用ヲ以テ共同代理人ヲ選任スルコトヲ得

第百五十九條　義務者ノ負擔過重ナル維持ニ付テハ其ノ負擔力ヲ超過スル部分ハ沿岸地所有者ノ義務ナル場合ニ在リテハ市町村(若ハ私領區)費、市町村ノ義務ナル場合ニ在リテハ郡費ヨリ之ヲ支出スヘシ若シ郡費ヨリ支出スルコト能ハサルトキハ州費ヨリ之ヲ支出スヘシ

補助費支出ノ要否、期間、金額及其ノ擔保條件ニ關シテハ市町村ニ在リテハ市町村會、郡ニ在リテハ郡參事會ノ動議ニ依リ郡會ニ於テ之ヲ決定ス若シ州ノ補助ヲ要スル場合ニハ州參事會ノ動議ニ依

リ州議會ニ於テ之ヲ決定ス

組合カ維持費ノ補助ヲ爲シタル場合ニ於テハ維持義務者ノ施行セル維持工事ニ付監督權ヲ有ス維持工事施行ノ方法ニ關スル意見ノ衝突ハ水警察官廳之ヲ決定ス

組合ハ其ノ費用ヲ以テ確定セル流水維持設計ノ施行又ハ流水ノ繼續的維持ヲ引受クルノ權利ヲ有ス此ノ場合ニ於テ第一義務者ヨリ徵收スヘキ費用ノ額ハ組合ノ金庫ニ納入スルモノトス

第百六十條　第百五十三條乃至第百五十七條ノ規定ハ維持義務ヲ有スル地方團體カ維持ノ程度ヲ超エタル變更ヲ決議シタル場合又ハ本法ニ依リ其ノ負擔スル義務以外ニ流水ノ維持若ハ變更ヲ承諾シタル場合ニ之ヲ適用ス但シ地方團體ノ決議ニ付テハ地方監督官廳ノ認可ヲ經ルヲ要シ尙變更ノ場合ニ在リテハ認可前下流ニ位スル地方團體ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス

第三節　小川、溝渠又ハ吐水口ヨリ通スル水道ノ維持

第百六十一條　小川又ハ吐水口ニ屬スル溝渠ハ空地トナシ雜草ヲ除キ吐水口ニ妨害ナキ樣維持スヘシ

前項ノ規定ハ地上水道（本法ニ所謂流水路ニ非サルモノ）及地下水道ニ之ヲ適用ス

第百六十二條　水警察官廳ハ小川又ハ溝渠維持ノ爲植樹、生芝等簡單ナル沿岸ノ固結法ヲ定ムルノ權利ヲ有ス

第百六十三條　小川、溝渠又ハ水道維持ノ義務ハ第百四十五條ノ所謂公法上ノ義務トシ公法上特別ノ事由アル場合ノ外其ノ所有者之ヲ負擔ス但シ小川又ハ溝渠ノ所有者不明ナル場合竝第百六十二條ノ場合ニ於テハ沿岸地所有者ヲ以テ其ノ義務者トス

本法施行後小川又ハ溝渠ニ堰水設備ヲ設置シタルトキハ堰水權利者ハ最高ノ法定水位ニ於ケル堰水ノ影響ノ及フ限リ小川又ハ溝渠ノ維持義務ヲ負擔ス

第百六十四條　小川又ハ溝渠ノ維持ニ必要ナル工事ニ付テハ第百三十六條及第百三十七條ノ規定竝第百三十九條第一項ノ規定ニ依リ第百十七條及第百十九條ノ規定ヲ適用ス但シ他人ノ所有地ニ於ケル引水工事ハ成ルヘク土地ノ使用ヲ侵害セサル時期ニ之ヲ施行スヘシ

第百六十五條　市町村（又ハ私領區）カ其ノ區域内ニ存スル小川又ハ溝渠ノ維持ヲ引受ケタルトキハ之ニ依リテ生スル費用ノ分擔及手續ハ第百五十三條、第百五十四條及第百五十六條ノ規定ニ依ル

市町村又ハ沿岸地所有者ニ於テ維持ノ義務ヲ有セサル小川又ハ溝渠ニ在リテハ沿岸地所有者ハ其ノ費用ヲ以テ維持ニ必要ナル工事ヲ施行スルコトヲ得

第百六十六條　工事施行ノ方法、範圍及時期ハ水警察官廳ノ命令ニ依ル警察處分竝維持義務又ハ維持義務者タル他人ノ賠償ニ關スル爭議ニ付テハ第百三十五條ノ規定ヲ適用ス但シ行政訴訟手續上ノ訴訟ハハノーヴアー州及市ニ在リテハ縣參事會其ノ他ニ在リテハ郡參事會ノ管轄トス

所有者又ハ使用權者ニ屬スル損害賠償ニ關シテハ第百三十條ノ規定ヲ適用ス但シ此ノ場合ニ於テハ

第四節　堰水設備

第百六十七條　水流ノ制遏ニ依リ水面ノ高昇又ハ水ノ集中ヲ目的トスル常設設備（堰水設備）ニ付テハ以下特別規定ヲ適用ス

第百六十八條　堰水設備ノ特許又ハ認可ニ當リテハ左ノ事項ヲ確定スヘシ

一　設備及其ノ附屬物ノ設置ニ關スル事但シ水量又ハ吐水口カ之ニ依リテ影響ヲ受ケサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

二　堰水ノ時期及其ノ堰水位ニ關スル事

三　使用水量ノ制限ヲ要スル場合ニ於テ其ノ水量ニ關スル事

四　堰水ニ依リテ生スル損害防止ノ爲必要ナル處置ニ關スル事

第百六十九條　特許又ハ認可ヲ受ケタル堰水設備ニハ少クモ標柱、水測柱、水面標、量水柱、定量柱、定量標等ノ記號標ヲ備ヘ指定ノ堰水位ヲ明記スヘシ

堰水位ノ記號標ニハ其ノ不動點ノ抹滅ヲ防ク爲被蓋ヲ爲スヘシ

第百七十條　水警察官廳ハ記號標ノ指定又ハ設置ヲ爲シ之ニ關スル記錄ヲ控ヘ置クヘシ此ノ場合ニ於テハ成ルヘク關係人ノ意見ヲ徵スヘシ

第百七十一條　特許又ハ認可ヲ要セサル堰水設備竝本法施行ノ際現存シ法令ニ基ク記號ヲ有セサル堰水設備ニ付テハ記號標ノ指定又ハ設置ハ前二條ノ規定ニ依ルヘシ

主務官廳ハ職權ヲ以テ前項記號標ヲ指定又ハ設置スルコトヲ得

第百七十二條　堰水權ノ範圍ニ付爭アルトキハ郡(市)參事會ハ關係人ノ申立ニ依リ第七十三條乃至第八十七條、第八十九條及第九十條ノ規定ヲ適用シテ之ヲ決定スヘシ其ノ範圍不明瞭ニシテ法津上ノ效力確定セサルモノニ付テハ堰水權利者及關係土地所有者其ノ他堰水ニ付權利ヲ有スル者ノ利益ヲ成ルヘク調和シテ之ヲ決定スヘシ

第百七十三條　起業者ハ記號標ヲ維持シ、見易カラシメ、之ニ近ツクニ便ナラシメ且ツ記號標又ハ不動點ノ毀損若ハ變更ヲ水警察官廳ニ通知スヘシ

記號標又ハ不動點ノ特質ヲ變更セムトスルトキハ水警察官廳ノ許可ヲ受クヘシ記號標ノ改造、移轉又ハ報告ニ付テハ第百七十條ノ規定ヲ適用ス

第百七十四條　不當ノ申立又ハ異議ニ依リ記號標ヲ設置又ハ移轉シタルトキハ其ノ之ニ要シタル費用ハ申立人又ハ異議者ノ負擔トス其ノ他ノ場合ニ於テハ第百六十九條ノ場合ニ在リテハ起業者、第百七十一條第一項ノ場合ニ在リテハ申立人、第百七十一條第二項ノ場合ニ在リテハ關係人ニ於テ利益ノ大小ニ依リ其ノ費用ヲ負擔スヘシ

記號標ノ維持又ハ改造ノ費用ハ起業者ノ負擔トス

費用ノ確定ニ關シ異議アルトキハ監督官廳ニ申立ツルコトヲ得

第百七十五條　堰水設備ノ起業者カ之ヲ廢止セムトスルトキハ水警察官廳ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ公益上必要アルトキハ水警察官廳ハ其ノ認可ヲ拒絕スルコトヲ得

前項ノ規定ハ本法施行前又ハ施行後設置セラレタル堰水設備ニシテ本法ノ規定ニ依リ認可ヲ要セサルモノニ之ヲ適用セス

第百七十六條　起業者カ堰水設備ノ存スル限リ設備上ノ建設物及其ノ附屬物ヲ正常ノ狀態ニ維持スルヲ要シ且ツ水ヲ浪費シテ他ノ權利者ニ不利益ヲ及ホスコトヲ得ス

第百七十七條　堰上ケタル水ヲ一時ニ流下シテ他人ノ土地若ハ設備ニ對シ危險若ハ不利益ヲ及ホシ又ハ水利權ノ行使其ノ他公益ヲ害スルコトヲ得ス

第百七十八條　水位ハ堰水設備ニ在リテハ記號標ニ定メタル高サヲ超エシムルコトヲ得ス

水カ記號標ニ定メタル高サヲ超エタルトキ又ハ氾濫ノ虞確實ナルトキハ起業者ハ第百七十七條ノ規定ヲ參酌シテ記號標ニ定メタル高サニ低下スル迄堰水設備ノ動部ヲ全部開放シ又ハ一時的故障ヲ排除シテ急速ニ且ツ間斷ナク水ヲ流下セシムヘシ

水面カ一定ノ高サニ維持セラルヘキトキハ水位ハ規定ノ最低位以下ニ下ラシムルコトヲ得ス若シ此ノ以下ニ下リタルトキハ堰水裝置ヲ閉鎖シテ水位ヲ高ムルコトヲ要ス

前三項ニ揭ケタル義務ノ履行ヲ遲滯スルトキハ水警察官廳ハ之カ履行ヲ强制スルコトヲ得

第百七十九條　第百七十七條又ハ前條第一項乃至第三項ノ規定ニ違反セル爲生シタル損害ニ對シテハ起業者ハ其ノ個人的義務ノ有無ニ關セス之ヲ賠償スヘシ

第百八十條　起業者ハ公益上又ハ流水ノ維持ノ爲ニスル工事ノ施行上必要アルトキハ水警察官廳ノ命令ニ依リ堰水設備ノ動部ヲ開閉スルノ義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ起業者ノ受クル損害長時日繼續シ衡平ノ觀念上損害賠償ヲ必要トスル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第百八十一條　堰水設備ノ結果他人ノ土地又ハ設備ニ對シ氾濫其ノ他ノ不利益ヲ及ホシタル場合ニ於テ堰水設備又ハ其ノ附屬物ノ設置ヲ變更スルニ依リ其ノ氾濫其ノ他ノ不利益ヲ除却スルコトヲ得ルトキハ被害者ハ其ノ費用ヲ以テ起業者ニ對シ設備ノ變更ヲ爲スノ承認ヲ請求スルコトヲ得但シ之ニ依リテ生スル損害ハ之ヲ賠償スヘシ

前項ノ損害賠償ニ付テハ第百一條第二項ノ規定ヲ適用ス但シ變更ニ依リテ起業者ノ受ケタル利益ヲ差引クコトヲ得

第七十九條、第八十二條乃至第八十七條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用シ縣參事會ニ於テ之ヲ決

定ス

第百八十二條　水力機用堰水設備ノ認可手續ハ帝國營業條例ニ從ヒ第百六十八條乃至第百七十條ノ規定ヲ適用ス

機關運轉ノ爲ニ流水使用ノ認可ヲ受ケタル者ハ流水ニ入リ來ル水ヲ下方ニ流送スルヲ要シ堰水設備ニ集マル水ヲ使用スルノ權利ヲ有スルモ之ヲ消費スルコトヲ得ス

第百八十三條　大ナル貯水池（溪谷堰水池、堰水養魚池等）ノ設置又ハ經營ハ第二百六十七條ニ揭ケタル官廳之ヲ監督シ其ノ起業者ニ對シ下部ニ位スル土地又ハ建物ノ保護ニ必要ナル保全方法ヲ施行セシムルノ權限ヲ有ス

第三章　水利組合

第一節　總則

第百八十四條　本法ノ規定ニ從ヒ左ノ目的ヲ有スル水利組合ヲ設立スルコトヲ得

一　流水ノ使用若ハ變更又ハ淨水若ハ水ノ維持ヲ目的トスルモノ

二　土地ノ排水灌漑又ハ排水灌漑設備ノ維持ヲ目的トスルモノ

三　沿岸ノ維持ヲ目的トスルモノ

四　貯水池ノ設置、利用又ハ維持ヲ目的トスルモノ

五　通船路（通筏路）其ノ他ノ航行設備ノ修理又ハ改良ヲ目的トスルモノ

第百八十五條　組合ハ公共ノ利用ヲ圖ル爲ニ設立セラルルモノタルコトノ證明ヲ要シ定款（第二百三十六條）ノ認可アリタルトキハ其ノ證明ノ提出アリタルモノト看做ス

第百八十六條　組合ハ內國ニ其ノ住所ヲ有スルモノタルコトヲ要ス

第百八十七條　組合ハ其ノ資格ニ於テ權利ヲ得義務ヲ負ヒ土地所有權其ノ他ノ物權ヲ取得シ裁判上原告被告ノ地位ニ立ツコトヲ得

第百八十八條　本法中別ニ規定アル場合ノ外何人ト雖組合員タルコトヲ強制セラルルコトナシ

第百八十九條　組合ハ起業ニ必要ナル土地、鑛山又ハ營業設備ノ所有者竝起業ニ依リ利害ヲ分擔スル地方團體、堤防組合、土地改良組合又ハ漁業組合ヲ以テ之ヲ組織スヘシ

第百九十條　後見人ノ加入又ハ市町村（又ハ私領區）公共團體若ハ組合ノ加入ニ付テハ後見裁判所又ハ官ノ認可ヲ必要トセス

借地地主又ハ信托地地主ノ加入ニ付テハ土地承繼人ノ同意ヲ要セス

第百九十一條　組合ニハ裁判上及裁判外ニ於テ組合ヲ代表スル理事ヲ置クコトヲ要ス

第百九十二條　組合及組合員ノ法律關係ニ付本法ニ規定ナキモノハ定款ニ依ル

第百九十三條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　組合ノ名稱及住所
二　組合ノ目的及事業遂行ノ計畫
三　計畫ノ變更ニ關スル事
四　組合員及事業ニ要スル土地又ハ營業上ノ設備若ハ定款ニ表示セラレタル設備ニ關スル事
五　組合ノ設備ノ使用及維持ニ關スル事
六　組合員ノ負擔スル義務ニ關スル事
七　使用及負擔竝表決權參加ノ關係
八　土地分割ノ場合ニ於ケル組合ノ負擔ノ割當手續ニ關スル事
九　理事選任ノ方法、理事及理事長ノ管理權限、理事及其ノ代理者ノ資格ニ關スル事
十　組合員召集ノ要件及方式ニ關スル事
十一　決議事項ニ關スル事
十二　仲裁裁判ノ構成及第百九十八條ノ場合ノ外其ノ決定ニ屬スヘキ爭議ニ關スル事
十三　組合ノ爲スヘキ公告ノ方式ニ關スル事
十四　公告ヲ公報ニテ爲スモノナルトキハ其ノ公報ノ名稱
十五　組合員ノ加入申込條件

第百九十四條　三人以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ於テハ各組合員ノ表決權數ハ表決權總數ノ五分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス

第百九十五條　組合ハ國ノ監督ニ屬シ組合ノ設備計畫ノ實行及維持其ノ他組合ノ事業カ法律及定款ニ從ヒ管理セラルルカ否カヲ監督ス

第百八十四條第一號乃至第三號ニ揭ケタル組合ニ付テハ第一次ニ郡ニ在リテハ郡參事會議長タル郡長、市ニ在リテハ地方警察官廳第二次ニ縣知事之ヲ監督ス但シ組合ノ住所地ノ行政廳ハ其ノ管轄權ヲ有ス

第百九十六條　組合カ法律若ハ定款ニ依リテ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リテ命セラレタル費用ヲ豫算ニ載スルコトヲ怠リ又ハ拒絕シタルトキハ第一次監督官廳ハ其ノ理由ヲ示シテ之ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

前項ノ處分ニ對シテハ組合ハ行政訴訟手續ニ依リ訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ縣知事ノ處分ニ對スル訴訟ハ最上級行政裁判所ノ管轄トシ其ノ他ノ場合ニ在リテハ縣參事會ノ管轄トス

第百九十七條　組合ニ於テ土地ヲ讓渡シ、新ニ負擔ヲ爲シ又ハ債務ヲ增大スヘキ負債ヲ起サムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ其ノ他定款ニ留保シタル事項ニ付亦同シ

第百九十八條　組合員ハ組合カ其ノ地區內ニ於テ組合ノ目的ヲ達スル爲必要

ナル設備ヲ設置、存續又ハ維持セムトスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

組合ノ理事ハ設備ニ依リ生スル組合員ノ利益ヲ參照シ前項ノ場合ニ生スル組合員ノ損害ヲ賠償スヘキカ否カ及其ノ額ヲ決定ス但シ此ノ決議ニ對シ仲裁裁判所ノ仲裁ヲ請求スルコトヲ妨ケス

第百九十九條　組合ハ其ノ債務ニ對シ全財産ヲ以テ其ノ責ニ任ス其ノ全財産ヲ以テ債務ヲ辨濟スルコト能ハサルトキハ理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ分擔スヘキ額ヲ徵收シ之ヲ辨濟スヘシ

組合債務分擔ノ義務ハ一般公ノ負擔ノ義務ト同一ナルモノニシテ起業ニ使用セラルル土地ニ於テハ債務分擔關係ニ依リテ確定セル範圍內ニ限ラル

分擔金ノ納付ヲ遲滯スルトキハ其ノ土地ヲ强制競賣ニ付スルコトヲ得

組合ノ地區內ノ土地ヲ分離スルトキハ各分離地ニ比例シテ組合ノ負擔額ヲ割當ツヘシ

第二百條　組合ニ關スル爭議ハ行政訴訟手續ニ依リ之ヲ決定ス

組合債務ノ取立及整理ハ組合ノ理事之ヲ決定ス此ノ決定ニ對シ不服アル者ハ行政訴訟手續ニ依リ訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ其ノ決定カ組合ノ定款ニ依リ仲裁裁判所（第百九十三條第十二號）ノ決定ニ屬スヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス尙訴訟ノ提起ハ理事ノ決定ニ基キ義務者ニ對スル組合債務徵收ノ執行ヲ妨ケス

前項ノ場合ハ郡（市）參事會ノ管轄權ニ屬ス

第二百一條　組合員ニシテ理事又ハ理事長ノ指定シタル事項ヲ行ハサルトキハ理事又ハ理事長ハ其ノ職權ヲ以テ不服者ノ費用ニテ之ヲ施行シ尙必要アルトキハ豫メ警告セル三十マーク以內ノ罰金ヲ課スルコトヲ得罰金ハ組合ノ收入トス

前項ノ規定ニ對シ竝强制手段ノ確定及實行ニ對スル上訴ニ關シテハ千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第百二十七條乃至第百三十九條及第百三十三條ノ規定ヲ適用ス但シ左ノ規定ニ依ル

一　第百八十四條第一號乃至第三號ニ揭ケタル組合ニ在リテハ第一次ノ異議ノ申立ハ監督官廳ニ對シ第二次ノ異議ノ申立ハ上級監督官廳ニ對シ第百八十四條第四號及第五號ニ揭ケタル組合ニ在リテハ第一次ノ異議ノ申立ハ監督官廳ニ對級行政裁判所ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

二　第百八十四條第四號及第五號ニ揭ケタル組合ニ在リテハ第一次ノ異議ノ申立ハ監督官廳ニ對シテ之ヲ爲シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ自己ノ撰擇ニ依リ主務大臣ニ對シ第二次ノ異議ヲ申立テ又ハ最上級行政裁判所ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

三　第一次ノ異議ニ代ルヘキ訴訟ニ對シテハ郡（市）參事會之ヲ管轄ス

第二百二條　滯納シタル組合費竝前條ニ揭ケタル罰金及費用ハ行政訴訟手續ヲ以テ之ヲ取立ツルモノトシ其ノ主務官廳ハ監督官廳之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ本來ノ義務者ニ對スル求償權ヲ留保シテ組合ノ地區內ノ土地ノ借地人其ノ他ノ使用權者ニ對シ之ヲ執行スルコトヲ得

組合ニ屬スル營業設備又ハ設備附屬ノ隔離作業場ノ賃借人ニ對スル行政訴訟手續ハ其ノ作業場ニ對シ組合費ノ分擔ヲ課シタル場合ニ於テ其ノ分擔額ニ付適用セラルヽモノトス

第二百三條　理事ハ組合ノ利害上必要アリト認ムルトキハ組合員會ヲ召集スヘシ組合員總數ノ三分ノ一以上ノ組合員カ書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項ヲ示シ其ノ召集ヲ請求シタルトキ亦同シ

理事カ前項ノ請求ヲ受ケタル後二箇月以內ニ其ノ召集ヲ爲サヽルトキハ監督官廳之ヲ召集ス

第二百四條　組合員ノ脫退ハ第二百十條及第二百十一條ノ場合ヲ除クノ外双方ノ合意ヲ以テ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ監督官廳ハ組合ノ債權者ノ利害ヲ顧慮スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ關スル爭議ハ行政訴訟手續ニ依リ郡(市)參事會之ヲ決定ス

第二節　土地ノ排水灌漑組合

第二百五條　土地ノ排水又ハ灌漑ヲ目的トスル組合ヲ設立セムトスル者ハ左ノ場合ニ於テハ起業ニ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ强制シテ加入セシムルコトヲ得

一　起業カ農地ノ改良ヲ目的トスルトキ

二　加入反對者ノ所有地ヲモ編入スルニ非サレハ起業ノ目的ヲ十分ニ遂行シ得サルトキ

三　加入者ノ多數カ起業ニ使用セラルヘキ土地ノ面積及第二百二十七條ノ規定ニ依リ其ノ價額ヲ評定シテ組合ノ設立ニ贊同シタルトキ

組合ノ起業ニ依リ土地ノ收益增加スル見込ナキトキ又ハ組合ノ目的タル土地ノ改良ヲ爲スニ依リ其ノ土地所有者ノ受クル利益カ其ノ特別ノ使用ヨリモ利益小ナルトキハ强制シテ加入セシムルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ吐水口ノ設置又ハ維持ニ必要ナル小面積ノ土地ノ全部又ハ一部ヲ强制編入スルヲ妨ケス但シ此ノ場合ニ於テハ組合費ノ負擔ヲ免除スヘシ

第二百六條　左ノ場合ニ於テハ前條ノ外第百八十九條ニ揭ケタル所有者又ハ組合ヲ排水組合又ハ灌漑組合ニ强制シテ加入セシムルコトヲ得

一　起業カ農地ノ改良ヲ目的トスルトキ

二　起業カ所有者又ハ組合ニ利益ヲ生スル見込アルトキ

三　起業ニ使用セラルヘキ土地所有者ノ多數カ土地ノ面積及第二百二十七條ノ規定ニ依リ知リ得ル利益ニ照ラシ組合ノ設立ニ同意シタルトキ

四　關係人ノ多數カ第二百二十七條乃至第二百二十九條ノ規定ニ依リ知リ得ル利益ニ照ラシ組合ノ設立ニ同意シタルトキ

第二百七條　組合債務ノ分擔ハ其ノ全員ノ同意ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外組合ハ其ノ設備ニ依リ